

令和 2 年 度

当 初 予 算 の 概 要

令 和 2 年 2 月

尾 道 市

# 目 次

I	予算編成の基本方針	1
1	予算編成の基本的考え	1
2	予算編成の背景	2
II	予算の内容	4
1	会計別当初予算規模	4
2	一般会計予算の概要	5
(1)	規 模	5
(2)	一般会計予算の内容	6
①	歳入・歳出の目的別内訳	6
②	歳入・歳出の構成状況	7
③	歳出の性質別内訳	8
(3)	歳入予算	9
①	市 税	9
②	地方交付税	9
③	市 債	10
(4)	歳出予算	11
①	義務的経費	11
②	投資的経費	11
③	投融资関係	12
④	その他経費	12
⑤	公債費	12
(5)	個別指標（普通会計）	12
①	市債残高の推移	12
②	普通会計財政指標	12
III	使用料・手数料等の改定資料	13
IV	地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当状況	16
V	都市計画税の充当状況	17
〈企業会計〉	1. 水道事業	18
	2. 下水道事業	19
	3. 病院事業	20
VI	主要事業シート	22

# I 予算編成の基本方針

## 1 予算編成の基本的考え

日本経済の状況は、内閣府の月例経済報告（令和2年1月）によると、「景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。」とされており、県内経済については、広島県経済の動向（令和2年1月）によると「幾分ペースを鈍化させつつも、基調としては緩やかに拡大している。」とされている。

先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待されるが、海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

本市の経済動向では、景況感はマイナス幅を拡大し、製造業はごくわずかに回復、非製造業は悪化が続くとされるが、雇用情勢が改善するなか、令和元年12月の有効求人倍率は2.29（前年同月と同率）となっており、引き続き高い水準で推移している。

予算編成にあたっては、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興や、災害に強いまちづくりを進めるとともに、地方創生、少子高齢化対策、新市建設計画事業などの着実な進捗を図る中、引き続き「持続可能な行財政運営」を基本方針とし、予算規模の圧縮に取り組んだ。

令和2年度予算においては、災害復旧事業を最優先で進め、早期完了を目指すとともに、デジタル防災無線の整備などの安全・安心なまちづくりや、地域医療・子育て・教育環境のさらなる整備・拡充による生活基盤の強化、安定した市民サービスを継続して提供する体制の強化に取り組むこととしている。

一般会計予算額は、新市建設計画に基づく庁舎整備事業などの大型建設事業が一段落したことなどから、対前年度比8.0%減となり、当初予算としては平成27年度以来の減額予算となった。

合併後のまちづくりは次の段階を迎えており、環境・経済など地域社会の様々な課題に対応するため、市民との協働はもとより、民間活力の活用、先端技術導入によるスマートシティの実現に向け、新時代のまちづくりを進める。

今後とも、市民の皆様とともに、協働の理念の下、「尾道オリジナル」を活かしたまちづくりを進めていく。

## 2 予算編成の背景

### (1) 国の予算

経済再生と財政健全化を両立する予算

#### ◇社会保障の充実

- ・全世代型社会保障制度の構築に向け、消費税増収分を活用し、高等教育無償化、予防・健康づくりの取組など医療・介護分野の充実を実施。

#### ◇経済対策の着実な実行

- ・経済対策（財政支出13.2兆円）を実行するため、補正予算に加え、本予算で臨時・特別の措置を計上し、東京オリンピック・パラリンピック後も見据えて、個人消費や投資を切れ目なく下支え。

#### ◇歳出改革の取組の継続

- ・「新経済・財政再生計画」の下、歳出改革の取組を継続し、「目安」を達成。
  - ・安倍内閣発足以来、国債発行額を8年連続で減額。
- ① 国の一般会計予算規模は102兆6,580億円（前年度比1兆2,009億円増）
  - ② 国債発行額は32兆5,562億円（前年度比1,043億円減）
  - ③ 「社会保障関係費」は5.1%増加
  - ④ 「公共事業関係費」は0.8%減少
  - ⑤ 「国債費」は0.7%減少

### 令和2年度一般会計歳入歳出概算

(単位：億円、%)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減 額	伸 率
歳 入	租 税	635,130	624,950	10,180	1.6
	そ の 他 収 入	65,888	63,016	2,871	4.6
	公 債 金	325,562	326,605	△ 1,043	△ 0.3
	合 計	1,026,580	1,014,571	12,009	1.2
歳 出	国 債 費	233,515	235,082	△ 1,567	△ 0.7
	地方交付税交付金等	158,093	159,850	△ 1,758	△ 1.1
	一 般 歳 出	634,972	619,639	15,333	2.5
	合 計	1,026,580	1,014,571	12,009	1.2

注 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

(経済見通し)	国内総生産	570.2 兆円程度
	実質成長率	1.4 %程度
	名目成長率	2.1 %程度

(2) 地方財政計画の概要

① 令和2年度の地方財政計画は、引き続き、通常収支分と東日本大震災分を区分して整理し、通常収支分の一般財源総額について、人づくり革命の実現や地方創生の推進、地域社会の維持・再生、防災・減災対策等により、令和元年度を0.7兆円上回る63.4兆円を確保している。

地方財政計画(通常収支分)の規模は90兆7,400億円程度で、前年度比1兆1,500億円程度の増。

② 歳入(通常収支分)のうち、地方税は1.9%の増、地方交付税は2.5%の増で、歳入に占める一般財源(臨時財政対策債を含む)の比率は69.9%程度(前年度70.0%)となり、地方債依存度は10.2%程度(前年度10.5%)となる。

③ 歳出(通常収支分)では、給与関係経費が0.2%の減、投資的経費(単独分)は同水準、公債費は1.8%の減となり、地方一般歳出は2.3%の増となる。

(単位：億円、%)

区 分		令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減 額	伸 率
歳 入	地 方 税	409,366	401,633	7,733	1.9
	地 方 譲 与 税	26,086	27,123	△ 1,037	△ 3.8
	地 方 特 例 交 付 金	2,007	4,340	△ 2,333	△ 53.8
	地 方 交 付 税	165,882	161,809	4,073	2.5
	地 方 債	92,783	94,282	△ 1,499	△ 1.6
	そ の 他	211,276	206,743	4,533	2.2
	合 計	907,400	895,930	11,470	1.3
歳 出	地 方 一 般 歳 出	758,500	741,159	17,341	2.3
	うち給与関係経費	202,900	203,307	△ 407	△ 0.2
	うち一般行政経費(単独分)	147,500	144,504	2,996	2.1
	うち投資的経費(単独分)	61,100	61,076	24	0.0
	公 債 費	117,000	119,088	△ 2,088	△ 1.8
	そ の 他	31,900	35,683	△ 3,783	△ 10.6
	合 計	907,400	895,930	11,470	1.3

## II 予算の内容

### 1 会計別当初予算規模

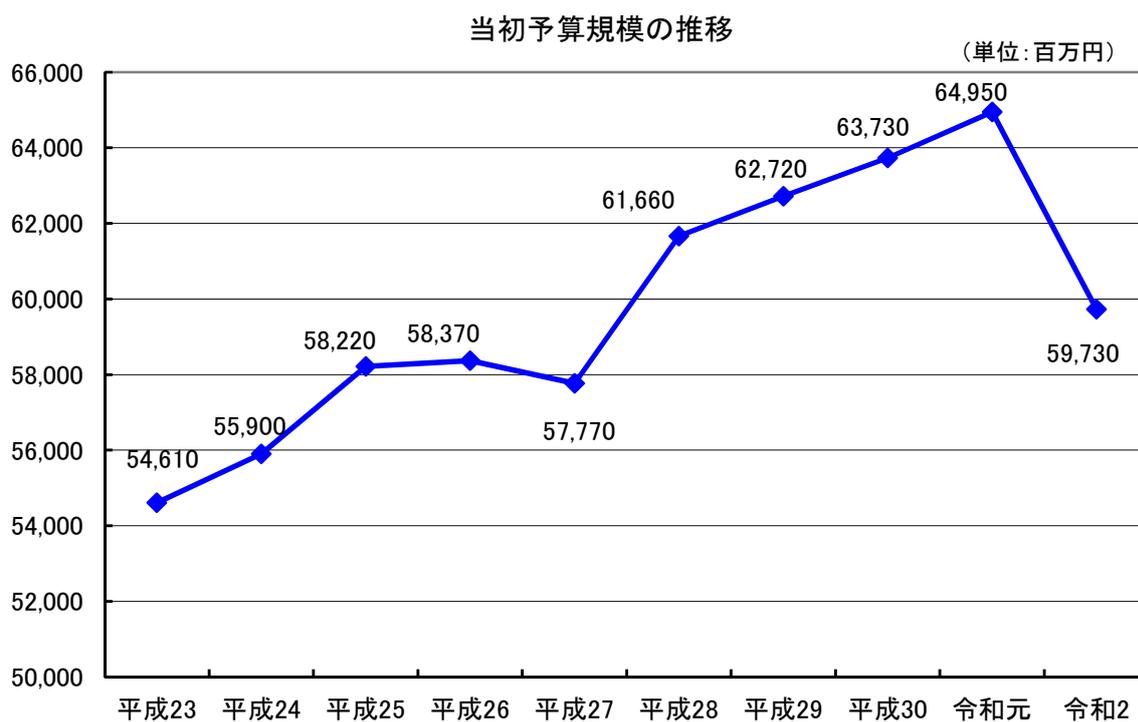
(単位：千円、%)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減 額	伸 率
一 般 会 計		59,730,000	64,950,000	△ 5,220,000	△ 8.0
特 別 会 計	港 湾 事 業	190,703	197,652	△ 6,949	△ 3.5
	国民健康保険事業	15,601,865	16,086,411	△ 484,546	△ 3.0
	千光寺山索道事業	50,022	42,819	7,203	16.8
	駐 車 場 事 業	122,600	129,965	△ 7,365	△ 5.7
	夜間救急診療所事業	70,860	69,431	1,429	2.1
	介護保険事業 (保険事業勘定)	16,728,682	16,875,812	△ 147,130	△ 0.9
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	21,705	20,289	1,416	7.0
	漁業集落排水事業	26,617	20,778	5,839	28.1
	農業集落排水事業	43,697	33,415	10,282	30.8
	渡 船 事 業	50,866	46,260	4,606	10.0
	後期高齢者医療事業	2,387,701	2,300,854	86,847	3.8
	特別会計合計	35,295,318	35,823,686	△ 528,368	△ 1.5
	企 業 会 計	水 道 事 業	5,738,945	5,596,937	142,008
下 水 道 事 業		3,714,229	3,659,170	55,059	1.5
病 院 事 業		15,828,039	15,634,391	193,648	1.2
企業会計合計		25,281,213	24,890,498	390,715	1.6
総 合 計		120,306,531	125,664,184	△ 5,357,653	△ 4.3

## 2 一般会計予算の概要

### (1) 規模

令和2年度一般会計当初予算の規模は、597億3,000万円で、前年度に比べ8.0%の減となっている。これは、(仮称)生口体育館整備事業や土生公民館建設事業の増があるものの、庁舎整備事業(本庁舎ほか)や尾道市クリーンセンター整備事業、向島中学校改築事業、(仮称)尾道中央認定こども園整備事業などの投資的経費の減やプレミアム付商品券事業の減などが主な要因である。



(単位:千円、%)

年度	当初予算額	増減額	伸率
平成23	54,610,000	1,500,000	2.8
平成24	55,900,000	1,290,000	2.4
平成25	58,220,000	2,320,000	4.2
平成26	58,370,000	150,000	0.3
平成27	57,770,000	△600,000	△1.0
平成28	61,660,000	3,890,000	6.7
平成29	62,720,000	1,060,000	1.7
平成30	63,730,000	1,010,000	1.6
令和元	64,950,000	1,220,000	1.9
令和2	59,730,000	△5,220,000	△8.0

## (2) 一般会計予算の内容

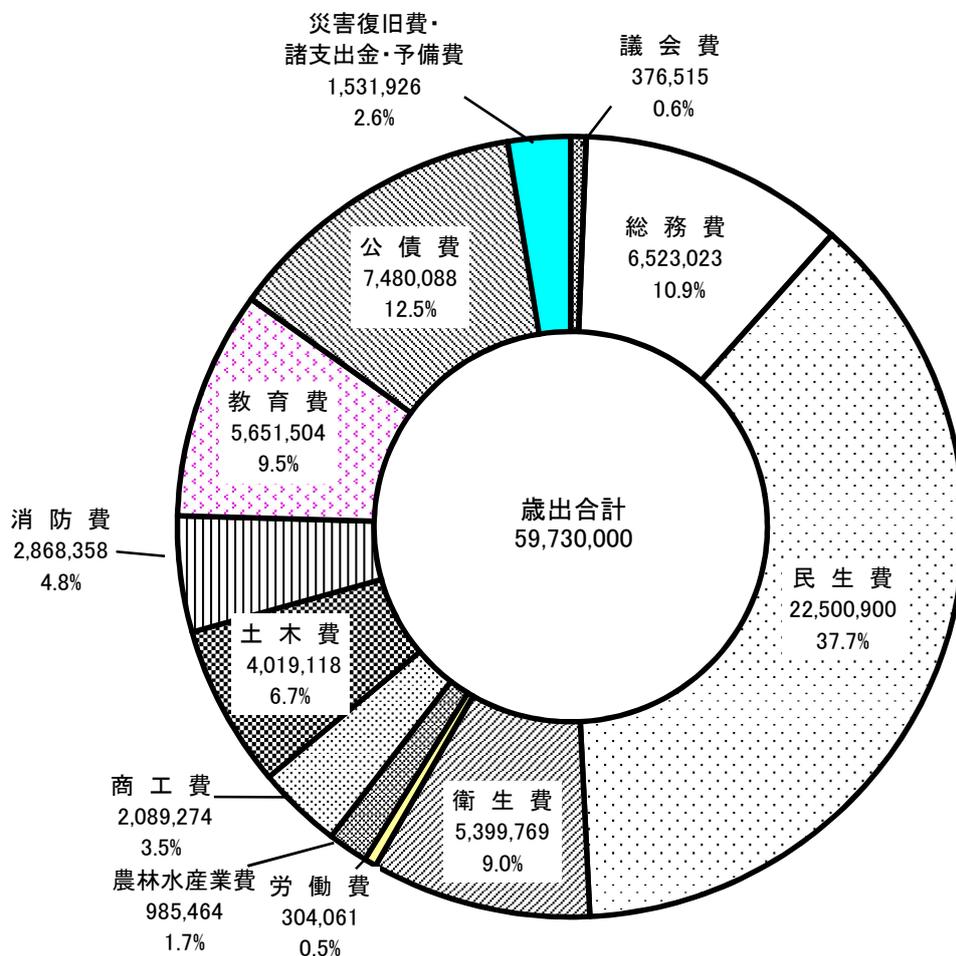
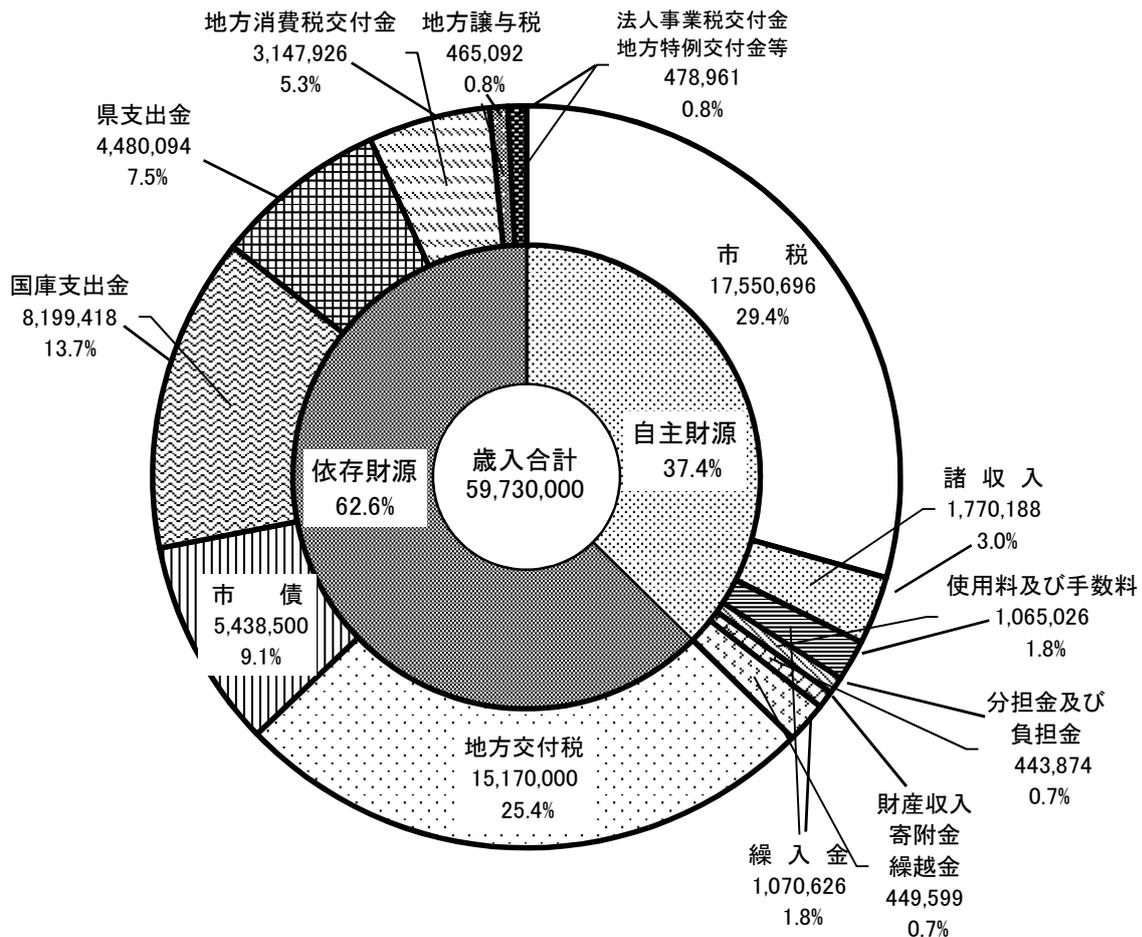
## ①歳入・歳出の目的別内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		比 較		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸 率	
歳 入	市 税	17,550,696	29.4	18,147,456	27.9	△ 596,760	△ 3.3
	地方譲与税	465,092	0.8	448,601	0.7	16,491	3.7
	利子割交付金	18,318	0.0	35,774	0.1	△ 17,456	△ 48.8
	配当割交付金	74,703	0.1	83,248	0.1	△ 8,545	△ 10.3
	株式等譲渡所得割交付金	37,576	0.1	68,781	0.1	△ 31,205	△ 45.4
	法人事業税交付金	155,885	0.3	0	0.0	155,885	皆増
	地方消費税交付金	3,147,926	5.3	2,538,131	3.9	609,795	24.0
	ゴルフ場利用税交付金	9,439	0.0	9,558	0.0	△ 119	△ 1.2
	環境性能割交付金	61,841	0.1	29,691	0.1	32,150	108.3
	地方特例交付金	107,689	0.2	247,952	0.4	△ 140,263	△ 56.6
	地方交付税	15,170,000	25.4	14,520,000	22.4	650,000	4.5
	交通安全対策特別交付金	13,510	0.0	14,840	0.0	△ 1,330	△ 9.0
	分担金及び負担金	443,874	0.7	408,692	0.6	35,182	8.6
	使用料及び手数料	1,065,026	1.8	1,150,609	1.8	△ 85,583	△ 7.4
	国庫支出金	8,199,418	13.7	9,485,822	14.6	△ 1,286,404	△ 13.6
	県支出金	4,480,094	7.5	4,543,510	7.0	△ 63,416	△ 1.4
	財産収入	248,693	0.4	227,176	0.4	21,517	9.5
	寄附金	200,905	0.3	200,905	0.3	0	0.0
	繰入金	1,070,626	1.8	1,841,005	2.8	△ 770,379	△ 41.8
	繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
諸収入	1,770,188	3.0	1,869,546	2.9	△ 99,358	△ 5.3	
市 債	5,438,500	9.1	8,988,300	13.8	△ 3,549,800	△ 39.5	
自動車取得税交付金	0	0.0	90,402	0.1	△ 90,402	皆減	
合 計	59,730,000	100.0	64,950,000	100.0	△ 5,220,000	△ 8.0	
歳 出	議 会 費	376,515	0.6	388,342	0.6	△ 11,827	△ 3.0
	総 務 費	6,523,023	10.9	10,179,809	15.7	△ 3,656,786	△ 35.9
	民 生 費	22,500,900	37.7	23,474,629	36.1	△ 973,729	△ 4.1
	衛 生 費	5,399,769	9.0	6,673,250	10.3	△ 1,273,481	△ 19.1
	労 働 費	304,061	0.5	316,016	0.5	△ 11,955	△ 3.8
	農林水産業費	985,464	1.7	962,113	1.5	23,351	2.4
	商 工 費	2,089,274	3.5	2,026,902	3.1	62,372	3.1
	土 木 費	4,019,118	6.7	3,973,215	6.1	45,903	1.2
	消 防 費	2,868,358	4.8	2,545,145	3.9	323,213	12.7
	教 育 費	5,651,504	9.5	5,323,431	8.2	328,073	6.2
	災害復旧費	1,445,000	2.4	1,787,050	2.7	△ 342,050	△ 19.1
	公 債 費	7,480,088	12.5	7,211,009	11.1	269,079	3.7
	諸支出金	36,926	0.1	39,089	0.1	△ 2,163	△ 5.5
	予 備 費	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
	合 計	59,730,000	100.0	64,950,000	100.0	△ 5,220,000	△ 8.0

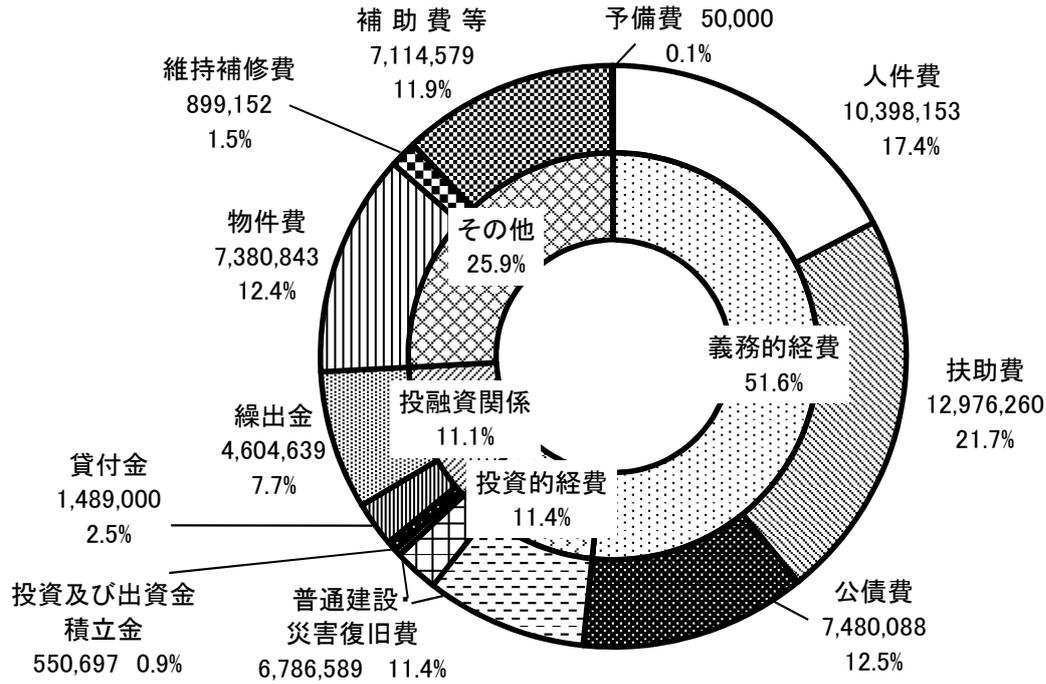
②歳入・歳出の構成状況

(単位：千円、%)



(単位：千円、%)

## ③歳出の性質別内訳



区 分		令 和 2 年 度		令 和 元 年 度		比 較		
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸 率	
義務的経費	人 件 費	10,398,153	17.4	9,899,942	15.2	498,211	5.0	
	内 訳	議 員	265,128	0.5	276,375	0.4	△ 11,247	△ 4.1
		特 別 職	64,458	0.1	91,261	0.1	△ 26,803	△ 29.4
		一 般 職	8,387,216	14.0	8,901,326	13.7	△ 514,110	△ 5.8
		そ の 他	1,681,351	2.8	630,980	1.0	1,050,371	166.5
		扶 助 費	12,976,260	21.7	13,032,247	20.1	△ 55,987	△ 0.4
	公 債 費	7,480,088	12.5	7,211,009	11.1	269,079	3.7	
計	30,854,501	51.6	30,143,198	46.4	711,303	2.4		
投資的経費	普通建設事業費	5,307,068	8.9	10,028,960	15.5	△ 4,721,892	△ 47.1	
	内 訳	補 助	1,332,753	2.2	3,817,952	5.9	△ 2,485,199	△ 65.1
		単 独	3,974,315	6.7	6,211,008	9.6	△ 2,236,693	△ 36.0
	災害復旧事業費	1,479,521	2.5	1,787,050	2.7	△ 307,529	△ 17.2	
	内 訳	補 助	918,000	1.5	1,263,000	1.9	△ 345,000	△ 27.3
		単 独	561,521	1.0	524,050	0.8	37,471	7.2
計	6,786,589	11.4	11,816,010	18.2	△ 5,029,421	△ 42.6		
投融資関係	積 立 金	221,284	0.4	217,128	0.3	4,156	1.9	
	投資及び出資金	329,413	0.5	206,441	0.3	122,972	59.6	
	貸 付 金	1,489,000	2.5	1,532,400	2.4	△ 43,400	△ 2.8	
	繰 出 金	4,604,639	7.7	4,508,731	7.0	95,908	2.1	
	計	6,644,336	11.1	6,464,700	10.0	179,636	2.8	
そ の 他	物 件 費	7,380,843	12.4	8,429,875	13.0	△ 1,049,032	△ 12.4	
	維持補修費	899,152	1.5	798,860	1.2	100,292	12.6	
	補助費等	7,114,579	11.9	7,247,357	11.1	△ 132,778	△ 1.8	
	予 備 費	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0	
	計	15,444,574	25.9	16,526,092	25.4	△ 1,081,518	△ 6.5	
合 計	59,730,000	100.0	64,950,000	100.0	△ 5,220,000	△ 8.0		

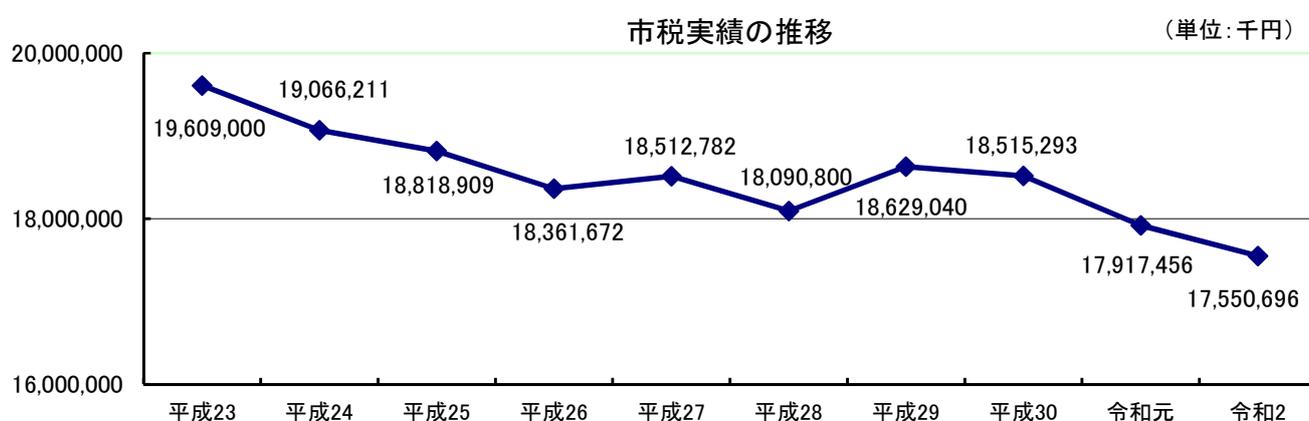
### (3) 歳入予算

#### ① 市 税

市税収入は175億5,069万6千円、対前年度比で5億9,676万円（△3.3%）の減額となっている。これは、税制改正及び企業収益の減少による法人市民税の減（△5億3,625万円（△32.9%））を見込んでいることが主な要因である。

（単位：千円、%）

区 分	令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	増 減 額	伸 率
市 税 総 額	17,550,696	18,147,456	△ 596,760	△ 3.3
うち 市民 税	7,382,200	8,011,522	△ 629,322	△ 7.9
うち固定資産税	7,734,096	7,717,905	16,191	0.2
うち都市計画税	1,156,549	1,155,558	991	0.1



※令和元年度は2月補正後の見込額  
令和2年度は当初予算額

#### ② 地方交付税

地方交付税は151億7千万円で、前年度当初予算額より6億5千万円（4.5%）の増を見込んでいる。

このうち、普通交付税では、合併算定替の縮減があるものの、市税の減少が見込まれることや、基準財政需要額に算入される臨時財政対策債及び合併特例債の元利償還額の増加などから前年度の交付決定額（13,155,524千円）に対し3.2%（当初予算比では7.5%）の増を見込んでいる。

（単位：千円、%）

区 分	令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	増 減 額	伸 率
地 方 交 付 税	15,170,000	14,520,000	650,000	4.5
うち普通交付税	13,570,000	12,620,000	950,000	7.5
うち特別交付税	1,600,000	1,900,000	△ 300,000	△ 15.8

#### \*実績

（単位：千円、%）

年 度	普通交付税（伸率）	特別交付税（伸率）	合 計（伸率）
平成 27	13,642,209 (0.7)	1,731,551 (△3.2)	15,373,760 (0.3)
平成 28	13,049,949 (△4.3)	1,758,386 (1.5)	14,808,335 (△3.7)
平成 29	12,958,792 (△0.7)	1,600,505 (△9.0)	14,559,297 (△1.7)
平成 30	12,585,408 (△2.9)	2,224,799 (39.0)	14,810,207 (1.7)
令 和 元	13,155,524 (4.5)	未定	未定

※令和元年度は2月補正後の見込額

### ③ 市 債

市債は、54億3,850万円で、前年度に比べ35億4,980万円(△39.5%)の減額となった。

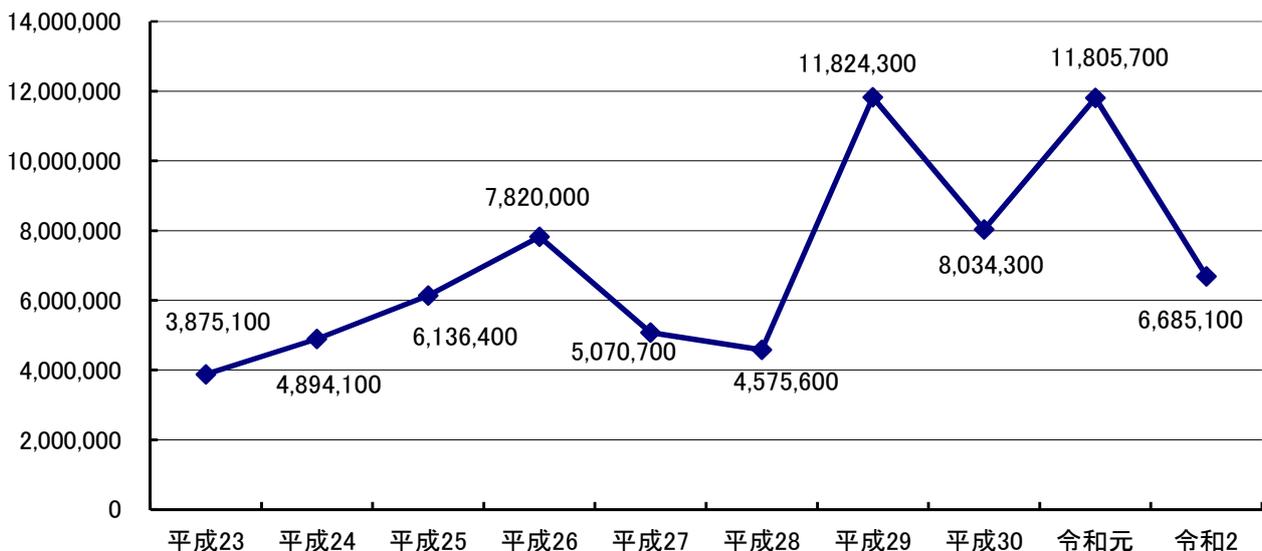
これは、(仮称)生口体育館整備事業などの増があるものの、庁舎整備事業(本庁舎ほか)や尾道市クリーンセンター整備事業などの大型事業の減や臨時財政対策債の減によるものである。

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	増 減 額	伸 率
総 務 債	743,700	3,646,400	△ 2,902,700	△ 79.6
民 生 債	57,900	401,400	△ 343,500	△ 85.6
衛 生 債	257,700	926,900	△ 669,200	△ 72.2
農林水産業債	67,900	62,900	5,000	7.9
土 木 債	410,700	575,200	△ 164,500	△ 28.6
消 防 債	446,700	189,600	257,100	135.6
教 育 債	1,288,900	1,059,900	229,000	21.6
災 害 復 旧 債	575,000	430,900	144,100	33.4
臨時財政対策債	1,590,000	1,695,100	△ 105,100	△ 6.2
合 計	5,438,500	8,988,300	△ 3,549,800	△ 39.5
市債依存度	9.1	13.8	—	△ 4.7

市債発行実績の推移

(単位：千円)



※令和元年度は2月補正後の見込額(平成30年度から令和元年度への繰越含む)  
令和2年度は当初予算額(元年度から2年度への繰越見込含む)による見込。

(4) 歳出予算

① 義務的経費

義務的経費については、308億5,450万1千円で対前年度比7億1,130万3千円(2.4%)の増額となっており、歳出予算に占める構成比率は51.6%で、前年度から5.2%の増となっている。

人件費については、定年退職者の減に伴う退職手当の減などがあるものの、新たに会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費の増により対前年度比4億9,821万1千円(5.0%)の増額となっている。

扶助費については、私立認定こども園運営費負担金などの増があるものの、生活保護費や児童扶養手当給付費などの減により対前年度比5,598万7千円(△0.4%)の減額となっている。

公債費については、合併特例債、臨時財政対策債などの元金償還の増により、対前年度比2億6,907万9千円(3.7%)の増額となっている。

◎義務的経費の状況 (単位：千円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		比 較		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	予算額	伸率	
予 算 総 額	59,730,000	100.0	64,950,000	100.0	△ 5,220,000	△ 8.0	
義務的経費	30,854,501	51.6	30,143,198	46.4	711,303	2.4	
内 訳	人 件 費	10,398,153	17.4	9,899,942	15.2	498,211	5.0
	扶 助 費	12,976,260	21.7	13,032,247	20.1	△ 55,987	△ 0.4
	公 債 費	7,480,088	12.5	7,211,009	11.1	269,079	3.7

② 投資的経費

普通建設事業については、(仮称)生口体育館整備事業や土生公民館建設事業などの増があるものの、庁舎整備事業(本庁舎ほか)や尾道市クリーンセンター整備事業の減などにより、47億2,189万2千円(△47.1%)の減額となった。

補助事業では、市道改良事業(堤線ほか)や千光寺公園頂上エリアリニューアル事業などの増があるものの、尾道市クリーンセンター整備事業や向島中学校改築事業などの減により、対前年度比24億8,519万9千円(△65.1%)の減額となっている。

また、単独事業では(仮称)生口体育館整備事業や土生公民館建設事業などの増があるものの、庁舎整備事業(本庁舎ほか)や向島運動公園整備事業などの減により、対前年度比22億3,669万3千円(△36.0%)の大幅な減額となっている。

◎普通建設事業費の状況 (単位：千円、%)

区 分	令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	増 減 額	伸 率
補 助 事 業 費	1,332,753	3,817,952	△ 2,485,199	△ 65.1
単 独 事 業 費	3,974,315	6,211,008	△ 2,236,693	△ 36.0
合 計	5,307,068	10,028,960	△ 4,721,892	△ 47.1

災害復旧事業については、対前年度比3億752万円9千円(△17.2%)の減額となっている。平成30年7月豪雨災害の復旧事業に引き続き注力し、早期の復旧を目指す。

◎災害復旧事業費の状況 (単位：千円、%)

区 分	令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	増 減 額	伸 率
農 林 水 産 施 設	375,000	310,550	64,450	20.8
公 共 土 木 施 設	1,034,000	1,465,000	△ 431,000	△ 29.4
そ の 他	70,521	11,500	59,021	513.2
合 計	1,479,521	1,787,050	△ 307,529	△ 17.2

③ 投融資関係

積立金については、森林環境整備基金積立金の増などにより、415万6千円(1.9%)の増額となっている。繰出金については、国民健康保険事業特別会計への繰出などの減があるものの、介護保険事業特別会計への繰出などの増により、9,590万8千円(2.1%)の増額となっている。投資及び出資金については、下水道事業出資金及び市民病院器械等整備事業の増により、1億2,297万2千円(59.6%)の増額となっている。

④ その他経費

物件費については、放課後児童クラブ運営委託料などの増があるものの、庁舎整備に伴う庁用備品購入やプレミアム付商品券事業、会計年度任用職員制度の導入に伴う臨時職員賃金の皆減などにより、対前年度比10億4,903万2千円(△12.4%)の減額となっている。

補助費等については、私立幼稚園施設等利用費などの増があるものの、プレミアム付商品券事業や私立幼稚園就園奨励費の皆減などにより、対前年度比1億3,277万8千円(△1.8%)の減額となっている。

⑤ 公債費

\*市債元利償還金の推移(一般会計当初予算)

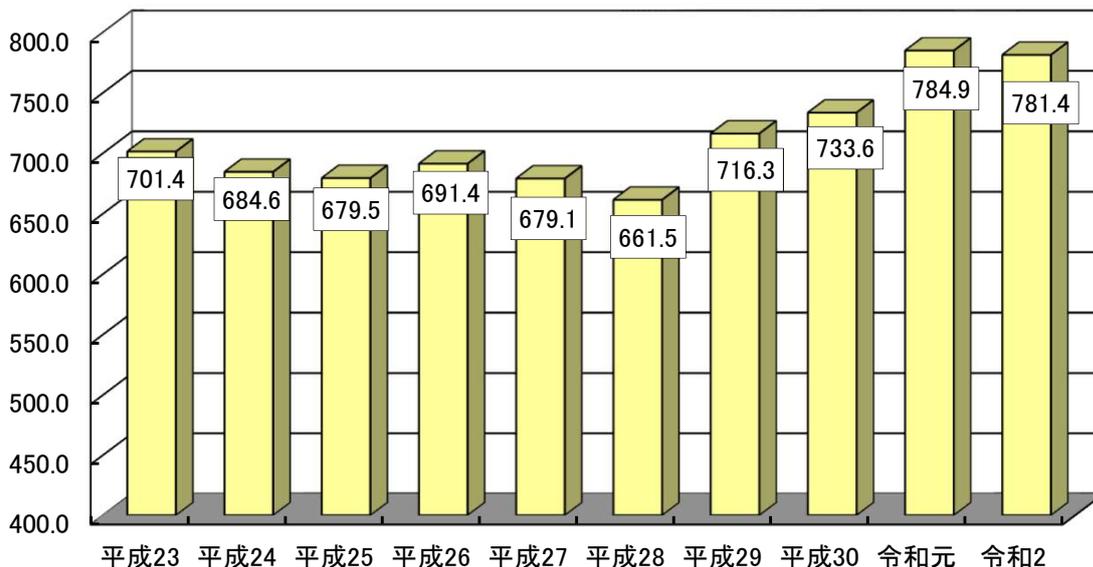
(単位:千円)

年度	元金	利子	計	年度	元金	利子	計
平成23	6,437,812	1,210,689	7,648,501	平成28	6,342,083	789,434	7,131,517
平成24	6,554,199	1,143,909	7,698,108	平成29	6,341,051	653,875	6,994,926
平成25	6,561,307	1,055,395	7,616,702	平成30	6,308,785	591,198	6,899,983
平成26	6,620,166	983,923	7,604,089	令和元	6,659,303	550,706	7,210,009
平成27	6,263,966	893,612	7,157,578	令和2	7,034,503	444,585	7,479,088

(5) 個別指標(普通会計)

① 市債残高の推移

(単位:億円)



② 普通会計財政指標

(単位:%)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度見込	令和2年度見通し
経常収支比率	95.8	95.5	95.5	96.7	96.0
実質公債費比率	7.0	6.6	6.4	6.1	6.2

※令和元年度は2月補正後(平成30年度から令和元年度への繰越含む)の見込、令和2年度は当初予算(元年度から2年度への繰越見込含む)による見込。

### Ⅲ 使用料・手数料等の改定資料

【単位:改定内容欄 円、その他 千円】

一般会計 (使用料)

区分	歳入影響額 (千円)	改定内容																																										
行政財産使用料 (都市公園占用にかかもの)	68	<p>【尾道市都市公園条例 (抜粋)】 別表第3 (第13条関係) (2) 公園を占用する場合 【現行】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>単位</th> <th>使用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電柱</td> <td>1年1本につき</td> <td>680円</td> </tr> <tr> <td>電話柱</td> <td>1年1本につき</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>その他の柱類</td> <td>1年1本につき</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>共架電線その他上空に設ける線類</td> <td>長さ1メートルにつき1年</td> <td>4円</td> </tr> <tr> <td>共架電線その他地下に設ける線類</td> <td>長さ1メートルにつき1年</td> <td>2円</td> </tr> <tr> <td>地上に設ける変圧塔</td> <td>1個につき1年</td> <td>790円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【R2. 4. 1~】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>単位</th> <th>使用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電柱</td> <td>1年1本につき</td> <td>790円</td> </tr> <tr> <td>電話柱</td> <td>1年1本につき</td> <td>460円</td> </tr> <tr> <td>その他の柱類</td> <td>1年1本につき</td> <td>46円</td> </tr> <tr> <td>共架電線その他上空に設ける線類</td> <td>長さ1メートルにつき1年</td> <td>5円</td> </tr> <tr> <td>共架電線その他地下に設ける線類</td> <td>長さ1メートルにつき1年</td> <td>3円</td> </tr> <tr> <td>地上に設ける変圧塔</td> <td>1個につき1年</td> <td>910円</td> </tr> </tbody> </table>	種別	単位	使用料	電柱	1年1本につき	680円	電話柱	1年1本につき	400円	その他の柱類	1年1本につき	40円	共架電線その他上空に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	4円	共架電線その他地下に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	2円	地上に設ける変圧塔	1個につき1年	790円	種別	単位	使用料	電柱	1年1本につき	790円	電話柱	1年1本につき	460円	その他の柱類	1年1本につき	46円	共架電線その他上空に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	5円	共架電線その他地下に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	3円	地上に設ける変圧塔	1個につき1年	910円
種別	単位	使用料																																										
電柱	1年1本につき	680円																																										
電話柱	1年1本につき	400円																																										
その他の柱類	1年1本につき	40円																																										
共架電線その他上空に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	4円																																										
共架電線その他地下に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	2円																																										
地上に設ける変圧塔	1個につき1年	790円																																										
種別	単位	使用料																																										
電柱	1年1本につき	790円																																										
電話柱	1年1本につき	460円																																										
その他の柱類	1年1本につき	46円																																										
共架電線その他上空に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	5円																																										
共架電線その他地下に設ける線類	長さ1メートルにつき1年	3円																																										
地上に設ける変圧塔	1個につき1年	910円																																										
高等学校使用料	529	<p>【市立学校における授業料その他の費用に関する条例 (抜粋)】 別表 (第2条関係) 【現行】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">授業料</th> </tr> <tr> <th>年額</th> <th>月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尾道南高等学校(定時制)</td> <td>18,600円</td> <td>1,550円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【R2. 4. 1~】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授業料等の種類</th> <th>単位及び金額</th> <th>徴収対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">授業料</td> <td>年間履修単位が20単位以上の場合</td> <td>月額2,700円</td> <td rowspan="4">在籍する生徒(月の全日数にわたり留学し、又は休学する者を除く。)</td> </tr> <tr> <td>年間履修単位が15単位以上20単位未満の場合</td> <td>月額2,180円</td> </tr> <tr> <td>年間履修単位が10単位以上15単位未満の場合</td> <td>月額1,090円</td> </tr> <tr> <td>年間履修単位が10単位未満の場合</td> <td>月額570円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	授業料		年額	月額	尾道南高等学校(定時制)	18,600円	1,550円	授業料等の種類	単位及び金額	徴収対象者	授業料	年間履修単位が20単位以上の場合	月額2,700円	在籍する生徒(月の全日数にわたり留学し、又は休学する者を除く。)	年間履修単位が15単位以上20単位未満の場合	月額2,180円	年間履修単位が10単位以上15単位未満の場合	月額1,090円	年間履修単位が10単位未満の場合	月額570円																					
区分	授業料																																											
	年額	月額																																										
尾道南高等学校(定時制)	18,600円	1,550円																																										
授業料等の種類	単位及び金額	徴収対象者																																										
授業料	年間履修単位が20単位以上の場合	月額2,700円	在籍する生徒(月の全日数にわたり留学し、又は休学する者を除く。)																																									
	年間履修単位が15単位以上20単位未満の場合	月額2,180円																																										
	年間履修単位が10単位以上15単位未満の場合	月額1,090円																																										
	年間履修単位が10単位未満の場合	月額570円																																										
テニスコート使用料	△ 210	<p>【尾道市テニスコート設置及び管理条例 (抜粋)】 【現行】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>使用区分</th> <th>使用時間</th> <th>使用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">尾道市新高山テニスコート</td> <td rowspan="3">コート1面当たり</td> <td>午前9時~午後5時</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>午前9時~午後1時、 1時間</td> <td>530 210</td> </tr> <tr> <td>午後7時~9時</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>夜間照明施設 1面当たり</td> <td>午後5時~9時</td> <td>1,260</td> </tr> </tbody> </table> <p>【R2. 4. 1~】 条例廃止</p>	施設名	使用区分	使用時間	使用料	尾道市新高山テニスコート	コート1面当たり	午前9時~午後5時	円	午前9時~午後1時、 1時間	530 210	午後7時~9時	630	夜間照明施設 1面当たり	午後5時~9時	1,260																											
施設名	使用区分	使用時間	使用料																																									
尾道市新高山テニスコート	コート1面当たり	午前9時~午後5時	円																																									
		午前9時~午後1時、 1時間	530 210																																									
		午後7時~9時	630																																									
	夜間照明施設 1面当たり	午後5時~9時	1,260																																									
文学の館使用料	△ 3,010	<p>【おのみち文学の館設置及び管理条例 (抜粋)】 【現行】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入館区分</th> <th>一人当たりの入館料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">文学の館 (文学記念室、志賀直哉 旧居及び中村憲吉旧居)</td> <td>大人</td> <td rowspan="2">(1) 大人とは、中学生を除く満15歳以上の者 (2) 団体とは、20人以上で入館する場合</td> </tr> <tr> <td>310円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>250円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【R2. 4. 1~】 条例廃止</p>	入館区分	一人当たりの入館料	備考	文学の館 (文学記念室、志賀直哉 旧居及び中村憲吉旧居)	大人	(1) 大人とは、中学生を除く満15歳以上の者 (2) 団体とは、20人以上で入館する場合	310円		250円																																	
入館区分	一人当たりの入館料	備考																																										
文学の館 (文学記念室、志賀直哉 旧居及び中村憲吉旧居)	大人	(1) 大人とは、中学生を除く満15歳以上の者 (2) 団体とは、20人以上で入館する場合																																										
	310円																																											
	250円																																											
合計	△ 2,691																																											

### Ⅲ 使用料・手数料等の改定資料

一般会計（手数料）

【単位：改定内容欄 円、その他 千円】

区 分	歳 入 影響額 (千円)	改 定 内 容															
高等学校手数料	10	<p>別表（第3条関係）</p> <p>【現行】</p> <table border="1" data-bbox="491 398 1059 456"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>入学者選抜料</th> <th>入学料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尾道南高等学校(定時制)</td> <td>950円</td> <td>1,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【R2. 4. 1～】</p> <table border="1" data-bbox="491 591 1430 689"> <thead> <tr> <th>授業料等の種類</th> <th>単位及び金額</th> <th>徴収対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入学者選抜料</td> <td>950円</td> <td>入学を希望する者</td> </tr> <tr> <td>入学料</td> <td>2,100円</td> <td>入学する者</td> </tr> </tbody> </table>	区分	入学者選抜料	入学料	尾道南高等学校(定時制)	950円	1,500円	授業料等の種類	単位及び金額	徴収対象者	入学者選抜料	950円	入学を希望する者	入学料	2,100円	入学する者
区分	入学者選抜料	入学料															
尾道南高等学校(定時制)	950円	1,500円															
授業料等の種類	単位及び金額	徴収対象者															
入学者選抜料	950円	入学を希望する者															
入学料	2,100円	入学する者															
合計	10																

### Ⅲ 使用料・手数料等の改定資料

【単位:改定内容欄 円、その他 千円】

一般会計 (使用料)

区分	歳入影響額(千円)	改定内容																																																			
港湾区域内占用料	27	<p>【尾道市港湾区域内占用料等徴収条例(抜粋)】 (旧 福田港港湾区域内占用料等徴収条例)</p> <p>1 占用料 【現行】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単位</th> <th>金額(年額)</th> <th>【R2.4.1~】 金額(年額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水浴場の棧敷その他これに類するもの</td> <td>1平方メートル</td> <td>70円</td> <td>80円</td> </tr> <tr> <td>栈橋、係船浮標、起重機、船台その他これらに類するもの</td> <td>1平方メートル</td> <td>55円</td> <td>60円</td> </tr> <tr> <td>貯木場その他これに類するもの</td> <td>1平方メートル</td> <td>50円</td> <td>55円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海底電線等の線類又は水道管等の管類</td> <td>径50センチメートル以上のもの</td> <td>1メートル</td> <td>30円</td> </tr> <tr> <td>径50センチメートル未満のもの</td> <td>1メートル</td> <td>25円</td> </tr> <tr> <td>鉄塔その他これに類するもの</td> <td>1基</td> <td>205円</td> <td>230円</td> </tr> <tr> <td>電柱その他これに類するもの</td> <td>1本</td> <td>165円</td> <td>185円</td> </tr> <tr> <td>海上浮体施設、人工地盤方式の工作物等であって水域を土地的に利用するもの</td> <td>1平方メートル</td> <td>近傍の土地の評価価格に0.01を乗じて得た額。ただし、当該額が70円未満の場合は70円</td> <td>近傍の土地の評価価格に0.01を乗じて得た額。ただし、当該額が80円未満の場合は80円</td> </tr> <tr> <td>マリナーの泊地として水域を占用する場合</td> <td>1平方メートル</td> <td>50円</td> <td>55円</td> </tr> <tr> <td>解体船の係留等工作物を設置しないで水域を占用する場合</td> <td>1平方メートル</td> <td>25円</td> <td>30円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 土砂採取料 【現行】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単位</th> <th>金額</th> <th>【R2.4.1~】 金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂利(砂及び玉石を含む)</td> <td>1立方メートル</td> <td>81円</td> <td>94円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	単位	金額(年額)	【R2.4.1~】 金額(年額)	海水浴場の棧敷その他これに類するもの	1平方メートル	70円	80円	栈橋、係船浮標、起重機、船台その他これらに類するもの	1平方メートル	55円	60円	貯木場その他これに類するもの	1平方メートル	50円	55円	海底電線等の線類又は水道管等の管類	径50センチメートル以上のもの	1メートル	30円	径50センチメートル未満のもの	1メートル	25円	鉄塔その他これに類するもの	1基	205円	230円	電柱その他これに類するもの	1本	165円	185円	海上浮体施設、人工地盤方式の工作物等であって水域を土地的に利用するもの	1平方メートル	近傍の土地の評価価格に0.01を乗じて得た額。ただし、当該額が70円未満の場合は70円	近傍の土地の評価価格に0.01を乗じて得た額。ただし、当該額が80円未満の場合は80円	マリナーの泊地として水域を占用する場合	1平方メートル	50円	55円	解体船の係留等工作物を設置しないで水域を占用する場合	1平方メートル	25円	30円	区分	単位	金額	【R2.4.1~】 金額	砂利(砂及び玉石を含む)	1立方メートル	81円	94円
区分	単位	金額(年額)	【R2.4.1~】 金額(年額)																																																		
海水浴場の棧敷その他これに類するもの	1平方メートル	70円	80円																																																		
栈橋、係船浮標、起重機、船台その他これらに類するもの	1平方メートル	55円	60円																																																		
貯木場その他これに類するもの	1平方メートル	50円	55円																																																		
海底電線等の線類又は水道管等の管類	径50センチメートル以上のもの	1メートル	30円																																																		
	径50センチメートル未満のもの	1メートル	25円																																																		
鉄塔その他これに類するもの	1基	205円	230円																																																		
電柱その他これに類するもの	1本	165円	185円																																																		
海上浮体施設、人工地盤方式の工作物等であって水域を土地的に利用するもの	1平方メートル	近傍の土地の評価価格に0.01を乗じて得た額。ただし、当該額が70円未満の場合は70円	近傍の土地の評価価格に0.01を乗じて得た額。ただし、当該額が80円未満の場合は80円																																																		
マリナーの泊地として水域を占用する場合	1平方メートル	50円	55円																																																		
解体船の係留等工作物を設置しないで水域を占用する場合	1平方メートル	25円	30円																																																		
区分	単位	金額	【R2.4.1~】 金額																																																		
砂利(砂及び玉石を含む)	1立方メートル	81円	94円																																																		
道路占用料	4,479	<p>【尾道市道路占用料徴収条例(抜粋)】 【現行】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>占有物件</th> <th>単位</th> <th>占有料の額(円)</th> <th>【R2.4.1~】 占有料の額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">法第32条第1項第1号に掲げる工作物</td> <td>電柱</td> <td>1本につき 1年</td> <td>790</td> </tr> <tr> <td>電話柱</td> <td>1本につき 1年</td> <td>460</td> </tr> <tr> <td>その他の柱類</td> <td>1本につき 1年</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>共架電線その他上空に設ける線類</td> <td>長さ1メートルにつき 1年</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>地下電線その他地下に設ける線類</td> <td>長さ1メートルにつき 1年</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>路上に設ける変圧器</td> <td>1個につき 1年</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>地下に設ける変圧器</td> <td>占有面積1平方メートルにつき 1年</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>変圧塔その他これに類するもの及び公衆電話所</td> <td>1個につき 1年</td> <td>910</td> </tr> <tr> <td>郵便差出箱</td> <td>1個につき 1年</td> <td>380</td> </tr> <tr> <td>広告塔</td> <td>表示面積1平方メートルにつき 1年</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>その他のもの</td> <td>占有面積1平方メートルにつき 1年</td> <td>910</td> </tr> </tbody> </table>	占有物件	単位	占有料の額(円)	【R2.4.1~】 占有料の額(円)	法第32条第1項第1号に掲げる工作物	電柱	1本につき 1年	790	電話柱	1本につき 1年	460	その他の柱類	1本につき 1年	46	共架電線その他上空に設ける線類	長さ1メートルにつき 1年	5	地下電線その他地下に設ける線類	長さ1メートルにつき 1年	3	路上に設ける変圧器	1個につき 1年	450	地下に設ける変圧器	占有面積1平方メートルにつき 1年	270	変圧塔その他これに類するもの及び公衆電話所	1個につき 1年	910	郵便差出箱	1個につき 1年	380	広告塔	表示面積1平方メートルにつき 1年	1,900	その他のもの	占有面積1平方メートルにつき 1年	910													
占有物件	単位	占有料の額(円)	【R2.4.1~】 占有料の額(円)																																																		
法第32条第1項第1号に掲げる工作物	電柱	1本につき 1年	790																																																		
	電話柱	1本につき 1年	460																																																		
	その他の柱類	1本につき 1年	46																																																		
	共架電線その他上空に設ける線類	長さ1メートルにつき 1年	5																																																		
	地下電線その他地下に設ける線類	長さ1メートルにつき 1年	3																																																		
	路上に設ける変圧器	1個につき 1年	450																																																		
	地下に設ける変圧器	占有面積1平方メートルにつき 1年	270																																																		
	変圧塔その他これに類するもの及び公衆電話所	1個につき 1年	910																																																		
	郵便差出箱	1個につき 1年	380																																																		
	広告塔	表示面積1平方メートルにつき 1年	1,900																																																		
その他のもの	占有面積1平方メートルにつき 1年	910																																																			
河川占用料	3	<p>【尾道市準用河川区域内占用料徴収条例(抜粋)】 【現行】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>占有物件</th> <th>単位</th> <th>占有料の額(円)</th> <th>【R2.4.1~】 占有料の額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工作物を設置して占用する場合</td> <td>電柱</td> <td>1本につき 1年</td> <td>790</td> </tr> <tr> <td>電話柱</td> <td>1本につき 1年</td> <td>460</td> </tr> <tr> <td>その他の柱類</td> <td>1本につき 1年</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>広告塔及び看板</td> <td>表示面積1平方メートルにつき 1年</td> <td>1,900</td> </tr> </tbody> </table>	占有物件	単位	占有料の額(円)	【R2.4.1~】 占有料の額(円)	工作物を設置して占用する場合	電柱	1本につき 1年	790	電話柱	1本につき 1年	460	その他の柱類	1本につき 1年	46	広告塔及び看板	表示面積1平方メートルにつき 1年	1,900																																		
占有物件	単位	占有料の額(円)	【R2.4.1~】 占有料の額(円)																																																		
工作物を設置して占用する場合	電柱	1本につき 1年	790																																																		
	電話柱	1本につき 1年	460																																																		
	その他の柱類	1本につき 1年	46																																																		
	広告塔及び看板	表示面積1平方メートルにつき 1年	1,900																																																		
合計	4,509																																																				

#### IV 地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当状況

消費税（国・地方）の引き上げに伴い、引き上げ分の地方消費税交付金についてはその使途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

（平成26年4月：5%から8%、令和元年10月：8%から10%）

令和2年度尾道市一般会計当初予算においては、各社会保障施策に要する経費にかかる一般財源の比率に応じ、下記のとおり充当しています。

（歳入）地方消費税交付金	3,147,926 千円	（うち社会保障財源化分	1,668,295 千円）
（歳出）社会保障施策に要する経費	22,206,796 千円	（うち一般財源分	11,441,227 千円）

地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当状況

（単位：千円）

区 分	事業費	財源内訳				
		国・県	地方債	その他	一般財源	うち地方消費税交付金 (引上げ分)
1 社会福祉	13,769,145	9,023,313	57,900	329,943	4,357,989	635,457
障害者福祉費 (自立支援給付費など)	4,432,571	3,128,701	0	2,211	1,301,659	189,800
高齢者福祉費 (老人保護措置費など)	682,307	3,810	0	92,513	585,984	85,445
児童福祉費 (児童手当給付費など)	6,436,851	4,189,375	57,900	235,217	1,954,359	284,974
生活保護費 (生活保護費など)	2,217,416	1,701,427	0	2	515,987	75,238
2 社会保険	5,959,664	1,142,304	0	0	4,817,360	702,440
国民健康保険 (特別会計繰出金)	1,043,031	591,078	0	0	451,953	65,901
介護保険 (特別会計繰出金)	2,312,783	178,258	0	0	2,134,525	311,244
後期高齢者医療 (療養給付費等負担金など)	2,603,850	372,968	0	0	2,230,882	325,295
3 保健衛生	2,477,987	44,776	148,700	18,633	2,265,878	330,398
母子保健費 (母子健康診査事業費など)	122,606	8,245	0	8,823	105,538	15,389
疾病予防対策費 (予防接種事業費など)	504,484	26,392	0	4,215	473,877	69,098
医療対策費 (公立病院負担金など)	1,697,703	0	148,700	4,000	1,545,003	225,284
成人保健費 (成人健康診査事業費など)	153,194	10,139	0	1,595	141,460	20,627
合 計	22,206,796	10,210,393	206,600	348,576	11,441,227	1,668,295

※ 社会保障施策に要する経費は、事務費や職員人件費を除く、年金・医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費となります。

## V 都市計画税の充当状況

都市計画税は、都市計画事業（街路、公園、下水道など）の費用に充てるために負担していただく目的税です。

令和2年度の都市計画税は、久保長江線（久保2工区）道路改良事業や公共下水道事業への負担金、及び出資金、庁舎駐車場整備事業、都市計画事業のために借り入れた地方債の償還に充当しています。

都市計画税の充当状況

(単位：千円、%)

年度	都市計画事業等			財源内訳					都市計画税 充当 割合 (B)/(A)
	街路事業等	公共下水道	公債費	国・県	地方債	その他	一般財源 (A)	うち都市計画税	
		負担金						(B)	
令和2	233,516	874,425	265,274	28,044	50,600	0	1,294,571	1,156,549	89.3

街路事業等の内訳

(単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳				
		国	県	地方債	その他	一般財源
久保長江線（久保2工区）	90,150	28,044	0	0	0	62,106
庁舎駐車場整備事業	143,366	0	0	50,600	0	92,766
計	233,516	28,044	0	50,600	0	154,872

## 尾道市水道事業会計当初予算比較表

(単位：千円)

区 分		令 和 2 年 度		令 和 元 年 度	
収 益 的 収 支	水道事業収益	4,100,453	給水戸数 59,748戸	4,260,258	給水戸数 60,234戸
	水道事業費用	3,977,462	年間配水量 13,792,984m <sup>3</sup>	3,974,774	年間配水量 14,395,146m <sup>3</sup>
	差 引	122,991		285,484	
資 本 的 収 支	資本的収入	432,332	不足額の補てんは、	431,809	不足額の補てんは、
	資本的支出	1,761,483	当年度分消費税 資本的収支調整額 103,911	1,622,163	当年度分消費税 資本的収支調整額 98,835
	差 引	△ 1,329,151	減債積立金 50,000	△ 1,190,354	減債積立金 50,000
	収		建設改良積立金 350,000		建設改良積立金 100,000
	支		過年度分損益 勘定留保資金 172,484		過年度分損益 勘定留保資金 255,309
			当年度分損益 勘定留保資金 652,756		当年度分損益 勘定留保資金 686,210

### ＜主な施行事業予定＞

整備事業	623,429千円	(内、導配水管 φ100～φ400 布設延長	2,890m)
改良事業	709,371千円	(内、配水管 φ50～φ200 布設延長	11,284m)
合計	1,332,800千円		14,174m

受託建設事業 7,365千円 流量計更新工事(田熊・柳津)、水位計更新工事(浦崎)

## 尾道市下水道事業会計当初予算比較表

(単位：千円)

区 分		令 和 2 年 度		令 和 元 年 度	
収 益 的 収 支	下水道事業収益	1,867,314	排水戸数 7,476戸	1,788,394	排水戸数 7,315戸
	下水道事業費用	1,825,199	年間総処理水量 2,361,550m <sup>3</sup>	1,985,333	年間総処理水量 2,393,640m <sup>3</sup>
	差 引	42,115		△ 196,939	
資 本 的 収 支	資本的収入	1,468,909	不足額の補てんは、	1,302,335	不足額の補てんは、
	資本的支出	1,889,030	当年度分消費税 資本的収支調整額 60,409	1,673,837	当年度分消費税 資本的収支調整額 40,773
	差 引	△ 420,121	当年度分損益 勘定留保資金 359,712	△ 371,502	当年度分損益 勘定留保資金 330,729

### ＜主な施行事業予定＞

管渠整備事業	808,250千円	(内、幹線管渠 布設延長 1,804m、 枝線管渠 布設延長 2,545m)
ポンプ場整備事業	357,308千円	(高西東新涯ポンプ場建設工事外)
処理場整備事業	2,959千円	(ストックマネジメント策定)
合 計	1,168,517千円	

## 尾道市病院事業会計当初予算比較表

(単位：千円)

区 分		令 和 2 年 度		令 和 元 年 度	
収 益 的 収 支	病院事業収益	14,354,666	病 床 数 549床	14,257,920	病 床 数 549床
	病院事業費用	14,430,319	年間患者数 入 院 171,185人 外 来 264,468人	14,374,352	年間患者数 入 院 173,484人 外 来 258,180人
	差 引	△ 75,653		△ 116,432	
資 本 的 収 支	資本的収入	651,886	不足額の補てんは、	435,661	不足額の補てんは、
	資本的支出	1,397,720	・過年度分損益勘定 留保資金 475,761 ・当年度分損益勘定 留保資金 265,779	1,260,039	・過年度分損益勘定 留保資金 692,646 ・当年度分損益勘定 留保資金 129,921
	差 引	△ 745,834	・当年度分消費税及 び地方消費税資本的 収支調整額 4,294	△ 824,378	・当年度分消費税及 び地方消費税資本的 収支調整額 1,811

<主な施行事業予定>

病院等施設整備事業

(市民病院 中央監視盤更新工事、HCU・ユニット系統GHP更新工事他  
48,300千円)

(みつぎ総合病院 病院空調・熱源設備他改修工事、  
保健福祉総合施設 (みつぎの苑、リハビリ、デイサービスセンター)  
空調設備他改修工事 等 222,285千円)

器械等備品購入事業

(市民病院 CT装置、体外衝撃波結石破碎装置等 441,537千円)

(みつぎ総合病院 X線透視診断装置、滅菌システム装置、  
保健福祉総合施設介護業務用タブレット端末導入一式 等  
153,287千円)

<業務の予定量>

区 分		予 定 量	病 院 別 内 訳	
			市 立 市 民 病 院	公 立 み つ ぎ 総 合 病 院
病 床 数 (床)		549	309 (19)	240
年 間 患 者 数 (人)	入 院	171,185	88,695 (4,380)	82,490
	外 来	264,468	122,958 (13,608)	141,510

( ) は瀬戸田診療所分で内数である。

<収支の予定>

(単位：千円)

区 分		予 定 額	病 院 別 内 訳	
			市 立 市 民 病 院	公 立 み つ ぎ 総 合 病 院
収 益 的 収 支	病 院 事 業 収 益	14,354,666	7,537,250 (289,637)	6,817,416
	病 院 事 業 費 用	14,430,319	7,592,689 (346,964)	6,837,630
	差 引	△ 75,653	△ 55,439 (△57,327)	△ 20,214
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入	651,886	429,896 (0)	221,990
	資 本 的 支 出	1,397,720	848,111 (16,401)	549,609
	差 引	△ 745,834	△ 418,215 (△16,401)	△ 327,619

( ) は瀬戸田診療所分で内数である。

<資本的収支の補填財源>

(単位：千円)

区 分	予 定 額	病 院 別 内 訳	
		市 立 市 民 病 院	公 立 み つ ぎ 総 合 病 院
減 債 積 立 金	0	0	0
建 設 改 良 積 立 金	0	0	0
過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	475,761	415,761 (16,401)	60,000
当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	265,779	0	265,779
繰 越 利 益 剰 余 金	0	0	0
そ の 他 積 立 金	0	0	0
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	4,294	2,454	1,840
補 填 額 計	745,834	418,215 (16,401)	327,619

( ) は瀬戸田診療所分で内数である。

<施行事業予定>

(単位：千円)

区 分	予 定 額	病 院 別 内 訳	
		市 立 市 民 病 院	公 立 み つ ぎ 総 合 病 院
病 院 等 施 設 整 備 事 業	270,585	48,300 (0)	222,285
器 械 等 備 品 購 入 事 業	594,824	441,537 (3,000)	153,287

( ) は瀬戸田診療所分で内数である。

# 主 要 事 業 シ ー ト

## 主要事業の概要 < 施策体系別 >

本市では、平成29年度から令和3年度までを期間とする尾道市総合計画前期基本計画を策定している。令和2年度も、基本構想に掲げる都市像「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる ～誇れるまち『尾道』～」を実現するため、前期基本計画における6つの政策目標や各施策に取り組むものである。

### 1 活力ある産業が育つまち

まちに活力をもたらし、豊かな市民生活を支える土台を築くためには、経済の安定的かつ持続的な成長を図っていくことが重要となる。

そこで、おのみち「農」の担い手総合支援事業、因島技術センター支援事業や、イノシン等農業被害対策事業、水産物供給基盤機能保全事業、産業支援員配置事業、創業支援事業を実施し、人材育成や技術・技能の継承に取り組むとともに、産業が活発で多様な働く場が充実したまちづくりを進めていくこととする。

### 2 活発な交流と賑わいのあるまち

地方分権・地方創生の時代、都市間競争の時代、また人口減少の時代に対応していくためには、まちの個性や特色に磨きをかけながら、交流人口を増やし、まちの賑わいを高めていくことが重要となる。

そこで、シティプロモーション推進事業を通じた移住・定住促進への取組や、瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会をはじめとする多様なイベントや、千光寺公園頂上エリアリニューアル事業、歴史的風致維持向上事業などを実施し、全国最多の3つの日本遺産を持つ本市が、長い歴史の中で培ってきた魅力を国内外に広く発信するなど、さらなる交流環境の整備を図っていくこととする。

### 3 心豊かな人材を育つまち

人口減少社会が本格的に到来する中で、地域の将来を支える人材の育成のため、個性と創造性に富み、グローバルに躍動する、魅力ある人材が育つとともに、市民一人ひとりが地域に愛着と誇りを持つことのできるまちづくりが重要である。

そこで、尾道教育みらいプラン2の推進により、夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもたちを育成する。また、栗原中学校の大規模改修をはじめ、小・中学校の改修については、安全面・衛生面・機能面などに配慮した事業を実施するとともに、(仮称)生口体育館、土生公民館の整備など、多くの市民が生涯学習やスポーツに親しむことができ、社会参加の機会が等しく保障される環境の整備を進めていくこととする。

## 4 人と地域が支え合うまち

住民自治の確立と自立した地域社会を実現するためには、市民自らが自治の主体であることを認識し、市とともにまちづくりに取り組むことが重要となる。

そこで、地域集会施設整備事業、町内会活動費補助、市民活動支援事業補助や地域活動実践者育成事業などを通じ、地域活動に必要な支援を行い、協働のまちづくりを進めていく。

また、複雑化する人権課題に対応するため、すべての人々の人権が尊重され、互いに共存し得る平和で豊かな社会の実現に向けて取り組むことが重要となる。

そこで、人権教育・啓発事業を実施していくこととする。

## 5 市民生活を守る安全のまち

安全・安心で快適に暮らすことのできるまちづくりを実現するためには、市民の生命や財産を守り、快適な日常生活を支える生活基盤の維持更新が求められるとともに、地域全体が連携して、防災・防犯等の安全対策に取り組むことが重要となる。

そこで、デジタル防災無線整備事業、庁舎整備事業（本庁舎駐車場ほか）、消防通信指令体制整備事業、長者原スポーツセンター耐震改修事業などに取り組み、災害に強いまちづくりを進め、市民・地域の安全・安心をさらに強化し、日常生活の快適性を高めていくこととする。

## 6 安心な暮らしのあるまち

人口減少と少子高齢化が進む中で、市民一人ひとりが安心して、健康で快適に暮らし続けることのできる環境づくりのためには、健康・福祉・医療・介護等の体制の充実が重要となる。

そこで、まるごと相談窓口を開設し、ひきこもりや貧困、介護といった制度の枠におさまらない”困りごと”の相談に応じ、様々な関係機関と連携しながら課題解決に取り組む、誰もが地域で安心して暮らせる環境を構築していくこととする。

また、健康・医療面では、こころサポート事業の拡充、市民病院の医療機器の更新、みつぎ総合病院の設備改修等に取り組み、高齢者をはじめとする多様な世代がまちづくりの主役となる活力あふれる都市を目指して、健康づくりと地域医療の拡充を推進し、安心して子どもを産み育て、高齢者や障害がある人たちが不安なく健康に生活でき、誰もが健やかに暮らせるまちづくりを進めていくこととする。

さらに、多様な子育てニーズに対応するための保育士確保対策事業、子どもの貧困対策を総合的に推進するためのネットワークづくりなど、子育て環境の充実を図ることとする。

## 主要事業シート一覧

### 1 活力ある産業が育つまち

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-0601	おのみち「農」の担い手総合支援事業	農林水産課	28
01-0601	イノシシ等農業被害対策事業	農林水産課	29
01-0601	農道等の長寿命化事業(個別施設計画策定)	土木課	30
01-0602	水産物供給基盤機能保全事業(海老漁港)	農林水産課	31
01-0701	産業支援員配置事業	商工課	32
01-0701	創業支援事業	商工課	33
01-0701	因島技術センター支援事業	因島しまおこし課	34

### 2 活発な交流と賑わいのあるまち

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-0201	シティプロモーション推進事業	政策企画課 まちづくり推進課ほか	35
01-0201	国際交流活動	秘書広報課	36
01-0201	御調地域づくり活性化事業	御調まちおこし課	37
01-0701	未来創造支援事業	瀬戸田しまおこし課 商工課ほか	38
01-0702	千光寺公園頂上エリアリニューアル事業	観光課	39
01-0702	瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会負担金	観光課	40
01-0702	しまなみDMO形成推進事業	観光課	41
01-0702	地域おこし事業(向島)	向島しまおこし課	42
01-0702	地域おこし事業(因島)	因島しまおこし課	43
01-0702	地域おこし事業(瀬戸田)	瀬戸田しまおこし課 瀬戸田住民福祉課	44
01-0804	都市再生整備計画事業(視点場整備)	まちづくり推進課	45
01-0804	歴史的風致維持向上事業	まちづくり推進課	46
01-1006	まちなか文化交流施設整備事業	文化振興課	47
01-1006	日本遺産魅力発信推進事業	文化振興課	48
01-1008	オリンピック・パラリンピック関連事業	生涯学習課	49

### 3 心豊かな人材を育むまち

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-1001	尾道版「学びの変革」推進事業(尾道教育みらいプラン2)	教育指導課	50
01-1001	学校指導・運営体制の整備	学校経営企画課	51
01-1002	小学校仮設校舎借上	教委庶務課	52
01-1002	西藤小学校校舎増築事業	教委庶務課	53
01-1002	浦崎小学校給食調理場改修事業	教委庶務課	54
01-1002	教育用タブレット機器増設(小・中学校)	教育指導課	55

01-1003	栗原中学校大規模改修事業	教委庶務課	56
01-1006	土生公民館建設事業	生涯学習課	57
01-1006	展覧会事業	美術館	58
01-1006	文化振興事業	文化振興課	59
01-1006	市史編さん事業	文化振興課	60
01-1006	ひろしまトリエンナーレ実行委員会負担金	文化振興課、美術館	61
01-1008	旧生口中スポーツ施設整備事業	生涯学習課	62

#### 4 人と地域が支え合うまち

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-0101	議会だより発行事業	議会事務局	63
01-0201	協働のまちづくり事業	政策企画課 生涯学習課	64
01-0201	広報広聴活動業務	秘書広報課	65
01-0303	男女共同参画基本計画策定業務	人権男女共同参画課	66
01-1007	「いのち・愛・おのみち」人権啓発事業	人権男女共同参画課	67

#### 5 市民生活を守る安全のまち

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-0201	デジタル防災無線整備事業(防災・減災対策事業)	総務課	68
01-0201	本庁舎整備事業	総務課	69
01-0201	因島総合支所庁舎整備事業	因島市民生活課	70
01-0401	環境学習推進事業	環境政策課	71
01-0401	尾道COOL CHOICEプロジェクト推進事業	環境政策課	72
01-0403	再資源化事業	清掃事務所 南部清掃事務所	73
01-0403	おのみち地区し尿処理場改修事業	衛生施設センター	74
01-0403	処理場維持管理事業	衛生施設センター 南部清掃事務所	75
01-0602	放置艇実態調査・放置艇収容実施計画策定事業	農林水産課 港湾振興課	76
01-0801	大規模建築物耐震改修事業	建築課	77
01-0801	ブロック塀等の安全確保事業	建築課	78
01-0801	空き家対策総合支援事業	まちづくり推進課	79
01-0802	橋梁長寿命化修繕事業	維持修繕課	80
01-0802	道路新設改良	土木課 因島施設管理課	81
01-0901	消防車両整備事業	消防局総務課	82
01-0901	消防庁舎整備事業	消防局総務課	83
01-0901	多機能型住宅用火災警報器設置事業	消防局予防課	84
01-0901	消防通信指令体制整備事業(通信指令システム改修)	消防局通信指令課	85

01-0901	消防団施設整備事業	消防局警防課	86
01-1008	長者原スポーツセンター耐震改修事業	生涯学習課	87
32-0101	農業集落排水施設長寿命化事業	瀬戸田しまおこし課	88
水道事業会計	水道事業	上下水道局	89
下水道事業会計	下水道事業(公共下水道)	上下水道局	90
下水道事業会計	下水道事業(特定環境保全公共下水道)	上下水道局	91

## 6 安心な暮らしのあるまち

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-0301	まるごと相談窓口事業	社会福祉課	92
01-0301	高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定事業	高齢者福祉課	93
01-0302	尾道子育て応援スタイル	健康推進課 子育て支援課ほか	94
01-0302	放課後児童クラブ運営事業	子育て支援課	95
01-0302	子ども医療費助成事業	子育て支援課	96
01-0302	保育士確保対策事業	子育て支援課 社会福祉課	97
01-0302	子どもの居場所づくり事業	子育て支援課	98
01-0302	西藤保育所仮園舎借上	子育て支援課	99
01-0304	生活保護法による扶助費等	社会福祉課 因島福祉課	100
01-0401	こころサポート事業等	健康推進課	101
12-0501	特定健康診査・特定保健指導事業	保険年金課	102
26-0503	認知症総合支援事業	高齢者福祉課	103

### 【災害復旧への取組】

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-1101	災害復旧事業(平成30年7月豪雨)	土木課ほか	104

### 【スマートシティを展望した先端技術活用の取組】

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-0201	ICT利活用の推進	情報システム課ほか	105

### 【その他】

会計-款項	事業名(シート名)	担当課	ページ
01-0201	職員研修	職員課	106
01-0202	地方電子申告の利用拡大	市民税課	107
01-0202	固定資産税賦課業務	資産税課	108
01-0202	納税案内センター設置事業	収納課	109
01-0205	国勢調査	政策企画課	110

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	おのみち「農」の担い手総合支援事業		担当課	農林水産課
会計・款項	会計 <b>1</b> 一般会計	款 <b>6</b> 農林水産業費	項 <b>1</b> 農林業費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市農業振興ビジョン			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	尾道市の農業は、気候・風土を生かした多種多様な農業が展開されていますが、農業従事者の減少や高齢化などにより担い手が不足し、農業生産構造の転換が必要となっています。これらの課題に対応するため、地域農業を支える認定農業者など担い手の経営高度化や新規就農者の育成のための支援を行います。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果																																																							
<p>【全体計画】 認定新規就農者や認定農業者、農業者が組織する団体等が、現状を打ち破り、農業を変えていこうとする「意欲ある取組」に対して支援します。</p> <p>【令和2年度計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>地域農業活性化事業</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>新規就農者経営安定支援事業</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>農業経営高度化支援事業</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>産地構造改革支援事業</td> <td>1件</td> </tr> </table>		地域農業活性化事業	3件	新規就農者経営安定支援事業	1件	農業経営高度化支援事業	15件	産地構造改革支援事業	1件	<p>4つの事業メニューを活用し、持続的・安定的な営農の実現に向けた支援を行いました。(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">地域農業活性化事業</td> <td>H29</td> <td>3件</td> <td>1,266</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3件</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>3件</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">新規就農者経営安定支援事業</td> <td>H29</td> <td>1件</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1件</td> <td>621</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>1件</td> <td>936</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">農業経営高度化支援事業</td> <td>H29</td> <td>14件</td> <td>9,308</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18件</td> <td>7,790</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>15件</td> <td>6,860</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">産地構造改革支援事業</td> <td>H29</td> <td>1件</td> <td>692</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1件</td> <td>297</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>0件</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R元年度は見込数</p>				事業名	年度	件数	事業費	地域農業活性化事業	H29	3件	1,266	H30	3件	1,300	R元	3件	1,300	新規就農者経営安定支援事業	H29	1件	111	H30	1件	621	R元	1件	936	農業経営高度化支援事業	H29	14件	9,308	H30	18件	7,790	R元	15件	6,860	産地構造改革支援事業	H29	1件	692	H30	1件	297	R元	0件	0
地域農業活性化事業	3件																																																								
新規就農者経営安定支援事業	1件																																																								
農業経営高度化支援事業	15件																																																								
産地構造改革支援事業	1件																																																								
事業名	年度	件数	事業費																																																						
地域農業活性化事業	H29	3件	1,266																																																						
	H30	3件	1,300																																																						
	R元	3件	1,300																																																						
新規就農者経営安定支援事業	H29	1件	111																																																						
	H30	1件	621																																																						
	R元	1件	936																																																						
農業経営高度化支援事業	H29	14件	9,308																																																						
	H30	18件	7,790																																																						
	R元	15件	6,860																																																						
産地構造改革支援事業	H29	1件	692																																																						
	H30	1件	297																																																						
	R元	0件	0																																																						
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																																					
事業費 (千円)	10,000	10,000	10,000	8,000																																																					
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0																																																				
	地方債	0	0	0	0																																																				
	その他	0	0	5,000	3,000																																																				
	一般財源	10,000	10,000	5,000	5,000																																																				
(3) 今後の方針等																																																									
引き続き認定新規就農者や認定農業者の生産設備等の導入支援を行うとともに、農業用機械のIT化や6次産業化に対する取組への支援を行います。																																																									

1 事業名等 【 新規・**継続** 】

事業名	イノシシ等農業被害対策事業		担当課	農林水産課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 6 農林水産業費	項 1 農林業費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	鳥獣による農作物被害等の対策として、捕獲による個体数調整、防護さくによる防護に加え、地域ぐるみでの取組を支援・実施し、被害を最小限に抑えます。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果																																																																														
<p><b>【全体計画】</b> 急増しているイノシシ等による農作物被害を未然に防止するため、箱わなの設置、捕獲班による捕獲の実施、防護さく等の設置補助を行います。また、捕獲檻や電気止め刺し器等、捕獲に必要な機材を計画的に購入することにより、捕獲体制の強化と捕獲員の負担軽減を図ります。</p> <p><b>【令和2年度計画】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>捕獲報償費</td> <td>イノシシ</td> <td>1,700頭</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防護さく等設置補助</td> <td>個人</td> <td>140件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>団体</td> <td>3件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機材購入</td> <td>イノシシ用捕獲檻</td> <td>22基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>電気差し止め器</td> <td>7基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>センサー式自動捕獲システム</td> <td>6基</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		捕獲報償費	イノシシ	1,700頭			防護さく等設置補助	個人	140件				団体	3件			機材購入	イノシシ用捕獲檻	22基				電気差し止め器	7基				センサー式自動捕獲システム	6基			<p>1 イノシシ等農業被害対策事業 各種補助及び尾道地区に有害鳥獣解体処理施設を設置し、捕獲体制の強化及び被害防止対策を図るとともに、集落ぐるみの総合的な鳥獣被害対策を推進するため、研修会等を実施する等農作物被害の軽減及び農業生産者の意欲の向上を図りました。 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>年度</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">有害鳥獣捕獲報償</td> <td>H29</td> <td>9,994</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9,510</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>10,996</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">捕獲作業等支援事業</td> <td>H29</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>287</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鳥獣防護さく等設置事業</td> <td>H29</td> <td>3,627</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3,914</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>4,343</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鳥獣被害緊急総合支援事業</td> <td>H29</td> <td>2,027</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,045</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>2,045</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業</td> <td>H29</td> <td>11,478</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9,455</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>10,658</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有害鳥獣解体処理施設設置事業</td> <td>H29</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R元年度は見込数</p>				事業名	年度	事業費	有害鳥獣捕獲報償	H29	9,994	H30	9,510	R元	10,996	捕獲作業等支援事業	H29	311	H30	416	R元	287	鳥獣防護さく等設置事業	H29	3,627	H30	3,914	R元	4,343	鳥獣被害緊急総合支援事業	H29	2,027	H30	2,045	R元	2,045	鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業	H29	11,478	H30	9,455	R元	10,658	有害鳥獣解体処理施設設置事業	H29	0	H30	6,000	R元	0
捕獲報償費	イノシシ	1,700頭																																																																														
防護さく等設置補助	個人	140件																																																																														
	団体	3件																																																																														
機材購入	イノシシ用捕獲檻	22基																																																																														
	電気差し止め器	7基																																																																														
	センサー式自動捕獲システム	6基																																																																														
事業名	年度	事業費																																																																														
有害鳥獣捕獲報償	H29	9,994																																																																														
	H30	9,510																																																																														
	R元	10,996																																																																														
捕獲作業等支援事業	H29	311																																																																														
	H30	416																																																																														
	R元	287																																																																														
鳥獣防護さく等設置事業	H29	3,627																																																																														
	H30	3,914																																																																														
	R元	4,343																																																																														
鳥獣被害緊急総合支援事業	H29	2,027																																																																														
	H30	2,045																																																																														
	R元	2,045																																																																														
鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業	H29	11,478																																																																														
	H30	9,455																																																																														
	R元	10,658																																																																														
有害鳥獣解体処理施設設置事業	H29	0																																																																														
	H30	6,000																																																																														
	R元	0																																																																														
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																																																												
事業費 (千円)	26,650	32,544	28,895	31,220																																																																												
財源 (千円)	国県支出金	9,600	10,200	13,125	13,160																																																																											
	地方債	0	0	0	0																																																																											
	その他	10	10	3	3																																																																											
	一般財源	17,040	22,334	15,767	18,057																																																																											
(3) 今後の方針等																																																																																
<p>近年、市街地にも出没が増えてきているため、市関係機関、尾道市有害鳥獣捕獲班、町内会並びに警察署等と連携しながら、被害防止に努めていきます。</p>																																																																																

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【新規・継続】

事業名	農道等の長寿命化事業（個別施設計画策定）		担当課	土木課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 6 農林水産業費	項 1 農林業費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	インフラ長寿命化基本計画（平成25年11月策定）に基づき農道等の個別施設計画を策定することにより、施設の長寿命化並びに維持管理費の平準化を行い、農業経営の安定化を図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】 農道等の個別施設計画を策定し、定期的な機能診断を実施し、診断結果に基づく計画的な修繕を行うことにより施設の長寿命化並びに維持費用の縮減を図ります。</p> <p>個別施設計画54箇所</p> <p>【令和2年度計画】 事業費：16,000千円</p> <p>農道（橋長15m・トンネル全て） 橋梁：5か所 トンネル：2か所</p> <p>農業水利施設（土地改良施設） ダム（堤高15m以上）：7か所 揚水機（100mm以上）：1か所 排水機（200mm以上）：15か所 樋門水門：15か所 ため池：7か所 水路：1か所 畑かん施設：1か所</p>		<p>【新規事業】</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	0	0	16,000	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	16,000
(3) 今後の方針等					
計画的に施設の修繕を行うとともに、定期的な点検を実施することにより施設の長寿命化並びに維持費用の縮減を図ります。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	水産物供給基盤機能保全事業（海老漁港）		担当課	農林水産課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 6 農林水産業費	項 2 水産業費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	漁港施設の老朽化が進む中、今後、ますます維持管理・更新等コストの増大が予想されます。今後とも漁業活動に必要な不可欠な水産基盤施設が適切な機能を継続的に発揮していくために、効果的かつ効率的な維持管理・更新等により施設の長寿命化や更新コストの縮減を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>1 平成29年度に策定した機能保全計画に基づき漁港施設の維持管理・更新等を効果的かつ効率的に実施していきます。計画では海老漁港施設のうち、防波堤、浮棧橋等が倒壊、流失の恐れがあると判定されているため、早急に保全工事を行います。</p> <p>2 全体事業費 約507,000千円</p> <p>3 事業期間 令和元年度～令和5年度</p> <p>4 工事内容 東防波堤 L=134.8m 西防波堤 L=41.6m 浮棧橋 L=54.0m</p> <p>【令和2年度事業】</p> <p>1 事業費 35,000千円</p> <p>2 事業計画 浮棧橋測量設計 浮棧橋、西防波堤機能保全工事</p>		<p>【令和元年度事業】</p> <p>1 事業費 34,661千円</p> <p>2 事業計画 東西防波堤測量設計</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	0	30,000	35,000	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	15,000	16,000
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	15,000	19,000
(3) 今後の方針等					
<p>長期的な機能保全計画に基づき、効率的かつ効果的な漁港施設の維持管理・更新を行うことにより、ライフサイクルコストの低減に努めつつ、アサリ資源の増大対策の重要拠点であり、百島航路の寄港地としても重要な漁港である海老漁港の機能保全を図っていきます。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	産業支援員配置事業		担当課	商工課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 1 商工費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市及び商工団体が連携の上、支援員を配置し、積極的に企業訪問等を行い、各種施策・制度の周知及び企業ニーズの把握に努めるとともに、学校及び企業への訪問活動を通じて、相互理解を深め、企業の持続的発展及び雇用の確保を推進します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果											
<p>支援員を配置し、市と商工団体等が一体となり、市内企業を支援します。</p> <p>産業支援員は、計画的に市内企業を訪問して施策・制度を周知し、企業ニーズの把握、ニーズに沿った支援機関等とのマッチングを行います。</p> <p>また、企業の人手不足の解消に向けて、新たに支援員を配置し、学校及び企業への訪問活動を通じて情報・ニーズの照らし合わせ等を行いながら相互理解を深め、市内企業への円滑な就職につなげます。</p>		<p>【事業実績・成果】</p> <p>・産業支援員訪問件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>871</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>913</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>818</td> </tr> </tbody> </table>				年度	件数	H28	871	H29	913	H30	818
年度	件数												
H28	871												
H29	913												
H30	818												
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額									
事業費 (千円)	4,050	4,000	4,000	6,500									
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0								
	地方債	0	0	0	0								
	その他	0	0	0	0								
	一般財源	4,050	4,000	4,000	6,500								
(3) 今後の方針等													
<p>尾道市、尾道商工会議所、因島商工会議所、尾道しまなみ商工会、日本政策金融公庫尾道支店、市内金融機関、広島県信用保証協会、ハローワーク及び尾道地域中小企業支援センター等の産官金で構成する協議会と連携を図りながら、市内中小企業及び小規模事業者のニーズに沿った支援を行い、これら企業の持続的発展を支援していきます。</p>													

1 事業名等 【 新規・**継続** 】

事業名	創業支援事業		担当課	商工課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 1 商工費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市内に事業所を設置する新規創業者に対して、創業に要する初期投資のための経費の一部補助や、創業融資にかかる利子を補助することにより、創業時の負担軽減を図り、創業促進ならびに市域経済の活性化および雇用の拡大を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																											
<p>1 創業資金利子補給金事業 新規創業者が負担した創業に係る融資の利子を2年間補助し、創業時の負担を軽減し、創業を促進します。</p> <p>2 創業支援事業 地域経済の活性化、雇用の拡大、新たな事業の創業者育成を支援するため、市内に事業所を設置しようとする新規創業者に対して、事業所開設の整備に要する経費の一部を助成します。</p>	<p>【事業実績・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>尾道市中小企業創業資金利子補給金交付申請予定届件数 平成28年度…22件 平成29年度…28件 平成30年度…24件</li> </ul> <p>(単位：件、千円、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>補助金額</th> <th>新規雇用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>87</td> <td>3,032</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>88</td> <td>3,422</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>102</td> <td>3,768</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新規雇用者数：補給金交付申請時の聞取り数値を集計しました。</p> <p>【事業実績・効果】</p> <p>(単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>5</td> <td>2,444</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>7</td> <td>3,475</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	補助金額	新規雇用者数	H28	87	3,032	52	H29	88	3,422	93	H30	102	3,768	58	年度	件数	補助金額	H29	5	2,444	H30	7	3,475		
年度	件数	補助金額	新規雇用者数																									
H28	87	3,032	52																									
H29	88	3,422	93																									
H30	102	3,768	58																									
年度	件数	補助金額																										
H29	5	2,444																										
H30	7	3,475																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>9,000</td> <td>8,000</td> <td>8,000</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	9,000	8,000	8,000	7,500	財源 (千円)	国県支出金	0	0	2,000	地方債	0	0	0	その他	3,000	2,000	2,000	一般財源	6,000	6,000	6,000	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																								
事業費 (千円)	9,000	8,000	8,000	7,500																								
財源 (千円)	国県支出金	0	0	2,000																								
	地方債	0	0	0																								
	その他	3,000	2,000	2,000																								
	一般財源	6,000	6,000	6,000																								
(3) 今後の方針等																												
<p>新規創業者の創業時の負担を軽減する一助となるため、引き続き、ホームページ等を通じた情報発信や関係する創業支援機関等との連携に努め、地域経済の活性化や雇用の拡大を図ります。</p>																												

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	因島技術センター支援事業		担当課	因島総合支所しまおこし課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 1 商工費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	因島技術センターが実施する次世代人材育成のための職業訓練事業を支援し、造船・船用工業の伝統的な技術・技能の継承と、若者に「ものづくりの喜び」を教え製造業への定着を図るとともに、海事都市・尾道として振興を図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】 新卒者を対象とした造船所で働くために必要な基本的な資格や経験を取得するための初任者研修と各企業の現場においてある程度経験を積んだ技能者を対象とした専門技能研修を実施するため、実施主体の因島技術センター運営協議会に助成を行い、次世代の人材育成を図ります。</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>(1) 初任者研修 (2) 撓鉄中級専門技能研修 (3) 溶接中級専門技能研修 (4) 配管艀装初級専門技能研修 (5) 船舶海洋工学研修 (6) 安全体感研修</p>		<p>1 平成29年度</p> <p>(1) 初任者研修 57人 (2) 撓鉄中級専門技能研修 12人 (3) 溶接中級専門技能研修 9人 (4) 配管艀装初級専門技能研修 7人 (5) 船舶海洋工学研修 5人 (6) 安全体感研修 379人</p> <p>2 平成30年度</p> <p>(1) 初任者研修 58人 (2) 撓鉄中級専門技能研修 14人 (3) 溶接中級専門技能研修 6人 (4) 配管艀装初級専門技能研修 3人 (5) 船舶海洋工学研修 1人 (6) 安全体感研修 376人</p> <p>3 令和元年度 (見込)</p> <p>(1) 初任者研修 41人 (2) 撓鉄中級専門技能研修 12人 (3) 溶接中級専門技能研修 9人 (4) 配管艀装初級専門技能研修 4人 (5) 船舶海洋工学研修 4人 (6) 安全体感研修 350人</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	8,200	8,200	8,200	8,200	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	8,200	8,200	8,200	8,200
(3) 今後の方針等					
本市の基幹産業である造船・船用工業の次世代の人材を確保するため、伝統的な技術・技能の継承とものづくりの喜びを教え、製造業への定着に取り組んでいる因島技術センターを引き続き支援します。					

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	シティプロモーション推進事業		担当課	政策企画課、まちづくり推進課 御調支所まちおこし課、商工課 因島総合支所しまおこし課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	移住定住の促進、関係人口の拡大等を目的として、既存事業である空き家対策・就労支援事業等の充実を図ります。また、個別の事業と連携し、本市の生活での「便利さ」「喜び」「豊かさ」等の情報を発信するための公式ブランドサイトを整備し、大都市圏で開催する移住フェア等への参画と合わせて本市の魅力発信を行います。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																																																												
<p>1 本市の魅力発信</p> <p>(1) 公式ブランドサイトの整備 本市への移住を検討している人や地域との関わりを求めている人をターゲットに情報発信を行うサイトを整備します。</p> <p>(2) 移住フェア、セミナーへの参画 広島県交流・定住促進協議会が主催する移住フェアやセミナー等に参加し、積極的に本市の魅力のプロモーションを行います。</p> <p>2 移住・定住関連事業の推進</p> <p>(1) 空き家バンクの充実 尾道・御調地区の空き家バンク事業に加え、因島地区に空き家バンクを新設します。</p> <p>(2) 企業の魅力発信 市内企業の様々な魅力や特徴、採用情報等を冊子等で効果的に発信することで、市内企業の認知度の向上、地元就職の促進を図ります。</p> <p>(3) 創業支援 新たな事業の創業育成の支援等のため市内に事業所を設置しようとする新規創業者に対して、事業所開設の整備のための経費の一部を助成します。</p> <p>(4) 空き店舗活用 (因島地区) 既存の空き店舗を活用し新たなサービスを創出する個人、法人等に対して、そのために要する経費等の一部を助成します。</p>	<p>1 本市の魅力発信</p> <p>(1) 【新規事業】</p> <p>(2) 【事業実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加件数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>2</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>3</td> <td>908</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 移住・定住関連事業の推進</p> <p>(1) 【事業実績 (尾道・御調)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">登録件数(新規)</th> <th colspan="2">成立実績</th> </tr> <tr> <th>尾道</th> <th>御調</th> <th>尾道</th> <th>御調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>18</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>32</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 【事業実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>掲載企業数</th> <th>冊子発行部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>100</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>98</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>101</td> <td>5,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 【事業実績】 (単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>5</td> <td>2,444</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>7</td> <td>3,475</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>7</td> <td>3,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 【新規事業】</p> <p>※令和元年度は見込みを含む。</p>	年度	参加件数	参加者数	H29	2	209	H30	1	107	R元	3	908	年度	登録件数(新規)		成立実績		尾道	御調	尾道	御調	H29	18	5	16	2	H30	17	3	5	3	R元	32	6	9	0	年度	掲載企業数	冊子発行部数	H29	100	5,000	H30	98	5,500	R元	101	5,500	年度	件数	補助金額	H29	5	2,444	H30	7	3,475	R元	7	3,500
年度	参加件数	参加者数																																																											
H29	2	209																																																											
H30	1	107																																																											
R元	3	908																																																											
年度	登録件数(新規)		成立実績																																																										
	尾道	御調	尾道	御調																																																									
H29	18	5	16	2																																																									
H30	17	3	5	3																																																									
R元	32	6	9	0																																																									
年度	掲載企業数	冊子発行部数																																																											
H29	100	5,000																																																											
H30	98	5,500																																																											
R元	101	5,500																																																											
年度	件数	補助金額																																																											
H29	5	2,444																																																											
H30	7	3,475																																																											
R元	7	3,500																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>10,650</td> <td>10,047</td> <td>9,759</td> <td>19,200</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8,905</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,000</td> <td>2,450</td> <td>2,450</td> <td>2,459</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,650</td> <td>7,597</td> <td>7,309</td> <td>7,836</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	10,650	10,047	9,759	19,200	財源 (千円)	国県支出金	0	0	8,905	地方債	0	0	0	その他	3,000	2,450	2,450	2,459	一般財源	7,650	7,597	7,309	7,836																																
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																																									
事業費 (千円)	10,650	10,047	9,759	19,200																																																									
財源 (千円)	国県支出金	0	0	8,905																																																									
	地方債	0	0	0																																																									
	その他	3,000	2,450	2,450	2,459																																																								
	一般財源	7,650	7,597	7,309	7,836																																																								
(3) 今後の方針等																																																													
<p>移住・関係人口の拡大のため、整備されたブランドサイトを利用し、積極的な情報発信を行うとともに、個々の事業の充実により、移住・定住の促進を図っていきます。</p>																																																													

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	国際交流活動		担当課	秘書広報課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	海外からの留学生の受入や外国人との交流イベントへの支援を行うことにより、本市を訪れる外国人と市民との交流を推進し、国際的な視野を持つ人材の育成を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>1 国際交流活動</p> <p>外国人と市民との交流を推進するため、各種国際交流活動へ助成を行うとともに、在住外国人に対し情報提供を行います。</p>		<p>1 国際交流団体への助成</p> <p>国際交流の振興を図るため、市内19団体で構成される「尾道市国際交流推進協議会」の各種活動に対して、助成を行いました。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在住外国人による日本語スピーチ大会の実施</li> <li>・おのみち日本語教室の開催</li> <li>・留学生受入家庭への支援</li> </ul> <p>2 広報研究活動</p> <p>「尾道市国際交流推進協議会」事務局として、情報誌を毎月発行するなど、外国人への情報提供に努めました。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「ONOMICHI INFORMATION」の発行</li> <li>・商店街店舗への英会話接客研修</li> <li>・ゴミ分別チラシの多言語化</li> </ul>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	4,504	4,488	4,319	4,062	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,504	4,488	4,319	4,062
(3) 今後の方針等					
<p>本市を訪れる外国人観光客の増加や各市立小中学校の積極的な海外交流など、外国人と市民との接触機会はますます増加することが予想されます。</p> <p>事業を継続実施することにより、異文化を理解し国際的な視野を持つ人材の育成に努めます。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 **継続** 】

事業名	御調地域づくり活性化事業		担当課	御調支所まちおこし課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	御調町内の各種団体が地域資源（御調の魅力）を活かしたイベントを開催し、地域間交流人口の増加による地域の活性化を図ります。また、地域住民がイベント実施に関わることで、地域を担う人材の育成と地域づくり活動の活性化も図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
1 御調町ふれあい秋まつり 農業関係者及び商工業関係者で組織する御調町ふれあい秋まつり実行委員会が、産業振興と住民のコミュニティ形成・地域間交流による地域振興を目的に開催します。 御調町ふれあい秋まつり実行委員会に対しては、補助金として1,400千円を交付します。		1 御調町ふれあい秋まつり (1) 平成30年度（平成30年11月11日開催） ア 来場者数 2,000人 (2) 令和元年度（令和元年11月10日開催） ア 来場者数 2,000人			
2 御調地域交流促進事業 御調町振興区長会は、地域の課題を解決し、住みよいまちづくりを推進するため活動しており、その活動の一環として、地域間交流の促進を目的として地域住民の手作りによる地域に根差した四季のまつりを開催します。 御調町振興区長会に対しては、補助金として600千円を交付します。		2 御調地域交流促進事業 (1) 平成30年度 ア 町民運動会 参加者 600人 イ みつぎ駅伝大会 参加者 750人 ウ いきいきマラソン大会 参加者 230人 エ 盆踊り大会 参加者 2,050人 (2) 令和元年度 ア 町民運動会 参加者 600人 イ みつぎ駅伝大会 参加者 800人(見込) ウ いきいきマラソン大会 参加者 180人 エ 盆踊り大会 参加者 2,200人			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	1,400	2,000	2,020	2,000	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,400	2,000	2,020	2,000
(3) 今後の方針等					
当該事業の必要性や事業効果を検証しながら、支援を継続します。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	未来創造支援事業		担当課	商工課 瀬戸田支所しまおこし課 ほか
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	2 総務費	項 1 商工費 1 総務管理費
事業実施の根拠となる計画	尾道市未来創造支援計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	しおまち商店街を中心とする瀬戸田地域において、官民が一体となり、訪日外国人を含む交流人口の増大に伴う観光消費額の増加や、地域の所得向上に伴う地域振興を図るとともに、先端技術を活用した民間活力による取組を支援し、スマートシティも展望した持続可能な地域を目指します。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【令和2年度計画】</p> <p>1 地域資源活用推進事業 (3,000千円) しおまち商店街を中心とする瀬戸田地域の活性化に向け、地域や商店街の活性化・観光地域づくり等の専門人材を交え、農商工業者・地域住民・関係団体等によるワークショップを開催し、地域の価値向上に向けた実施計画を作成します。</p> <p>2 瀬戸田地域未来創造支援補助 (7,000千円) 民間事業者が、地域や行政と連携して実施する地域活性化事業に要する経費を助成します。 Webやマップ等により地域情報を発信するとともに、来街者情報や地域のオープンデータをICTなどの先端技術を活用して収集・分析・情報の見える化を図り、マーケティングや地域情報の共有化に活用し、地域の「稼ぐ力」につなげます。</p> <p>3 空き店舗等活用支援事業補助 (5,000千円) しおまち商店街を中心とする瀬戸田歴史風致地区で、空き店舗等を活用して新規出店する事業者等に対し、その経費等の一部を助成します。</p> <p>《関連事業》 ○グリーンスローモビリティ運行事業 (瀬戸田地域 令和2年夏) 環境省・国交省連携による実証実験事業 (令和元年度～令和3年度)</p>		<p>【実績・効果】</p> <p>1 地域資源活用推進事業 農商工業者・地域住民・関連事業者など、国内外から様々な人材を交えてワークショップを行い、地域課題を共有し、各々の立場・領域を超えて、将来にわたり持続可能な稼げる、魅力ある地域として再生するための、50年先の目指すべき方向性について、計画を発表しました。</p> <p>2 【新規事業】</p> <p>3 空き店舗等活用支援事業補助金 平成30年度 補助対象事業者 2件 (飲食店1店、ゲストハウス1店)</p> <p>令和元年度 補助対象事業者 1件 (飲食店1店)</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	1,500	5,000	7,000	15,000	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	1,000	7,500
	地方債	0	5,000	5,000	2,500
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,500	0	1,000	5,000
(3) 今後の方針等					
しおまち商店街を中心とした地域の価値向上及び域内消費の拡大による地域経済の活性化に向け、農商工業者・生産者・地域住民・関連事業者等民間主導による事業展開が図れるよう、継続した支援を行います。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ( 継続 ) 】

事業名	千光寺公園頂上エリアリニューアル事業		担当課	観光課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 2 観光費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	尾道市の主要な観光地である千光寺公園の魅力を高め、さらなる交流人口の拡大を図ることを目的としています。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
1 概要 千光寺公園頂上エリアをリニューアルし、既存の展望台を建て替え、さらなる交流人口の拡大を図ります。さらに、千光寺公園内の魅力を高めるため、年間を通じて楽しむことができる花木の植樹整備を行います。	1 実績 (1) 千光寺公園頂上エリアリニューアル関係 ア 基本・実施設計業務 平成28年度から平成29年度にかけて基本・実施設計業務委託を行いました。履行期間内に業務が遂行されなかったため、契約解除しました。 平成30年度に再度プロポーザルによる業者選定を行い、業務委託を締結し、業務を行いました。 イ 用地測量業務 地形等を把握するために測量業務を行いました。 ウ 地質調査業務 地質を把握するために地質調査を行いました。 エ 許認可等申請図書作成業務 各種法令に定められた許認可等の申請書類作成業務を行いました。				
2 全体計画 (1) 千光寺公園頂上エリアリニューアル関係 ア 基本・実施設計業務 イ 用地測量業務 ウ 地質調査業務 エ 許認可等申請図書作成業務 オ リニューアル工事 (2) 千光寺公園内緑地整備事業関係 ア 千光寺公園内緑地整備業務	(2) 千光寺公園内緑地整備事業関係 ア 千光寺公園内緑地整備業務 老朽化した植栽等の整備を行い、千光寺公園の魅力を高めました。				
3 令和2年度計画 (1) 千光寺公園頂上エリアリニューアル関係 リニューアル工事 (～令和3年度)					
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	31,479	38,110	41,100	132,825	
財源 (千円)	国県支出金	0	15,610	18,495	42,130
	地方債	0	0	0	0
	その他	17,000	0	10,000	48,000
	一般財源	14,479	22,500	12,605	42,695
(3) 今後の方針等					
令和元年度に展望台のリニューアル工事及び既存展望台の解体に着手する予定としていましたが、入札が不調になったため業者が決まりませんでした。そのため令和2年度にリニューアル工事及び既存展望台の解体に着手することとし、令和3年度 (2021年度) に完了する予定として業務を進めていきます。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 **継続** 】

事業名	瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会負担金		担当課	観光課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 2 観光費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	高速道路を一部通行止めにした国内最大級の国際サイクリング大会を周期的に開催することで、しまなみ海道の魅力を磨き、国内外に情報発信します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>広島県及び愛媛県内の地元自治体・関係団体等で構成される実行委員会及び関係機関協議会により協議・調整を行い、瀬戸内しまなみ海道の自動車専用道路を一部通行止めにした国際サイクリング大会を開催します。供用中の高速道を通行止めにしたサイクリングイベントは国内唯一であり、しまなみ海道ならではの魅力やおもてなしを国内外に情報発信することで、しまなみ海道の認知の一層の定着化や、交流人口の拡大を通じた地域の振興・活性化を図ります。</p> <p>【令和2年度計画】 サイクリングしまなみ2020の開催 開催日：令和2年10月25日（日） 参加者数（見込み）3,500人</p>		<p>過去、平成26年、28年、30年に大会が開催され、国内外から幅広い層の参加があったほか、多数のメディア露出を通じてしまなみ海道を国内外に情報発信ができました。また、コース上に設けたエイドステーションやフィニッシュ会場等での、しまなみ海道ならではの地域の魅力溢れるおもてなしやイベントによる参加者との交流により、地域の振興・活性化に繋がりました。</p> <p>【過去参加者数】 平成26年：7,281人 平成28年：3,539人 平成30年：7,215人</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	2,438	44,754	2,438	28,888	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	30,000	0	10,000
	一般財源	2,438	14,754	2,438	18,888
(3) 今後の方針等					
<p>隔年での開催を予定しており、令和元年に瀬戸内しまなみ海道がナショナルサイクルルートに指定されたことも追い風に、サイクリリストの聖地・しまなみ海道のさらなるブランド価値の向上と国内外からの誘客を図ります。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	しまなみDMO形成推進事業		担当課	観光課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 2 観光費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	DMO（一社）しまなみジャパンが、自立的な事業運営に向けた収益事業を確立し、しまなみ海道広域エリアの「稼ぐ力」に繋げ、観光産業発展による地域経済活性化、雇用拡大を図り、しまなみファンの創出を移住・定住に繋げていきます。なお、財源については、地方創生推進交付金を活用します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>観光地としてのブランドづくり・情報発信・プロモーション・マーケティング等の観光地経営の戦略策定に関して、官民様々な団体が参画し、地域が主体となって一体的に進めていく推進母体であるDMOを運営します。</p> <p>1 プロモーション事業</p> <p>(1) 瀬戸内しまなみ海道地域のサイクリングや観光情報を、パンフレットやホームページを活用して、広域のかつ効果的に発信します。</p> <p>(2) 国内外でのプロモーション活動、観光・サイクリング訪問団体の受入支援等の実施により、しまなみ海道の知名度向上及び誘客促進を図ります。</p> <p>(3) 瀬戸内しまなみ海道地域の活性化に繋がるデータ収集、調査研究を実施します。</p> <p>2 レンタサイクル事業</p> <p>しまなみ海道レンタサイクル（尾道市側）の運営を、今治市側レンタサイクルと連携しながら実施します。</p>		<p>平成28年度 組織設立に向けた準備</p> <p>平成29年度～令和元年度 マーケティング・プロモーション事業、イベント実行事業、レンタサイクル事業、海外誘客促進事業</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	34,040	28,650	32,430	29,136	
財源 (千円)	国県支出金	7,200	11,360	16,000	14,568
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	9,000	3,000
	一般財源	26,840	17,290	7,430	11,568
(3) 今後の方針等					
<p>引き続き、観光産業発展による地域経済活性化、雇用拡大を図るため、サイクリングや地域の魅力等、各種情報発信に取り組むとともに、イベント実施や海外へのプロモーション活動を積極的に行います。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	地域おこし事業（向島）		担当課	向島支所しまおこし課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 2 観光費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	向島町の各種団体、企業及び学校等が連携してイベントを開催し、向島の魅力を発信する中で、交流人口の拡大による地域活性化とウォーキングやサイクリングにより健康増進を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果																														
1	<p>にこびんしゃん祭り 向島町イベント実行委員会において、イベント関連の事業内容、会場レイアウト及び広報・警備・会場関係の内容を協議し開催します。 向島町イベント実行委員会に対しては、補助金として2,000千円を交付します。</p>	1	<p>にこびんしゃん祭り (1) 平成30年度(11月4日開催) ア 実行委員会の回数 3回 イ 来場者数 10,000人 (2) 令和元年度(11月4日開催) ア 実行委員会の回数 4回 イ 来場者数 15,000人</p>																													
2	<p>花と潮風かおるむかいしまウォーク 花と潮風かおるむかいしまウォーク実行委員会及び運営委員会において、イベント関連の事業内容、会場レイアウト、役割分担及び広報等の内容を協議し開催します。 花と潮風かおるむかいしまウォーク実行委員会に対しては、負担金として300千円を交付します。</p>	2	<p>花と潮風かおるむかいしまウォーク (1) 平成30年度(11月4日開催) ア 実行委員会の回数 2回、運営委員会2回 イ 参加者数 186人 (2) 令和元年度(11月4日開催) ア 実行委員会の回数 2回、運営委員会2回 イ 参加者数 196人</p>																													
3	<p>むかいしま女性サイクリング 「よもそろガールズ向島」は、向島の魅力を発信して島をもっと元気になりたいと思う気持ちから発足した団体であり、定例会議において、イベント関連の事業、役割分担及び広報等の内容を協議し開催します。 よもそろガールズ向島に対しては、補助金として180千円を交付します。</p>	3	<p>むかいしま女性サイクリング (1) 平成30年度(10月14日開催) ア 定例会での協議回数 10回 イ 参加者数 57人 (2) 令和元年度(10月13日開催) ア 定例会での協議回数 8回 イ 参加者数 47人</p>																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（千円）</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>2,480</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>		予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費（千円）	2,500	2,500	2,500	2,480	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	地方債	0	0	0	その他	500	500	500	一般財源	2,000	2,000	2,000				
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																												
事業費（千円）	2,500	2,500	2,500	2,480																												
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0																												
	地方債	0	0	0																												
	その他	500	500	500																												
	一般財源	2,000	2,000	2,000																												
(3) 今後の方針等																																
向島における各イベントは、実行委員会や民間の団体が事業主体であり、関係機関や団体と協力し、事業効果を検証しながら、継続して開催します。																																

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	地域おこし事業（因島）		担当課	因島総合支所しまおこし課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 2 観光費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	因島地域の各種団体、企業及び学校が連携して賑わいを創出し、因島の魅力を発信する中で、交流人口の拡大による地域活性化と観光消費の増加を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果																												
1 因島・水軍ふる里まつり振興協議会	<p>因島・水軍ふる里まつりをとおして、市民の自立と連帯を育成するとともに、市民総参加によるまつりの社会的、文化的意識を高揚し、「水軍のふる里」にふさわしい個性的で魅力的な地域づくりの推進を図ります。</p> <p>因島・水軍ふる里まつり振興協議会に対して、補助金を交付します。</p> <p>6,400千円</p>	1 因島・水軍ふる里まつり振興協議会	<p>(1) 因島水軍まつり来場者数</p> <table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>島まつり</td> <td>3,500 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>火まつり</td> <td>41,000 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海まつり</td> <td>15,500 人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>島まつり</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>火まつり</td> <td>42,000 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海まつり</td> <td>15,500 人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>島まつり</td> <td>2,000 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>火まつり</td> <td>44,000 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海まつり</td> <td>16,000 人</td> </tr> </table>	平成29年度	島まつり	3,500 人		火まつり	41,000 人		海まつり	15,500 人	平成30年度	島まつり	中止		火まつり	42,000 人		海まつり	15,500 人	令和元年度	島まつり	2,000 人		火まつり	44,000 人		海まつり	16,000 人
平成29年度	島まつり	3,500 人																												
	火まつり	41,000 人																												
	海まつり	15,500 人																												
平成30年度	島まつり	中止																												
	火まつり	42,000 人																												
	海まつり	15,500 人																												
令和元年度	島まつり	2,000 人																												
	火まつり	44,000 人																												
	海まつり	16,000 人																												
2 いんのしま水軍花火大会	<p>いんのしま水軍花火大会は、因島はもとより生名島をはじめ近島から訪れる観客も多く、しまなみ海道を代表する納涼花火大会として実施します。</p> <p>いんのしま水軍花火大会実行委員会に対して、補助金を交付します。</p> <p>1,350千円</p>	(2) PR活動	<table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>全国仮装大会inおのみち出演</td> <td>30 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三原浮城まつり出演</td> <td>25 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マフラータオル制作</td> <td>2,500 枚</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>サントリー地域文化賞授賞</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>全国仮装大会inおのみち出演</td> <td>33 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マフラータオル制作</td> <td>2,500 枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>全国仮装大会inおのみち出演</td> <td>29 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三原浮城まつり出演</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マフラータオル制作</td> <td>2,400 枚</td> </tr> </table>	平成29年度	全国仮装大会inおのみち出演	30 人		三原浮城まつり出演	25 人		マフラータオル制作	2,500 枚	平成30年度	サントリー地域文化賞授賞			全国仮装大会inおのみち出演	33 人		マフラータオル制作	2,500 枚	令和元年度	全国仮装大会inおのみち出演	29 人		三原浮城まつり出演	11 人		マフラータオル制作	2,400 枚
平成29年度	全国仮装大会inおのみち出演	30 人																												
	三原浮城まつり出演	25 人																												
	マフラータオル制作	2,500 枚																												
平成30年度	サントリー地域文化賞授賞																													
	全国仮装大会inおのみち出演	33 人																												
	マフラータオル制作	2,500 枚																												
令和元年度	全国仮装大会inおのみち出演	29 人																												
	三原浮城まつり出演	11 人																												
	マフラータオル制作	2,400 枚																												
3 因島ウォーキング大会	<p>柑橘が実る季節に、豊かな自然や歴史に触れるとともに、地元のスイーツと絶景の海岸線を楽しみながら歩く心と体の健康づくりを目的としたウォーキング大会を実施します。</p> <p>因島ウォーキング大会実行委員会に対して、補助金を交付します。</p> <p>300千円</p>	2 いんのしま水軍花火大会来場者数	<table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>25,000 人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>21,000 人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>24,000 人</td> </tr> </table>	平成29年度	25,000 人	平成30年度	21,000 人	令和元年度	24,000 人																					
平成29年度	25,000 人																													
平成30年度	21,000 人																													
令和元年度	24,000 人																													
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																										
事業費（千円）	8,050	8,050	8,050	8,050																										
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0																									
	地方債	0	0	0	0																									
	その他	0	0	0	5,000																									
	一般財源	8,050	8,050	8,050	3,050																									
(3) 今後の方針等																														
<p>因島地域における各種イベントは、関係団体が連携して組織した実行委員会が実施しています。地域の賑わいを創出し、交流人口の拡大による地域活性化を図る活動に対して、引き続き支援します。</p>																														

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	地域おこし事業（瀬戸田）		担当課	瀬戸田支所しまおこし課・住民福祉課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 7 商工費	項 2 観光費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	瀬戸田町の各種団体、企業及び学校等が連携し、瀬戸田の地域資源を活用したイベントを開催し、瀬戸田の魅力発信をする中で、関係人口の拡大により観光振興による地域活性化と持続可能な地域コミュニティの確立を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
1 瀬戸田町夏祭り 瀬戸田町夏祭り実行委員会において、イベント関連の事業内容、会場レイアウト及び広報・警備・会場関係の内容を協議し開催します。 瀬戸田町夏祭り実行委員会に対しては、補助金として4,500千円を交付します。 開催場所 瀬戸田サンセットビーチ		1 瀬戸田町夏祭り (1) 平成30年度(8月18日開催) ア 実行委員会の回数 3回 イ 来場者数 24,000人 (2) 令和元年度(8月17日開催) ア 実行委員会の回数 3回 イ 来場者数 30,000人			
2 瀬戸田サンセットビーチ海開き 瀬戸田サンセットビーチ海開き実行委員会において、イベント関連事業内容、会場レイアウト及び広報、各種団体との調整を協議し開催します。 リフレッシュ瀬戸内と同日開催します。 瀬戸田サンセットビーチ海開き実行委員会に対して285千円を交付します。 開催場所 瀬戸田サンセットビーチ		2 瀬戸田サンセットビーチ海開き (1) 平成30年度(7月1日開催) ア 実行委員会の回数 2回 イ 来場者数 2,700人 (2) 令和元年度(7月7日開催) ア 実行委員会の回数 2回 イ 来場者数 3,000人			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	4,785	5,285	4,785	4,785	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,785	5,285	4,785	4,785
(3) 今後の方針等					
瀬戸田町における各イベントは、実行委員会や民間の団体が事業主体であり、関係機関や団体と協力し、事業効果を検証しながら、継続して開催します。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	都市再生整備計画事業（視点場整備）		担当課	まちづくり推進課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 8 土木費	項 4 都市計画費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	千光寺公園のリニューアルに合わせ、老朽化が著しい「城風の建築物（尾道城）」を撤去し、新たな視点場として整備する。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）	(2) これまでの事業実績・成果																															
<p>【全体計画】 千光寺公園のリニューアルに合わせ、老朽化が著しい「城風の建築物（尾道城）」を撤去し新たな視点場として整備することで、回遊性の向上及び尾道の新たな景観を創出する。</p> <p>【事業期間】 平成30年度～令和3年度</p> <p>【総事業費】 約2億円</p> <p>【令和2年度計画】 解体撤去（令和元年度～） 視点場整備工事設計</p> <p>① 景観を阻害する建築物の除去（現況） ② 事業実施後イメージ</p>  <p>① 新たな視点場の整備（現況） ② 事業実施後イメージ</p> 	<p>令和3年度の広場整備に向けて、令和元年度から「城風の建築物（尾道城）」の解体撤去工事に着手した。</p> <p>平成30年度：測量・調査等 令和元年度：解体撤去（～令和2年度） 視点場整備工事設計</p>																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（千円）</td> <td>0</td> <td>12,000</td> <td>52,500</td> <td>95,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 （千円）</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>5,400</td> <td>23,625</td> <td>31,527</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>6,600</td> <td>28,875</td> <td>63,473</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費（千円）	0	12,000	52,500	95,000	財源 （千円）	国県支出金	0	5,400	23,625	31,527	地方債	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	一般財源	0	6,600	28,875	63,473	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																												
事業費（千円）	0	12,000	52,500	95,000																												
財源 （千円）	国県支出金	0	5,400	23,625	31,527																											
	地方債	0	0	0	0																											
	その他	0	0	0	0																											
	一般財源	0	6,600	28,875	63,473																											
(3) 今後の方針等																																
<p>尾道地区都市再生整備計画に基づき、老朽化が著しい「城風の建築物（尾道城）」を撤去し、新たな視点場として整備することで、尾道固有の財産である景観を保全、活用した新たな観光スポットとして整備する。</p> <p>また、千光寺公園内で一体的に整備を進めている「頂上リニューアル事業」や「緑地整備事業」により、本市の代表的な観光地である千光寺公園の魅力さをさらに高め、来訪者や市民が憩える空間とし、賑わいを創造するエリアとする。</p>																																

1 事業名等 【 新規 **継続** 】

事業名	歴史的風致維持向上事業		担当課	まちづくり推進課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 8 土木費	項 4 都市計画費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市歴史的風致維持向上計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	歴史的風致維持向上計画は、尾道市の歴史的建造物や伝統行事など、地域固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している良好な環境（歴史的風致）を維持及び向上させ、まちや暮らしの環境とその魅力を守り、高めるとともに、後世に継承することを目的とする。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p><b>【全体計画】</b></p> <p>1 旧尾道市街地及び瀬戸田町に設定した重点地区内等の保存・活用及び取り巻く環境の整備を実施し、地域固有の歴史的風致の維持及び向上を図る。</p> <p>2 事業期間 平成24年度～令和3年度</p> <p>3 総事業費 約16億3000万円</p> <p><b>【令和2年度計画】</b></p> <p>1 道路の舗装や側溝の美化関連 2 老朽危険建築物除去促進事業補助 3 空き家再生促進事業補助 4 沿道建造物等修景事業補助 5 まちなみ形成事業補助</p>		<p>まちなみ形成事業（平成15年～） 歴史的風致形成建造物修景・修復事業（平成27年～） 道路美装化事業（平成24年～） 道路美装化事業【特殊街路】（平成29年～） 道路美装化事業【幹線街路】（昭和59年～） 沿道建造物等修景事業（平成24年～） 老朽危険建物除却促進事業（平成24年～） 空き家再生促進事業（平成24年～） 夜間景観形成事業（平成24年～） 総合案内板設置事業（平成27年～） 多国語音声設備設置事業（平成24年～） 便所洋式化改修事業（平成27～28年） 歩行者安全対策事業（平成24年～） 道路水路修繕事業（平成24年～）</p> <p style="text-align: center;">■歴史的風致維持向上事業 道路美装化</p>  <p style="text-align: center;">夜間景観形成</p>  <p style="text-align: center;">総合案内看板</p> 			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	127,365	112,116	110,000	85,000	
財源 （千円）	国県支出金	61,800	54,200	53,384	41,004
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	8,000
	一般財源	65,565	57,916	56,616	35,996
(3) 今後の方針等					
<p>歴史的風致維持向上計画に基づき、尾道旧市街地や瀬戸田港周辺等の文化財の保全・活用及び取り巻く環境の整備を実施し、地域固有の歴史的風致の維持及び向上を図る。 また、行政と市民・民間等と共に、相互に役割分担と協力・連携を図りながら、歴史的風致の維持及び向上を図ることを共有の目標とする。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	まちなか文化交流施設整備事業		担当課	文化振興課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 6 社会教育費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	歴史的建造物の保存活用と景観保全等の観点から、貴重な近代建築である旧三井住友銀行尾道支店を、保存・改修し、まちなか文化交流施設として活用し、賑わいの創出や観光客の誘客につなげます。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>1 貴重な近代建築である旧三井住友銀行尾道支店 (S13年) の土地・建物を取得し、建物の調査、耐震診断等を行い、保存、改修をし、まちなか文化交流施設として活用します。</p> <p>2 事業期間 平成30年度～令和3年度</p> <p>3 全体事業費 約1億8,200万円</p> <p>【令和元年度計画】</p> <p>1 歴史的建造物調査・図面等作成</p> <p>2 耐震診断</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>1 耐震診断</p> <p>2 活用計画作成</p> <p>3 耐震・改修設計</p> <p>【令和3年度計画】</p> <p>1 耐震・改修工事</p>		<p>1 令和元年度</p> <p>(1) 土地・建物取得 (令和元年8月23日)</p> <p>(2) 耐震診断 (令和元年9月～令和2年5月)</p> <p>(3) 文化財調査</p> <p>(4) 一部内装除却</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	0	60,000	8,400	1,455	
財源 (千円)	国県支出金	0	27,000	3,780	448
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	33,000	4,620	1,007
(3) 今後の方針等					
<p>市民に親しまれ、観光客の誘客につなげられる、尾道市の歴史・文化・芸術が堪能できる展示施設とするため、市民の声を活かした改修・活用計画を検討していきます。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	日本遺産魅力発信推進事業		担当課	文化振興課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 6 社会教育費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市歴史文化基本構想			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	日本遺産の歴史文化資源を活用しながら、広域的・国際的な交流を進め、観光客の誘客や地域の活性化を図り、魅力あるまちづくりにつなげます。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																																													
<p>全国最多の3つの日本遺産を活用し、地域の活性化につなげます。</p> <p>1 情報発信・人材育成事業 日本遺産のまち尾道の魅力をHP、アプリ、パンフレット等により国内外に情報発信を行います。 人材育成事業では、文化遺産パートナー養成講座を開催し、日本遺産の活用を積極的に行う人材を育成します。</p> <p>2 普及啓発事業 日本遺産調査研究成果を活用した巡回展や、日本遺産めぐりの開催など、尾道の歴史や、構成文化財等の普及啓発を推進します。</p> <p>3 調査・研究事業 新たな地域資源の創出と関連地域との交流促進に向けた構成文化財等の調査研究を実施します。</p> <p>4 公開活用のための整備事業 日本遺産「村上海賊」のストーリーを広く周知するため、日本遺産のストーリーや構成文化財を説明する看板を設置します。</p>	<p>1 情報発信・人材育成事業 HPやアプリの維持管理と関連情報の更新、広告の発信、パンフレットの配布等により情報発信を行い、認知度の向上や尾道市、しまなみ海道への誘客に寄与しています。 また、日本遺産サミットや北前船フォーラム会場にPRブースを設置し、「日本遺産のまち尾道」をPRしました。 人材育成事業では文化遺産パートナー養成講座を開催して、日本遺産の調査研究や活用、ガイドを行う人材の育成を行っています。</p> <p>2 普及啓発事業 令和元年度は「中世日本の海賊と城Ⅱ 宣教師がみた西国の海賊」と題し、日本遺産調査研究成果報告巡回展を開催し、11,002人が来場しました。</p> <p>3 調査・研究事業 令和元年度は平成28年度～30年度に調査した成果をまとめた「中世日本の海賊と城Ⅱ 宣教師がみた西国の海賊」を発刊しました。</p> <p>4 公開活用のための整備事業 構成文化財にストーリーの全容説明及び個別説明を詳記した看板を設置し、観光客の周遊性を高めました。</p> <p>※ 実行委員会の日本遺産事業費は次のとおりです。</p> <p>○ 「箱庭の都市」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 (決算額)</th> <th>H30 (決算額)</th> <th>R元 (予算額)</th> <th>R2 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費総額 (千円)</td> <td>11,617</td> <td>2,150</td> <td>2,119</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>(うち国支出金)</td> <td>9,484</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 「村上海賊」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 (決算額)</th> <th>H30 (決算額)</th> <th>R元 (予算額)</th> <th>R2 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費総額 (千円)</td> <td>21,685</td> <td>8,662</td> <td>2,023</td> <td>2,100</td> </tr> <tr> <td>(うち国支出金)</td> <td>20,600</td> <td>7,563</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 「北前船寄港地」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 (決算額)</th> <th>H30 (決算額)</th> <th>R元 (予算額)</th> <th>R2 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費総額 (千円)</td> <td>500</td> <td>2,290</td> <td>2,550</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>(うち国支出金)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (予算額)	R2 (予算額)	事業費総額 (千円)	11,617	2,150	2,119	1,400	(うち国支出金)	9,484	0	0	0		H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (予算額)	R2 (予算額)	事業費総額 (千円)	21,685	8,662	2,023	2,100	(うち国支出金)	20,600	7,563	0	0		H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (予算額)	R2 (予算額)	事業費総額 (千円)	500	2,290	2,550	1,700	(うち国支出金)	0	0	0	0
	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (予算額)	R2 (予算額)																																										
事業費総額 (千円)	11,617	2,150	2,119	1,400																																										
(うち国支出金)	9,484	0	0	0																																										
	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (予算額)	R2 (予算額)																																										
事業費総額 (千円)	21,685	8,662	2,023	2,100																																										
(うち国支出金)	20,600	7,563	0	0																																										
	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R元 (予算額)	R2 (予算額)																																										
事業費総額 (千円)	500	2,290	2,550	1,700																																										
(うち国支出金)	0	0	0	0																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>15,500</td> <td>10,500</td> <td>6,300</td> <td>5,200</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>15,000</td> <td>2,000</td> <td>3,500</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>500</td> <td>8,500</td> <td>2,800</td> <td>2,200</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	15,500	10,500	6,300	5,200	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	地方債	0	0	0	その他	15,000	2,000	3,500	3,000	一般財源	500	8,500	2,800	2,200																	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																										
事業費 (千円)	15,500	10,500	6,300	5,200																																										
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0																																										
	地方債	0	0	0																																										
	その他	15,000	2,000	3,500	3,000																																									
	一般財源	500	8,500	2,800	2,200																																									
(3) 今後の方針等																																														
<p>日本遺産「箱庭の都市」「村上海賊」「北前船寄港地」は、国補助期間が終了しましたが、事業内容の見直しを行いながら、情報発信・人材育成を実施します。全国最多の3つの日本遺産を活用して地域の活性化につなげます。</p>																																														

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	オリンピック・パラリンピック関連事業		担当課	生涯学習課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 8 保健体育費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市スポーツ推進計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けメキシコ選手団（自転車・ソフトボール）及びパラグアイ選手団（陸上・テニス）の事前合宿を受け入れ、トップレベルの競技を間近に見ることで競技力の向上を図り、また、選手団との交流事業を通して世界への関心を持ってもらい、オリンピック・パラリンピックの機運を盛り上げることを目的とします。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）					(2) これまでの事業実績・成果				
<p><b>【全体計画】</b> 東京2020オリンピックに向けて、メキシコ及びパラグアイのホストタウンとして、代表選手団事前合宿の実施と関連事業に係る負担金を2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿尾道市実行委員会に支出します。 また、聖火リレー実施に係る負担金を東京2020オリンピック聖火リレー広島県実行委員会に支出します。</p> <p><b>【令和2年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メキシコ自転車（ロード）代表選手団直前合宿</li> <li>メキシコソフトボール代表選手団直前合宿</li> <li>パラグアイ陸上代表選手団直前合宿</li> <li>パラグアイテニス代表選手団直前合宿</li> <li>オリンピック聖火リレー事業</li> <li>パラリンピック採火事業</li> <li>オリンピック・パラリンピック啓発事業</li> </ul>					<p><b>【平成30年度】</b> メキシコ自転車（ロード）代表選手団事前合宿実施（H30.5.20～H30.6.6） 選手：男3人、女2人、コーチ：男1人 宿泊：フォレストヒルズ・ガーデン 練習会場：中央森林公園（三原市） ：生口島道路・しまなみ海道（尾道市） 交流人数：1,550人</p> <p>メキシコソフトボール代表選手団事前合宿実施（H30.6.12～H30.6.23） 選手：女19人、コーチ：男5人、女2人 宿泊：尾道ふれあいの里 練習会場：御調ソフトボール球場 交流人数：2,735人</p> <p><b>【令和元年度】</b> メキシコソフトボール代表選手団事前合宿実施（R1.11.14～R1.11.25） 選手：女14人、コーチ：男4人、女1人 宿泊：尾道ふれあいの里 練習会場：御調ソフトボール球場 交流人数：7,385人</p>				
予算データ		H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額				
事業費（千円）		0	21,000	5,000	3,722				
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	その他	0	3,150	0	0				
	一般財源	0	17,850	5,000	3,722				
(3) 今後の方針等									
メキシコ及びパラグアイ代表選手団による直前合宿実施の際に、出来るだけ多くの市民との交流機会を設け、東京2020オリンピックへの機運醸成、並びにその後も市民レベルで交流が続くよう努めます。また、令和2年5月19日に尾道市を通過する聖火リレーが市民の記憶に残るイベントとなるよう実施していきます。									

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	尾道版「学びの变革」推進事業 (尾道教育みらいプラン2)		担当課	教育指導課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 1 教育総務費	
事業実施の根拠となる計画	尾道教育みらいプラン2			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	授業において児童生徒が主体的・対話的で深い学びを実現する指導の在り方について、教職員が主体的に研究・実践・改善していく仕組みを確立します。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																														
<p><b>【全体計画】</b> 尾道版「学びの变革」推進事業 「課題発見・解決学習」の授業づくりを進めることにより、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現し、県内トップレベルの学力定着を目指します。</p> <p><b>【主要事業】</b> 基礎的・基本的な学力の定着の徹底を図る取組の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の徹底を目的とする、帯タイムの効果的な活用やモジュール学習の奨励</li> <li>「学びの变革」推進協議会の開催による学力向上に向けた年間PDCAサイクルの確立</li> <li>中学校における教科別の授業力向上研修会の計画的実施</li> <li>中学校区単位による相互授業参観の計画的実施</li> <li>児童生徒の学ぶ意欲を向上させる授業改善の推進</li> </ul> <p><b>【令和2年度計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>教職員の指導力の向上に向けた各学校への指導主事の派遣</li> <li>「課題発見・解決学習」の推進に向けた研修の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>尾道版「学びの变革」推進協議会</li> <li>中学校授業力向上研修会</li> </ul> </li> </ol>	<p>「学びの变革」推進事業（課題発見・解決学習）に係る教師質問紙調査（夏期・冬期）の結果によると、小中学校ともに多くの質問項目において教師の意識が上昇しています。</p> <p>中でも、「振り返り」の指導内容の改善が見られており、日々の授業改善が意識され、着実に事業の成果が表れています。</p> <p><b>【質問紙調査で上昇した項目】</b></p> <p>●小学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30.12</th> <th>R元.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童が振り返りをするときには、「どこまでわ分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えるような指導を工夫した。</td> <td>73.60%</td> <td>78.60%</td> </tr> <tr> <td>児童が振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えるような指導を工夫した。</td> <td>72.50%</td> <td>79.40%</td> </tr> </tbody> </table> <p>●中学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30.12</th> <th>R元.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒が友達と話し合うなどして、考えを深めたり、広げたりするような指導を工夫した。</td> <td>82.90%</td> <td>85.90%</td> </tr> <tr> <td>生徒が振り返りをするときには、「どこまでわ分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えるような指導を工夫した。</td> <td>72.40%</td> <td>78.30%</td> </tr> </tbody> </table>			項目	H30.12	R元.12	児童が振り返りをするときには、「どこまでわ分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えるような指導を工夫した。	73.60%	78.60%	児童が振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えるような指導を工夫した。	72.50%	79.40%	項目	H30.12	R元.12	生徒が友達と話し合うなどして、考えを深めたり、広げたりするような指導を工夫した。	82.90%	85.90%	生徒が振り返りをするときには、「どこまでわ分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えるような指導を工夫した。	72.40%	78.30%										
項目	H30.12	R元.12																													
児童が振り返りをするときには、「どこまでわ分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えるような指導を工夫した。	73.60%	78.60%																													
児童が振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えるような指導を工夫した。	72.50%	79.40%																													
項目	H30.12	R元.12																													
生徒が友達と話し合うなどして、考えを深めたり、広げたりするような指導を工夫した。	82.90%	85.90%																													
生徒が振り返りをするときには、「どこまでわ分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えるような指導を工夫した。	72.40%	78.30%																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>4,960</td> <td>4,960</td> <td>4,400</td> <td>4,250</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,960</td> <td>4,960</td> <td>4,400</td> <td>4,250</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	4,960	4,960	4,400	4,250	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	4,960	4,960	4,400	4,250			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																											
事業費 (千円)	4,960	4,960	4,400	4,250																											
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0																											
	地方債	0	0	0																											
	その他	0	0	0																											
	一般財源	4,960	4,960	4,400	4,250																										
(3) 今後の方針等	<p>各学校の児童生徒の実態に応じ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの在り方や育成を目指す資質・能力についての研修を実施し、各学校での取組の一層の充実を図ります。</p>																														

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	学校指導・運営体制の整備 (教職員が力を発揮できる環境を整備する取組)	担当課	学校経営企画課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 1 教育総務費
事業実施の根拠となる計画	尾道教育総合推進計画 (1 「尾道教育みらいプラン2」)		

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	尾道教育みらいプラン2の基本方針の1つである「信頼される学校づくり」における主な取組の中の「教職員が力を発揮できる環境を整備する取組」を推進するため、子供と向き合う時間を確保する等の教職員が力を発揮できる環境を整備する取組を進めます。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																											
<p><b>【全体計画】</b> 「教職員が力を発揮できる環境を整備する取組」の1つとして平成30年10月に策定した「学校における働き方改革取組方針」に基づき、教職員が持っている力を最大限に発揮し、生き生きと教育活動に取り組むことができるよう教育環境を整備します。</p> <p><b>【成果指標】</b> 1 子供と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合 80%以上 2 時間外勤務が月80時間を超える教職員の割合 0%</p> <p><b>【令和2年度計画】</b> 1 統合型校務支援システムの導入・運用【R1～】 全小中学校で、児童生徒の学籍管理、出欠管理、成績処理、通知表、指導要録について運用を始めます。 2 教務事務支援員の配置【H29～】 教職員の業務の負担を軽減するため、小中学校33校への配置を進めます。 3 部活動指導員の配置【R1～】 部活動の指導体制の充実を図るため、中学校6校への配置を進めます。 4 教職員へのストレスチェックの実施【新規】 教職員が生き生きと教育活動に取り組めるよう、小中学校に勤務する県費負担教職員(常時勤務)を対象に実施します。</p>	<p><b>【事業実績】</b> 1 平成29年度 (1)教務事務支援員の配置 ・小中学校7校へ配置 2 平成30年度 (1)教務事務支援員の配置 ・小中学校17校へ配置 3 令和元年度 (1)統合型校務支援システムの導入 ・システム導入に向けた、各種帳票の様式整備 ・システム導入に向けた説明会の複数回実施 (2)教務事務支援員の配置 ・小中学校27校へ配置 (3)部活動指導員の配置 ・中学校3校へ配置</p> <p><b>【成果】</b> 1 子供と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合 平成30年6月 ⇒ 令和元年12月 66.2% ⇒ 72.3% 2 時間外勤務が月80時間を超える教職員の割合 平成29年6月 ⇒ 令和元年6月 20.6% ⇒ 7.2%</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(千円)</td> <td>3,343</td> <td>6,685</td> <td>20,374</td> <td>47,275</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,533</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,343</td> <td>6,685</td> <td>18,841</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費(千円)	3,343	6,685	20,374	47,275	財源 (千円)	国県支出金	0	0	1,533	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	3,343	6,685	18,841	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																								
事業費(千円)	3,343	6,685	20,374	47,275																								
財源 (千円)	国県支出金	0	0	1,533																								
	地方債	0	0	0																								
	その他	0	0	0																								
	一般財源	3,343	6,685	18,841																								
(3) 今後の方針等																												
<p>今後も、教職員が、子供と向き合う時間を確保することにより、教育の質を向上させることができるよう、「学校における働き方改革取組方針」に基づき、教育環境の整備等を着実に進めます。</p>																												

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 **新規** ・ 継続

事業名	小学校仮設校舎借上		担当課	教育総務部庶務課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 2 小学校費	
事業実施の根拠となる計画	尾道教育総合推進計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	<p>小学校は、児童が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから順次校舎の耐震化を進めています。残る久保小学校、長江小学校、土堂小学校については、児童の安全安心をできるだけ早期に確保するため、耐震化が図られるまでの間、仮設校舎を借上げ対応します。</p>
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p><b>【全体計画】</b> 耐震化が図れていない3小学校の児童の安全安心を早期に確保するため、令和3年度から令和6年度までの間、仮設校舎を借上げ対応します。</p> <p>1 仮設校舎の概要 (1) 位置など 久保小学校 → 久保中学校敷地 長江小学校 → 長江中学校敷地 ※ 中学校の教室を一部活用しながら、不足する教室について仮設校舎で対応します。 土堂小学校 → 千光寺公園グラウンド (2) 構造 軽量鉄骨2階建て</p> <p><b>【令和2年度計画】</b> ・ 学校運営の調整 (小中学校のカリキュラム調整等) ・ 仕様の確定 ・ 入札 ・ 仮設校舎の建設</p> <p><b>【予算】</b> 債務負担行為 事 項：小学校仮設校舎借上 期 間：令和2年度から令和6年度まで 限度額：850,000千円 (うち、耐震化関係 800,000千円)</p>		<p><b>【新規事業】</b></p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	0	0	0	0	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
(3) 今後の方針等					
<p>仮設校舎での対応により児童の安全安心の早期確保に努めます。3小学校の耐震化については、あらためてあり方を検討し、引き続き関係者と協議を進めていきます。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 **新規** ・ 継続 】

事業名	西藤小学校校舎増築事業		担当課	教育総務部庶務課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 2 小学校費	
事業実施の根拠となる計画	尾道教育総合推進計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	西藤小学校については、近年、急速な宅地開発に伴い児童の急激な増加が見込まれます。現在、同校には空き教室等余裕教室は無いため、必要となる教室について増築により確保します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】 令和2年度以降、新たに必要となる普通教室は増え続け、令和7年度には最大6教室の不足が見込まれることから、それに対応する校舎を増築します。</p> <p>1 構造等 鉄骨造3階建て</p> <p>2 スケジュール 令和2年度 基本実施設計 令和3年度～令和4年度 校舎増築 令和5年度 供用開始</p> <p>【令和2年度計画】 ・基本実施設計 ・仮設校舎の建設 (供用開始までの間不足が見込まれる2教室分)</p> <p>【予算】 債務負担行為 事 項：小学校仮設校舎借上 期 間：令和2年度から令和6年度まで 限度額：850,000千円 (うち、西藤小学校増築関係 50,000千円)</p>		<p>【新規事業】</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	0	0	0	19,000	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	14,200
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	4,800
(3) 今後の方針等					
<p>周辺の宅地開発に伴い、年々児童数が増加し教室数の不足が見込まれるため、学校や関係者と協議を進め教育環境の整備を図り、適正な施設規模を確保していきます。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	浦崎小学校給食調理場改修事業		担当課	教育総務部庶務課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 2 小学校費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	浦崎中学校で全員給食を行うため、浦崎小学校給食調理場の設備等改修を行います。 現在、浦崎小学校の調理場で児童の給食を調理していますが、設備等の改修を行うことにより、浦崎中学校に給食を配送します。（親子方式）
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】 浦崎小学校調理場で調理した給食を中学校に配送できるようにするために、設備等改修の実施設計業務を令和元年度に実施しています。 令和2年度に小学校の給食調理場設備等の改修と中学校では配膳室整備等を行い、全員給食開始に向けて取り組みます。</p> <p>【令和2年度計画】 浦崎小学校給食調理場の設備等改修、備品購入他 浦崎中学校配膳室等整備</p>		令和元年度 実施設計			
R2年度予算は、中学校費（中学校配膳室整備費用）を合算しています。					
予算データ		H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額
事業費（千円）		0	0	780	23,170
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	700	16,000
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	80	7,170
(3) 今後の方針等					
浦崎小学校給食調理場の設備等改修を夏季休業中に行い、小学校の調理場から浦崎中学校へ給食を配送します。このことにより、浦崎中学校で親子方式による全員給食を実施します。（開始予定時期 2学期）					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	教育用タブレット機器増設 (小・中学校)	担当課	教育指導課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 2 小学校費
事業実施の根拠となる計画	尾道教育みらいプラン2		

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	令和元年度国補正予算（1号）において「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」の一環として「GIGAスクール構想の実現」に向けたICT環境整備に係る経費が盛り込まれました。 本市においても、この機を逃すことなく、早急に高速大容量のネットワーク環境を整備するとともに、国の継続的な財源措置を活用して、令和5年度までに児童生徒1人1台のPC端末の整備を行います。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）	(2) これまでの事業実績・成果																												
<p><b>【全体計画】</b> 令和元年度～令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内通信ネットワークの整備（校内LAN） 令和元年度補正予算（小中全体）上程（令和2年度末までに完了予定）</li> <li>・PC端末整備（令和5年度末までに1人1台整備） 令和2年度 小学校5・6年生 中学校1年生 令和3年度 中学校2・3年生 令和4年度 小学校3・4年生 令和5年度 小学校1・2年生</li> <li>・大型提示装置（全普通教室に1台整備） 令和3年度以降整備予定</li> </ul> <p><b>【令和2年度計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PC端末整備 小学校5・6年生分 約1,300台 （令和元年度整備済みの820台除く） 中学校1年生分 約1,000台</li> </ul> <p>予算額は、小学校費・中学校費を合算しています。</p>	<p><u>令和元年度末の整備状況等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習用タブレットPC (10%)</li> <li>・指導者用タブレットPC (15%)</li> <li>・大型提示装置 (47%)</li> <li>・無線LAN (28%)</li> <li>・PC教室の整備</li> <li>・ICT活用指導力研修会等 年5回実施</li> </ul> <p><u>令和元年度の整備実績（小学校）</u> 新学習指導要領に基づいてプログラミング教育やICTを活用した授業を推進するために小学校にタブレット端末等を整備しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末（各校1クラス分） 820台</li> <li>大型提示装置整備 164台</li> <li>書画カメラ整備 24台</li> </ul> <p><b>教育ICT化に向けた整備計画の動向</b></p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>国の施策</b> 文部科学省（2018年度～2022年度） 「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」 ・地方財政措置により3クラスに1クラス分の端末整備</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 20px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>令和元年度 文部科学省 「GIGAスクール構想の実現」 令和元年度～令和5年度 ～令和時代のスタンダードとしての学校ICT環境を整備し、全ての児童1人1人にもっともふさわしい教育を～ ・継続的な財政措置、支援の充実</p> </div>																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（千円）</td> <td>80,322</td> <td>80,322</td> <td>101,067</td> <td>105,772</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>80,322</td> <td>80,322</td> <td>101,067</td> <td>105,772</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費（千円）	80,322	80,322	101,067	105,772	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	80,322	80,322	101,067	105,772	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																									
事業費（千円）	80,322	80,322	101,067	105,772																									
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0																									
	地方債	0	0	0																									
	その他	0	0	0																									
	一般財源	80,322	80,322	101,067	105,772																								
(3) 今後の方針等																													
<p>令和5年度末までに児童生徒1人1台のPC端末等の配備ならびにネットワーク環境の整備を行い、全小中学校において各教科等で積極的にICTを活用した授業を行い、児童生徒の主体的な学びを支援します。</p>																													

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	栗原中学校大規模改修事業		担当課	教育総務部庶務課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 3 中学校費	
事業実施の根拠となる計画	尾道教育総合推進計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	栗原中学校の校舎は、昭和44年から46年にかけて建築されたもので、築50年が経過しています。現在までに防水改修や耐震改修を行ってきましたが、外壁改修や内部改修などは未実施であり経年劣化しています。そのため、外壁及び床・壁・天井等の劣化改修を行うとともに、トイレの洋式化・乾式化、また普通教室への空調設備の整備など大規模改修を行うことで、校舎の長寿命化を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																													
<p>【全体計画】</p> <p>1 工事概要 栗原中学校既存校舎（教室棟、管理・特別教室棟）の大規模改修</p> <p>2 工期 第1期：平成31年2月～令和2年2月 第2期：令和2年10月～令和3年9月（予定） 第3期：令和3年10月～令和4年9月（予定）</p> <p>3 改修建物 教室棟、管理・特別教室棟（RC造4階建て） 延床面積 4,222㎡ 第1期：1,528㎡ 第2期：1,228㎡ 第3期：1,466㎡</p> <p>4 主な改修内容 外部（外壁の劣化改修、雨よけ改修） 内部（床・壁・天井の改修、空調設置、トイレ洋式化）</p> <p>【令和2年度計画】 第2期改修工事 ・校舎西側に少人数教室、特別支援教室を集約整備 ・エレベーターの設置 ・外壁、トイレ、開放廊下、階段の劣化改修 ・必要諸室の床・壁・天井を改修</p>	<p>1 平成29年度 (1) 基本実施設計</p> <p>2 平成30年度 (1) 基本実施設計 (2) 地質調査 (3) 第1期改修工事（契約）</p> <p>3 令和元年度 (1) 第1期改修工事</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>第2期</td> <td>第3期</td> <td>第1期</td> </tr> </table> <p>(校舎改修イメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎東側に普通教室を集約整備</li> <li>・普通教室に空調設備を設置</li> <li>・室内の床・壁・天井等を改修、照明のLED化</li> <li>・開放廊下、階段、手摺の改修</li> <li>・トイレの洋式化・乾式化</li> <li>・外壁の劣化改修・吹付塗装</li> </ul>		第2期	第3期	第1期																								
第2期	第3期	第1期																												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> <tr> <td>事業費（千円）</td> <td>22,300</td> <td>30,700</td> <td>255,500</td> <td>74,400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>2,251</td> <td>23,276</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>21,100</td> <td>27,000</td> <td>217,200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,200</td> <td>1,449</td> <td>3,024</td> </tr> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費（千円）	22,300	30,700	255,500	74,400	財源 (千円)	国県支出金	0	2,251	23,276	地方債	21,100	27,000	217,200	その他	0	0	12,000	一般財源	1,200	1,449	3,024			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																										
事業費（千円）	22,300	30,700	255,500	74,400																										
財源 (千円)	国県支出金	0	2,251	23,276																										
	地方債	21,100	27,000	217,200																										
	その他	0	0	12,000																										
	一般財源	1,200	1,449	3,024																										
(3) 今後の方針等	<p>今後は、第2期改修工事に引き続き、第3期として、理科室、音楽教室など特別教室として使用している範囲の改修を行う予定としています。</p>																													

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	土生公民館建設事業		担当課	生涯学習課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 6 社会教育費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	土生公民館（昭和50年築）は、老朽化が進み、耐震性も十分でないため、旧土生小学校の跡地を活用する形で新たな公民館を建設します。建物には、いきいきサロンの機能を併合するとともに、消防器具庫を隣接させ、地域住民の安全安心なコミュニティの場の確保に努めます。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>完成時期 : 令和3年6月（予定）</p> <p>開館時期 : 令和3年8月（予定）</p> <p>設置場所 : 尾道市因島土生町（旧土生小学校）</p> <p>構造 : 平屋建 木造一部鉄骨</p> <p>延床面積 : 建物本体 938.12㎡ その他（駐輪場・外倉庫） 16.56㎡</p> <p>主要施設 : ホール（分割可能）・会議室・和室・調理実習室・交流室・事務室・トイレ・倉庫など</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>公民館建設工事</p> <p>工事監理委託（継続）</p>		<p>平成29年度</p> <p>基本・実施設計業者決定（プロポーザル）</p> <p>平成30年度</p> <p>基本・実施設計</p> <p>地質調査</p> <p>令和元年度</p> <p>実施設計</p> <p>工事監理委託（予定）</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	21,466	1,028	311,625	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	15,100	900	296,000
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	6,366	128	15,625
(3) 今後の方針等					
令和2年中に建設工事着工し、令和3年に完成及び開館の予定です。新たな土生公民館は、生涯学習・コミュニティ活動の拠点として、また防災拠点施設としても活用を図っていきます。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	展覧会事業		担当課	美術館
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 6 社会教育費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市民や観光客等に充実した鑑賞機会を提供するため、展覧会の充実・強化を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【令和2年度計画】</p> <p>1 展覧会開催計画</p> <p>本物の美術に触れる鑑賞機会の提供と、地域固有の文化資源の掘り起こしを通じて、「尾道」ならではの新たな地域文化の創造に資する展覧会を開催するものです。令和2年度は、地域アイデンティティを高めるテーマや作家の紹介に務めると共に、分かり易い美術の紹介も心掛けて年間事業計画を考案しました。</p> <p>(1) 特別展 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花のお江戸ライフ</li> <li>・トムとジェリー</li> <li>・ひろしまトリエンナーレ2020 in BINGO (仮称)</li> <li>・愛のヴィクトリアン・ジュエリー</li> </ul> <p>(2) 企画展 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道市立美術館コレクション展</li> </ul> <p>(3) 市民展 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第64回尾道市美術展</li> <li>・第17回尾道市立大学美術学科卒業制作展</li> <li>・第19回絵のまち尾道四季展</li> </ul>		<p>1 平成30年度展覧会開催実績</p> <p>(1) 特別展 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浮世絵づくし にゃんとも猫だらけ</li> <li>・折元立身ー昔と今</li> <li>・生誕130年記念 旅する文人 小林和作</li> <li>・北欧を愛するすべての人ヘーリサ・ラーソン</li> </ul> <p>(2) 企画展 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道市立美術館コレクション展 I</li> <li>・尾道市立美術館コレクション展 II</li> </ul> <p>(3) 市民展 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第62回尾道市美術展</li> <li>・第15回尾道市立大学美術学科卒業制作展</li> <li>・第18回絵のまち尾道四季展</li> </ul> <p>(4) 入館者数 41,975人</p> <p>2 令和元年度展覧会開催実績 (見込)</p> <p>(1) 特別展 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北欧を愛するすべての人ヘーリサ・ラーソン</li> <li>・絵本原画ニャー！ー猫が歩く絵本の世界</li> <li>・ここからむこうまでー広島から発信する現代アート</li> <li>・花のお江戸ライフ</li> </ul> <p>(2) 企画展 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道市立美術館コレクション展</li> </ul> <p>(3) 市民展 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第63回尾道市美術展</li> <li>・第16回尾道市立大学美術学科卒業制作展</li> <li>・第9回写真のまち尾道四季展</li> </ul>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	35,922	36,758	36,766	35,812	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	30,001	27,649	26,241	26,598
	一般財源	5,921	9,109	10,525	9,214
(3) 今後の方針等					
<p>引き続き、魅力ある展覧会づくりと、SNSを効果的に活用した情報発信に取り組みます。また、展覧会情報にとどまらず、千光寺公園内にあり、日本遺産の風景が一望できる立地を活かしたPR活動も行います。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	文化振興事業		担当課	文化振興課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 6 社会教育費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市民が日常的に芸術・文化に親しむことのできる環境を整え、暮らしの中に尾道文化が溶け込み、感性の豊かさを醸成するとともに、新たな文化を創造する人材の育成を図ります。これを実現するため、尾道文化協会を中心に文化団体の育成・支援を行い、総合文化祭等の行事を開催します。また、文学・歴史・映画等を展示する文化施設を市民が気軽に親しめるよう整備します。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果																																													
【全体計画】					1 文化振興事業																																													
1 文化振興事業 尾道文化協会の事務局としての機能を担うとともに、市民の舞台・創作活動の場を設け、負担金を拠出することにより文化団体への支援を行います。					尾道文化協会の事務局としての役割を担い、文化協会や薪能実行委員会等への負担金、芸術文化活動に助成を行ってきました。																																													
(1) 総合文化祭の開催 毎年秋に総合文化祭を開催します。音楽・芸能団体の発表の場、舞台鑑賞の場として市民音楽芸能祭を開催、写真・書・華道・絵画等、市民の創作活動の発表の場、芸術鑑賞の場として、尾道の美展を開催します。また、市内の寺院を会場とした茶会を同時期に開催します。					(1) 総合文化祭の開催 総合文化祭として、市民音楽芸能祭、尾道の美展、尾道小径秋の茶会を開催し、文化・芸術団体の創作活動の発表の場と、市民が文化・芸術に触れる機会を設け、市民の文化意識の醸成に努めました。																																													
(2) けんみん文化祭の開催 広島県文化団体連合会が主催する「けんみん文化祭」の尾三地区フェスティバルを開催し、地域文化の振興に寄与します。					(2) けんみん文化祭の開催 けんみん文化祭の予選会を兼ねた、尾三地区フェスティバルを開催し、文化芸術団体の育成を図りました。																																													
(3) 文芸誌の刊行 文芸誌『尾道文化』を毎年1回発行します。					(3) 文芸誌の刊行 『尾道文化』を毎年発行し、文芸作品を発表しました。																																													
2 文化施設の管理・運営					総合文化祭参加状況																																													
ア おのみち歴史博物館 常設展のほか、日本遺産特別展と所蔵品展を開催するとともに、新たな活用策について検討します。					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">市民音楽芸能祭</th> <th colspan="2">尾道の美展</th> <th>秋の茶会</th> </tr> <tr> <th>出演者(人)</th> <th>入場者(人)</th> <th>出品数(点)</th> <th>入場者(人)</th> <th>入場者(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>525(44団体)</td> <td>975</td> <td>215</td> <td>1,890</td> <td>1,064</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>507(44団体)</td> <td>899</td> <td>197</td> <td>1,170</td> <td>922</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>466(38団体)</td> <td>664</td> <td>186</td> <td>775</td> <td>936</td> </tr> </tbody> </table>					年度	市民音楽芸能祭		尾道の美展		秋の茶会	出演者(人)	入場者(人)	出品数(点)	入場者(人)	入場者(人)	H29	525(44団体)	975	215	1,890	1,064	H30	507(44団体)	899	197	1,170	922	R元	466(38団体)	664	186	775	936												
年度	市民音楽芸能祭		尾道の美展		秋の茶会																																													
	出演者(人)	入場者(人)	出品数(点)	入場者(人)	入場者(人)																																													
H29	525(44団体)	975	215	1,890	1,064																																													
H30	507(44団体)	899	197	1,170	922																																													
R元	466(38団体)	664	186	775	936																																													
イ 本因坊秀策囲碁記念館 秀策ゆかりの資料を展示し、囲碁文化の伝承に努め、囲碁教室を開催して囲碁の普及に努めます。					2 文化施設の管理・運営																																													
ウ おのみち映画資料館 映画資料の常設展示を行うほか、民間団体に委託して映画に関する企画事業を実施します。					ア おのみち文学の館 常設展のほか、各文学者の命日に合わせて特別展を開催しました。																																													
【令和2年度計画】					イ おのみち歴史博物館 常設展のほか、尾道の歴史をテーマにした企画展を開催しました。																																													
・おのみち文学の館(文学記念室)を原状回復するための修繕を行い、所有者に返還します。					ウ 本因坊秀策囲碁記念館 常設展のほか、囲碁教室・囲碁大会を開催して地域コミュニティに囲碁を浸透させました。																																													
・旧おのみち街かど文化館を解体するための設計を行います。					エ おのみち映画資料館 常設展のほか、企画事業として、映画の街ウォークやトークイベントを開催し、映画のまちのPRを行いました。																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(千円)</td> <td>61,624</td> <td>61,576</td> <td>62,875</td> <td>52,939</td> </tr> </tbody> </table>					予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費(千円)	61,624	61,576	62,875	52,939	文化施設の入館者 (単位:人/令和元年度は見込)																																			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																														
事業費(千円)	61,624	61,576	62,875	52,939																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">財源(千円)</th> <th>国県支出金</th> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,500</td> <td>0</td> <th rowspan="4">年度</th> <th>文学の館</th> <th>歴史博物館</th> <th>囲碁記念館</th> <th>映画資料館</th> </tr> <tr> <th>地方債</th> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <th>H29</th> <td>10,227</td> <td>11,790</td> <td>5,334</td> <td>16,899</td> </tr> <tr> <th>その他</th> <td>15,085</td> <td>15,128</td> <td>15,118</td> <td>9,417</td> <th>H30</th> <td>6,558</td> <td>8,384</td> <td>4,611</td> <td>12,673</td> </tr> <tr> <th>一般財源</th> <td>46,539</td> <td>46,448</td> <td>46,257</td> <td>43,522</td> <th>R元</th> <td>7,632</td> <td>10,352</td> <td>4,412</td> <td>14,355</td> </tr> </thead> </table>					財源(千円)	国県支出金	0	0	1,500	0	年度	文学の館	歴史博物館	囲碁記念館	映画資料館	地方債	0	0	0	0	H29	10,227	11,790	5,334	16,899	その他	15,085	15,128	15,118	9,417	H30	6,558	8,384	4,611	12,673	一般財源	46,539	46,448	46,257	43,522	R元	7,632	10,352	4,412	14,355					
財源(千円)	国県支出金	0	0	1,500		0	年度	文学の館	歴史博物館	囲碁記念館		映画資料館																																						
	地方債	0	0	0		0		H29	10,227	11,790		5,334	16,899																																					
	その他	15,085	15,128	15,118		9,417		H30	6,558	8,384		4,611	12,673																																					
	一般財源	46,539	46,448	46,257	43,522	R元		7,632	10,352	4,412	14,355																																							
(3) 今後の方針等																																																		
文化協会の会員数の減少、会員の高齢化に伴う文化活動の衰退を防ぐため、規約の改正や組織再編を支援します。入館者が減少傾向にある各文化施設について、施設の統廃合や展示内容の見直しにより、市民や観光客が気軽に文化に触れ合うことのできる魅力的な施設とします。																																																		

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	市史編さん事業		担当課	文化振興課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 6 社会教育費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	先人や市民の歩みを明確に位置付け、よりよい地域連帯感を醸成し、すべての市民が手を取りあって未来への展望を拓くことができる市史を編さん・刊行します。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>1 市史名称 新尾道市史</p> <p>2 刊行数 11巻</p> <p>3 刊行期間 平成30年度新尾道市史文化財編上巻を刊行、令和10年度までに順次刊行</p> <p>4 構成 通史編(4巻)、資料編(3巻)、民俗編(1巻)、地理編(1巻)、文化財編(2巻)</p> <p>5 事業期間 平成27年度～令和10年度</p> <p>6 全体事業費 約5億円</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>1 市史編さん委員会、市史編集委員会、市史専門部会の開催。資料収集、調査 文化財編 下巻編集、校正、印刷、発刊 資料編「近世」編集、校正、印刷、発刊</p> <p>2 新尾道市史資料編「古代・中世」の調査・執筆</p>		<p>1 平成27年度 (1) 市史編さん準備委員会を設置し、市史編さん事業の準備</p> <p>2 平成28年度 (1) 市史編さん委員会及び編集委員会、専門部会の設置及び開催 (2) 市史編さん基本方針策定 (3) 地域協力員委嘱、研修、市史だより発行 (4) 資料調査、収集</p> <p>3 平成29年度 (1) 市史編さん委員会及び編集委員会、専門部会の開催 (2) 文化財編上巻執筆要領作成、執筆 (3) 地域協力員研修、市史だより発行 (4) 資料調査、収集</p> <p>4 平成30年度 (1) 市史編さん委員会及び編集委員会、専門部会の開催 (2) 文化財編 上巻 執筆 (3) 文化財編 上巻 原稿入稿、校正 (4) 地域協力員研修、市史だより発行 (5) 資料調査、収集</p> <p>5 令和元年度 (1) 市史編さん委員会及び編集委員会、専門部会の開催 (2) 文化財編 上巻 発刊 (3) 文化財編 下巻 原稿入稿、校正 (4) 資料編 近世 原稿入稿、校正 (5) 資料編 近代・現代 調査、執筆 (6) 地域協力員研修、市史だより発行 (7) 資料調査、収集</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	17,504	40,793	32,460	45,040	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	12,000	30,000	20,900	19,770
	一般財源	5,504	10,793	11,560	25,270
(3) 今後の方針等					
<p>市史編さんスケジュールのとおり、市史11巻を刊行します。 また、尾道市における歴史・文化等に関する資料収集・整理・保管を綿密に行い、史資料により発展過程を明らかにし、市民の財産として郷土への理解や郷土愛の高揚を図ります。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	ひろしまトリエンナーレ実行委員会負担金		担当課	文化振興課 美術館
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 6 社会教育費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市まち・ひと・しごと創生総合戦略（現代アート・文化の創造）			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	県西部エリアと県東部エリア間の周遊を促進するため、現代アートを活用した事業「ひろしまトリエンナーレ2020 in BINGO」を開催し、開催エリア（三原市、尾道市、福山市）の地域性や歴史を国内外に発信するとともに、制作されたアート作品を核に、周辺観光資源を含む周遊・交流人口を拡大し、地域の活性化に繋がります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>計画期間：令和元年度～令和2年度</p> <p>現代アートの芸術祭「ひろしまトリエンナーレ2020 in BINGO」を開催するため、実行委員会へ負担金を拠出します。</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>ひろしまトリエンナーレ実行委員会による、「ひろしまトリエンナーレ2020 in BINGO」を尾道市、福山市、三原市の各会場で開催します。</p> <p>会期：9月12日（土）～11月15日（日）</p>		<p>令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひろしまトリエンナーレ2020 in BINGO」プレイベントの開催</li> <li>・実行委員会へ負担金拠出</li> </ul>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	0	10,165	4,000	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	5,925	0
	一般財源	0	0	4,240	4,000
(3) 今後の方針等					
現代アートの芸術祭「ひろしまトリエンナーレ2020 in BINGO」の開催					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	旧生口中スポーツ施設整備事業		担当課	生涯学習課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 8 保健体育費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	旧生口中学校グラウンド及び体育館について、市民がより身近で気軽に利用できるスポーツ施設となるよう、機能の拡充及び安全性並びに利便性の向上を図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果		
<p><b>【全体計画】</b> 旧生口中学校体育館を解体し、新たに体育館を整備します。併せて多目的な利用が可能になるようグラウンドの一部芝生化を行います。</p> <p>(体育館) 完成時期：令和2年度末予定 延床面積：1,066.19㎡ 建物構造：S造平屋建</p> <p>(天然芝生グラウンド) 供用開始：令和元年10月1日 完成時期：令和元年8月末 芝生面積：5,040㎡ 附帯設備：タイマー式自動散水設備</p> <p><b>【令和2年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館整備工事 (450,000千円)</li> <li>・体育館整備工事監理業務委託 (5,412千円)</li> </ul>		<p><b>【平成28年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧生口中学校敷地測量業務委託 (1,912千円)</li> </ul> <p><b>【平成29年度】</b> (体育館整備工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧体育館解体工事設計業務委託 (1,512千円) (グラウンド芝生化)</li> <li>・測量設計業務委託 (6,048千円)</li> </ul> <p><b>【平成30年度】</b> ※一部令和元年度繰越 (体育館整備工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧体育館解体工事 (19,117千円)</li> <li>・地質調査業務委託 (5,796千円)</li> <li>・体育館整備工事基本・実施設計 (14,630千円) (グラウンド芝生化)</li> <li>・グラウンド天然芝生化整備工事 (64,324千円)</li> <li>・形質変更理由書作成業務委託 (1,836千円)</li> </ul> <p><b>【令和元年度】</b> (9月補正) (体育館整備工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館整備工事監理業務委託 (1,489千円)</li> <li>・水道分岐負担金 (1,122千円)</li> </ul>		
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額
事業費 (千円)	9,000	105,000	0	458,912
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0
	地方債		65,100	0
	その他	7,722	32,000	0
	一般財源	1,278	7,900	0
(3) 今後の方針等				
グラウンドの一部芝生化並びに体育館を整備することにより、市民スポーツ広場として機能の充実を図り、利用者の拡充に努めます。				

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	議会だより発行事業		担当課	議会事務局
会計・款項	会計 1 一般会計	款 1 議会費	項 1 議会費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	開かれた市議会をめざし、市議会の活動状況のあらましを市民に周知することにより、もって市民の市議会に対する理解と自治意識の向上を図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果				
<p>【全体計画】</p> <p>1 事業の目的</p> <p>市議会の活動状況の市民への周知並びに市民の市議会に対する理解及び自治意識の向上に資するため、単独発行する広報誌です。</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>1 発行頻度 年4回(2月・5月・8月・11月)発行</p> <p>2 印刷部数 55,900部</p> <p>3 様式 A4判、16ページ程度、オフセット印刷、表裏ページをカラー刷り、他2色刷り。</p> <p>4 記事内容</p> <p>(1) 一般質問・総体質問 (2) 委員会での審査概要 (3) 議案説明 (4) 議案に対する各会派の賛否 (5) 行政視察報告 (6) 請願・意見書・決議 (7) 議会人事 (8) 市議会からのご案内 (9) その他 特集記事、議会一口メモなど編集委員会で検討します。</p>					<p>第27号 (H31.2.12)                      第28号 (R元.5.10)</p> <p>第29号 (R元.8.13)                      第30号 (R元.11.11)</p>				
予算データ		H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額				
事業費 (千円)		3,000	3,000	3,100	3,300				
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0				
	一般財源	3,000	3,000	3,100	3,300				
(3) 今後の方針等									
<p>議員自らが主体となって、編集、発行にあたります。また、令和2年度において、広く市民の意見を聴取し、編集に反映させることにより内容の充実を図り、もって市民が議会への関心を高め、理解を深めることを目的に、尾道市議会議会だよりモニターを設置することにしました。モニターの意見を参考に、親しみやすい紙面づくりを目指します。</p>									

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	協働のまちづくり事業		担当課	政策企画課 生涯学習課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市協働のまちづくり行動計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市民と行政との協働のまちづくりを普及促進し、将来にわたって市民が誇りを持てる個性的で魅力ある地域社会の実現を図るための事業を行います。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																																											
<p>1 情報共有 各種団体の地域活動やまちづくりに関する情報について、情報収集を行い、広く情報発信します。 (1) 広報おのみち掲載(協働通信シリーズ) (2) メーリングリストによる情報提供 (3) パネル展示(20千円)</p> <p>2 人材育成 市民や職員を対象とした講座を開催し、まちづくりの中心的役割を担う人材の発掘・育成を行います。 (1) 協働のまちづくり講座・研修開催(1,000千円) 知識・経験の共有、まちづくりの意識醸成と活動の担い手育成、職員の意識啓発を図ります。 (2) 若者チャレンジ講座開催(714千円) 地域人材の発掘と参加しやすいまちづくりを目指し連続講座を開催します。</p> <p>3 環境整備 多様化する地域課題解決のために、地域組織や市民団体等がまちづくりを主体的に考え活動していくための支援を行います。 (1) 住民自治組織への助成(35,783千円) ア 町内会活動補助金(31,783千円) イ 地域集会施設整備補助金(4,000千円) 地域が管理・設置する集会施設の新築・改築・購入費用の一部を助成。補助率1/2(上限あり)。 (2) 市民活動団体への助成(5,715千円) 1 団体につき単年度1回のみ、最長3か年度まで助成。補助率2/3(上限あり)。</p>	<p>1 情報共有 (1) 広報おのみち掲載(協働通信シリーズ) 地域活動事例等の情報発信を行いました。 (2) メーリングリストによる情報提供 講演会や講座、助成事業等の情報収集を行い、メーリングリストに登録した個人や団体に対し、情報発信を行いました。 ※R元は見込み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信先登録件数(累計)</td> <td>80件</td> <td>94件</td> <td>100件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) パネル展示 市内各地でパネル展示を行い、各種団体の活動を紹介しました。</p> <p>2 人材育成 (1) 協働のまちづくり講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座開催回数</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 若者チャレンジ講座(おのみち市民大学連携事業)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座開催回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>655,000円</td> <td>700,000円</td> <td>714,000円</td> </tr> <tr> <td>受講生/聴講生</td> <td>12人/197人</td> <td>10人/116人</td> <td>11人/105人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 環境整備 (1) 住民自治組織への助成 ア 町内会活動に対する補助金交付 イ 令和元年度で地域集会施設整備補助金の制度新設 (2) 市民活動団体への助成 市民活動支援事業について、令和元年度で地域コミュニティ部門を新設</p> <p>【令和元年度 実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>部門</th> <th>団体数(補助額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新規</td> <td>市民活動団体部門</td> <td>2(699千円)</td> </tr> <tr> <td>地域コミュニティ部門</td> <td>2(618千円)</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>活動育成部門 ※</td> <td>4(2,000千円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※旧制度で前年度からの継続支援団体のみ適用</p>	区分	H29	H30	R元	情報発信先登録件数(累計)	80件	94件	100件	区分	H29	H30	R元	講座開催回数	3回	2回	4回	区分	H29	H30	R元	講座開催回数	6回	6回	6回	経費	655,000円	700,000円	714,000円	受講生/聴講生	12人/197人	10人/116人	11人/105人	区分	部門	団体数(補助額)	新規	市民活動団体部門	2(699千円)	地域コミュニティ部門	2(618千円)	継続	活動育成部門 ※	4(2,000千円)
区分	H29	H30	R元																																									
情報発信先登録件数(累計)	80件	94件	100件																																									
区分	H29	H30	R元																																									
講座開催回数	3回	2回	4回																																									
区分	H29	H30	R元																																									
講座開催回数	6回	6回	6回																																									
経費	655,000円	700,000円	714,000円																																									
受講生/聴講生	12人/197人	10人/116人	11人/105人																																									
区分	部門	団体数(補助額)																																										
新規	市民活動団体部門	2(699千円)																																										
	地域コミュニティ部門	2(618千円)																																										
継続	活動育成部門 ※	4(2,000千円)																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(千円)</td> <td>38,408</td> <td>39,266</td> <td>47,263</td> <td>43,232</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,256</td> <td>4,290</td> <td>8,264</td> <td>5,663</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>33,152</td> <td>34,976</td> <td>38,999</td> <td>37,569</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費(千円)	38,408	39,266	47,263	43,232	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	地方債	0	0	0	その他	5,256	4,290	8,264	5,663	一般財源	33,152	34,976	38,999	37,569															
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																								
事業費(千円)	38,408	39,266	47,263	43,232																																								
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0																																								
	地方債	0	0	0																																								
	その他	5,256	4,290	8,264	5,663																																							
	一般財源	33,152	34,976	38,999	37,569																																							
(3) 今後の方針等	<p>各種媒体を活用して効果的に施策等の情報発信を行い、まちづくりに関する情報を共有することで、市の施策決定における市民参加を推進します。まちづくりへの参加意識を高めるとともに、多様化する地域課題やニーズに対応していくための新たな人材の発掘や育成、職員の意識啓発を目的に講座・研修会を開催します。また、市民が提案する公共性・公益性の高いまちづくり活動について支援を行うことで、魅力ある地域社会の実現を図ります。</p>																																											

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	広報広聴活動業務		担当課	秘書広報課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市政に関する様々な情報をより分かりやすく提供するために、広報紙やホームページなどの情報伝達媒体やSNS・ケーブルテレビ・コミュニティFMなどを活用し、市政情報発信の充実を図ります。また、市民からの意見、苦情などの相談に対し、関係機関との連携による問題解決を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
1 広報活動 広報紙紙面やホームページなど情報伝達媒体を充実させることで、市政情報の共有化を図ります。		1 情報が探しやすく伝わりやすい広報紙とホームページづくり 広報紙について、各月55,900部発行しました。平成29年5月号から全面カラー化を図り、より伝わりやすい紙面になりました。 ホームページにより平成30年7月豪雨に係る災害対応情報を掲出し、迅速な周知に努めました。			
2 市政情報発信充実事業 SNS、ケーブルテレビ、コミュニティFMを活用することで、情報発信を充実させます。		2-1 ラインの活用と新たなICTの導入研究 ラインの活用により、市の旬なトピックスだけでなく、防災情報の配信も行いました。登録者数も増加しています。 (平成30年3月末7,816人⇒令和元年12月末時点24,925人)  2-2 市政情報番組の活用 おのみちエフエムによるラジオ放送は北部一部を除く広い放送エリアを持ち、市政情報を届けています。 ちゅピCOM尾道による市政番組放送は、インターネット回線を活用した放送圏域の拡張により、平成30年からは新たに一部地域を除く御調町、因島、瀬戸田町で視聴が可能になりました。			
3 広聴活動 市民からの意見、要望、苦情を聴取し、問題解決へ繋げるとともに行政運営の参考とします。		3 市民の要望、苦情、困りごと及び悩みごと相談並びに関係機関との連携による法律相談等を行いました。			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	45,851	46,578	47,598	47,692	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	4,224	4,224	4,224	4,416
	一般財源	41,627	42,354	43,374	43,276
(3) 今後の方針等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページについて、デザインの改良等により見やすいサイトを目指します。</li> <li>ホームページについて、職員研修を行い更新頻度と内容の向上を図ります。</li> <li>緊急時、災害時を含めた情報発信ツールとして、ラインの登録者数増を目指します。</li> </ul>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	男女共同参画基本計画策定業務		担当課	人権男女共同参画課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 3 人権推進事業費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	平成28年4月から施行した「尾道市男女共同参画推進条例」の理念に則り男女共同参画を推進するため、平成29年3月策定の「尾道市男女共同参画基本計画」に沿って市（行政）と市民、事業所等の協働による取り組みを進めているところです。現行計画は令和3年度で期間満了となるため、男女共同参画推進への取り組みを引き続き行うことを目的に次期計画を策定します。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p><b>【全体計画】</b></p> <p>1 市民及び事業者にアンケートを行い、男女共同参画への意識、状況等を調査し、現行の男女共同参画基本計画の成果目標の達成度、社会情勢等も踏まえながら、次期基本計画を策定します。 計画期間：令和4年度～令和8年度（予定）</p> <p>2 事業期間 令和2年度～令和3年度</p> <p>3 全体事業費 3,100千円</p> <p><b>【令和2年度計画】</b> 業者選定 市民アンケート実施（予定 2,000人） 事業所アンケート実施 （予定 従業員10人以上の500社） アンケート集計</p> <p style="text-align: center;">※令和2年度債務負担行為設定 期 間：令和2年度～令和3年度 限度額：3,100千円</p>		<p>第1次男女共同参画基本計画（平成29年3月策定） 計画期間：平成29年度～令和3年度</p> <p><b>【平成27年度】</b> 市民アンケート調査実施、アンケート結果の単純集計</p> <p><b>【平成28年度】</b> 事業所アンケート実施、クロス集計。市民アンケート及び事業所アンケート結果の分析、男女共同参画審議会開催（4回）、男女共同参画行政推進協議会開催（4回）、パブリックコメントの実施</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	0	0	0	0
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
(3) 今後の方針等					
市民アンケート及び事業所アンケートを実施し、現行の男女共同参画基本計画の推進状況や社会情勢の変化等を踏まえ、次期男女共同参画基本計画を策定していきます。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	「いのち・愛・おのみち」人権啓発事業		担当課	人権男女共同参画課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 7 人権教育費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市人権啓発推進プラン			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市民が命や人権の大切さを学び、人権尊重の意識が高いまちとなるよう、市民参加型の人権展の開催や著名な講師による講演会を開催し、市民が参加しやすい啓発事業の推進を図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
1 人権啓発の推進 学校、地域等様々な場を通じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、効果的な人権啓発活動を行います。	(1) 「いのち・愛・おのみち」人権講演会 「人権週間」にあわせて12月上旬に講演会を開催し、市民の人権意識の高揚を図ります。 実施計画 開催日 令和2年12月 人権講演会のほか、全国中学生人権作文コンテスト入賞者の作文朗読や人権啓発パネルの展示を行います。	1 事業実績 (1) 「いのち・愛・おのみち」人権講演会 平成29年度 平成29年11月26日開催 演 題 天使がこの世に降り立てば 講 師 金澤 泰子、翔子 (書家) 参加者 610人 平成30年度 平成30年12月1日開催 演 題 絶体絶命は打ち出の小槌 講 師 小島 慶子 (エッセイスト) 参加者 400人 令和元年度 令和元年12月7日開催 演 題 21世紀は人権の世紀になるか 講 師 ピーター フランクル (数学者) 参加者 250人	(2) 「いのち・愛・おのみち」人権展 平成29年度 開催期間 平成29年11月27日～平成30年2月4日 開催場所 人権文化センター他4か所 応募者、作品数 184人、82点 平成30年度 開催期間 平成30年11月17日～平成31年2月7日 開催場所 人権文化センター他6か所 応募者、作品数 321人、124点 令和元年度 開催期間 令和元年11月16日～令和2年2月6日 開催場所 人権文化センター他6か所 応募者、作品数 85人、119点		
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	1,232	1,240	1,179	1,217	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,232	1,240	1,179	1,217
(3) 今後の方針等					
アンケート結果や社会情勢にあったテーマにより、市民が参加したいと思う講演となるよう講師を選定し、市広報、ホームページ、メディアなどを効果的に利用し、参加者増を図ります。 人権展については、市民参加型の啓発事業として、作品を通して人権意識の高揚を図ります。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	デジタル防災無線整備事業 (防災・減災対策事業)		担当課	総務課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	<p>災害に強いまちづくりを推進するため、地域の自主防災組織の活動促進や市民の防災意識の高揚などを図り、地域防災力の向上を目指します。</p> <p>また、全市民に迅速かつ確実に防災情報を伝達する手段を構築するため、デジタル防災無線システムを整備します。</p>
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果																																		
<p>1 デジタル防災無線整備事業 (247,019千円) 【R3年度債務負担：737,000千円】</p> <p>全市民に対し災害時の避難行動に役立つ防災情報を迅速かつ確実に伝達するため、デジタル防災無線システムを整備し、希望する世帯に戸別受信機を貸与するとともに、連動する防災アプリを導入します。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織育成支援事業補助 (防災訓練)                             <table border="0"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>補助件数</td> <td>43団体</td> <td>参加者数</td> <td>5,815人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>補助件数</td> <td>39団体</td> <td>参加者数</td> <td>5,065人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>補助件数</td> <td>55団体</td> <td>参加者数</td> <td>4,745人</td> </tr> </table> </li> <li>(資機材購入)                             <table border="0"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>補助件数</td> <td>8団体</td> <td>補助額</td> <td>681,000円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>補助件数</td> <td>3団体</td> <td>補助額</td> <td>368,000円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>補助件数</td> <td>2団体</td> <td>補助額</td> <td>160,000円</td> </tr> </table> </li> </ul>					平成29年度	補助件数	43団体	参加者数	5,815人	平成30年度	補助件数	39団体	参加者数	5,065人	令和元年度	補助件数	55団体	参加者数	4,745人	平成29年度	補助件数	8団体	補助額	681,000円	平成30年度	補助件数	3団体	補助額	368,000円	令和元年度	補助件数	2団体	補助額	160,000円
平成29年度	補助件数	43団体	参加者数	5,815人																																			
平成30年度	補助件数	39団体	参加者数	5,065人																																			
令和元年度	補助件数	55団体	参加者数	4,745人																																			
平成29年度	補助件数	8団体	補助額	681,000円																																			
平成30年度	補助件数	3団体	補助額	368,000円																																			
令和元年度	補助件数	2団体	補助額	160,000円																																			
<p>2 総合防災マップ更新事業 (2,805千円)</p> <p>土砂災害警戒区域の指定に合わせて総合防災マップを更新し、全戸配布することで、自宅周辺の危険箇所の認識を深めていただき、避難行動の促進を図ります。(R1年度からの継続事業)</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>尾道防災リーダー育成講座の開催 (受講者数)                             <table border="0"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>70人</td> </tr> </table> </li> </ul>					平成29年度	55人	平成30年度	30人	令和元年度	70人																								
平成29年度	55人																																						
平成30年度	30人																																						
令和元年度	70人																																						
<p>3 うちの防災マップ作成支援事業 (790千円)</p> <p>地域住民で行う身近な危険箇所や避難経路等を記載した防災マップ作成の支援を行うため、防災アドバイザーの派遣や作成費用の補助、完成した防災マップの印刷等を行います。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>防災士育成支援事業 (取得者数)                             <table border="0"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>4人</td> </tr> </table> </li> </ul>					平成29年度	7人	平成30年度	5人	令和元年度	4人																								
平成29年度	7人																																						
平成30年度	5人																																						
令和元年度	4人																																						
<p>4 うちの避難所登録制度 (150千円)</p> <p>地域の集会所等を避難所として登録し、毛布の備蓄や光熱水費等を支援することで、避難しやすい環境を整えます。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>防災出前講座開催状況                             <table border="0"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>28件</td> <td>参加者数</td> <td>1,568人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>38件</td> <td>参加者数</td> <td>2,044人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>49件</td> <td>参加者数</td> <td>2,617人</td> </tr> </table> </li> </ul>					平成29年度	28件	参加者数	1,568人	平成30年度	38件	参加者数	2,044人	令和元年度	49件	参加者数	2,617人																		
平成29年度	28件	参加者数	1,568人																																				
平成30年度	38件	参加者数	2,044人																																				
令和元年度	49件	参加者数	2,617人																																				
<p>5 防災用備品整備 (3,000千円)</p> <p>台風や地震など災害時の停電等に対応するため、避難所に防災倉庫や発電機、投光機などの備蓄を行います。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>うちの防災マップ作成支援事業                             <table border="0"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3件</td> </tr> </table> </li> <li>うちの避難所登録制度                             <table border="0"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>24件</td> </tr> </table> </li> </ul>					令和元年度	3件	令和元年度	24件																										
令和元年度	3件																																						
令和元年度	24件																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>38,529</td> <td>52,603</td> <td>56,101</td> <td>289,622</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,050</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>12,700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,785</td> <td>4,480</td> <td>13,402</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>32,744</td> <td>35,423</td> <td>42,699</td> </tr> </tbody> </table>					予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	38,529	52,603	56,101	289,622	財源 (千円)	国県支出金	0	0	2,050	地方債	0	12,700	0	その他	5,785	4,480	13,402	一般財源	32,744	35,423	42,699	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災用備品整備                             <table border="0"> <tr> <td>避難所防災倉庫：10台</td> </tr> <tr> <td>避難所備蓄品：簡易ベッド72台、発電機10台、投光機10台、アルミロールマット630本</td> </tr> </table> </li> </ul> <p>※ 令和元年度はそれぞれ見込みを含む。</p>					避難所防災倉庫：10台	避難所備蓄品：簡易ベッド72台、発電機10台、投光機10台、アルミロールマット630本	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																			
事業費 (千円)	38,529	52,603	56,101	289,622																																			
財源 (千円)	国県支出金	0	0	2,050																																			
	地方債	0	12,700	0																																			
	その他	5,785	4,480	13,402																																			
	一般財源	32,744	35,423	42,699																																			
避難所防災倉庫：10台																																							
避難所備蓄品：簡易ベッド72台、発電機10台、投光機10台、アルミロールマット630本																																							
(3) 今後の方針等																																							
<p>防災・減災にあたっては、自助・共助・公助がそれぞれの役割を果たすことが重要であるため、今後も市民一人ひとりの防災意識の高揚や地域の方々による自主防災組織の活動促進を図るとともに、全市民に確実に防災情報を伝達するためのデジタル防災無線システムを整備し、災害に強い安全安心なまちづくりを進めていきます。</p>																																							

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	本庁舎整備事業		担当課	総務課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	合併による行政ニーズの拡充に対応し、分散する庁舎機能を統合、効率化し、市民の利便性の向上を図るとともに、十分な耐震性能を確保して防災拠点としての機能を向上させ、本市の一体的な発展に向けたまちづくりの拠点施設として、行政サービスを適切に提供していくことを目的とし、本庁舎の建替えとともに、耐震強度が著しく低く、老朽化している旧本庁舎を解体した跡に平面駐車場を整備するものです。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																															
<p><b>【全体計画】</b></p> <p>1 本庁舎の建替及び既存庁舎の解体・跡地整備を実施し、防災拠点・まちづくりの拠点施設としての機能を有する庁舎を整備します。</p> <p>2 建物概要</p> <p>(1) 構造規模 鉄骨造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上5階建て</p> <p>(2) 建築面積 4,156.07㎡</p> <p>(3) 延床面積 14,496.54㎡</p>  <p>3 事業期間 平成26年度～令和2年度</p> <p>4 全体事業費 約72億3,000万円 (見込)</p> <p><b>【令和2年度計画】</b></p> <p>1 旧本庁舎解体・跡地整備工事</p> <p>2 久保駐車場解体・跡地整備工事</p>	<p>1 平成26年度</p> <p>(1) 基本構想(案)策定</p> <p>(2) レイアウト調査</p> <p>2 平成27年度</p> <p>(1) 基本・実施設計</p> <p>(2) レイアウト検討</p> <p>3 平成28年度</p> <p>(1) 基本・実施設計</p> <p>(2) レイアウト・サイン検討</p> <p>(3) 公会堂解体撤去工事</p> <p>4 平成29年度</p> <p>(1) 新本庁舎建設工事</p> <p>(2) 敷地内地下障害物撤去工事</p> <p>5 平成30年度</p> <p>新本庁舎建設工事</p> <p>6 令和元年度</p> <p>(1) 新本庁舎開庁</p> <p>(2) 旧本庁舎解体工事</p> 																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算・決算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費総額(千円)</td> <td>281,418</td> <td>3,183,855</td> <td>3,196,403</td> <td>320,303</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>4,261</td> <td>73,945</td> <td>38,852</td> <td>8,773</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>262,800</td> <td>2,945,200</td> <td>2,705,700</td> <td>295,900</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>150,000</td> <td>450,000</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>14,357</td> <td>14,710</td> <td>1,851</td> <td>3,630</td> </tr> </tbody> </table>	予算・決算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費総額(千円)	281,418	3,183,855	3,196,403	320,303	財源 (千円)	国県支出金	4,261	73,945	38,852	8,773	地方債	262,800	2,945,200	2,705,700	295,900	その他	0	150,000	450,000	12,000	一般財源	14,357	14,710	1,851	3,630	
予算・決算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																												
事業費総額(千円)	281,418	3,183,855	3,196,403	320,303																												
財源 (千円)	国県支出金	4,261	73,945	38,852	8,773																											
	地方債	262,800	2,945,200	2,705,700	295,900																											
	その他	0	150,000	450,000	12,000																											
	一般財源	14,357	14,710	1,851	3,630																											
(3) 今後の方針等																																
<p>令和元年度1月に新本庁舎が完成し、運用を開始しました。今後、旧本庁舎の解体・跡地整備、久保駐車場の解体・跡地整備を経て、令和2年度末の事業完了を目指します。</p> <p>市役所の庁舎としての機能だけでなく、人が集い楽しんでいただける魅力ある交流拠点としての機能を有する建物を整備し、運用します。適切な運用管理を行うことで、ライフサイクルコストの低減に努めます。</p>																																

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	因島総合支所庁舎整備事業		担当課	因島総合支所市民生活課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	旧庁舎は建築後50年以上が経過していたため、施設は老朽化し、十分な耐震性能を有していない可能性が高かった。また、規模についても過大であったことから、適正規模の新庁舎を建設し、防災拠点としての機能を有するとともに、因島地域のまちづくり拠点となる庁舎を整備します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																											
<p>【全体計画】</p> <p>1 旧庁舎が老朽化し耐震性能を十分に有していない可能性があったため、同敷地内に災害に強く地域の賑わいの拠点となる新庁舎を建設した。今後、旧庁舎を解体し駐車場及び芝生広場等を整備する。</p> <p>2 建物概要                      (1) 構造規模 RC造 3階建て                      (2) 建築面積 1,430.07㎡                      (3) 延床面積 2,130.99㎡</p>  <p>3 事業期間 平成26年度～令和2年度</p> <p>4 全体事業費 約13億8,500万円</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>1 旧庁舎解体工事                      2 跡地整備工事等</p>	<p>1 平成26年度                      (1) 基本方針(素案)策定</p> <p>2 平成27年度                      (1) 基本・実施設計</p> <p>3 平成28年度                      (1) 基本・実施設計</p> <p>4 平成29年度                      (1) 敷地整備に伴う関連施設解体                      (2) 附属棟解体及び電気・機械設備の切り替え、電気通信施設の移転</p> <p>5 平成30年度                      (1) 附属棟解体                      (2) 敷地内排水路布設替工事                      (3) 新庁舎建設工事</p> <p>6 令和元年度                      (1) 新庁舎開庁                      (2) 旧庁舎解体工事(令和2年度まで)</p> 																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(千円)</td> <td>28,438</td> <td>418,744</td> <td>716,688</td> <td>177,392</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>27,000</td> <td>397,800</td> <td>630,300</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>20,000</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,438</td> <td>944</td> <td>6,388</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費(千円)	28,438	418,744	716,688	177,392	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	地方債	27,000	397,800	630,300	その他	0	20,000	80,000	一般財源	1,438	944	6,388	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																								
事業費(千円)	28,438	418,744	716,688	177,392																								
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0																								
	地方債	27,000	397,800	630,300																								
	その他	0	20,000	80,000																								
	一般財源	1,438	944	6,388																								
(3) 今後の方針等																												
<p>令和元年9月2日から新庁舎で業務を開始しました。今後、旧庁舎の解体・来庁者駐車場や芝生広場などの外構整備を経て、令和2年度内の事業完了を目指します。                      市役所の庁舎としての機能だけでなく、因島地域の防災及びまちづくりの拠点としての機能を有する建物を整備し、運用します。</p>																												

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	環境学習推進事業		担当課	環境政策課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	
事業実施の根拠となる計画	第2次尾道市環境基本計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	「尾道市を愛する人づくり」を目的に、本市が持つ豊かな自然に触れることにより、環境保全意識の醸成を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
1 ふるさと水辺・海辺教室 市内の小学生を対象に実施します。 (1) ふるさと水辺教室 尾道を流れるふるさとの川に親しみ、郷土の自然環境の状態を学ぶ機会を提供するものです。 (2) ふるさと海辺教室 海のしくみや海の生き物を知ることとおして、海を守り大切にする気持ちを育んでもらうものです。	2 やまなみ自然学校 市内の小学生を対象に実施します。里山の自然を肌で感じながら、環境への意識醸成を図るものです。	1 参加小学校・児童数 (1) 平成29年度 重井小学校28人 御調西小学校12人 (2) 平成30年度 山波小学校50人 (3) 令和元年度 重井小学校17人 西藤小学校31人 美木原小学校20人 御調西小学校13人	2 実施内容 (1) ふるさと水辺・海辺教室 因島大浜町の福山大学研究施設内で、教授や学生らから「海の生物」についての講義を受けました。また水族館のバックヤードも見学しました。小学生に合わせた内容で子どもたちも積極的な反応をみせていました。 大浜海岸で水生生物の観察も行いました。生活する上で出てくるビニールやプラスチックなどのゴミが海の生物に与える影響について学びながら、海岸清掃活動も実施しました。  (2) やまなみ自然学校 シタケの植菌や収穫など林業体験をしたり、山の中を観察しながら歩いてまわるフィールドワークを行いました。森のもつ役割などについて話を聞いたり、クイズやゲーム形式での学習を行ったり、子どもたちの興味を引き付けながら、中山間地域における環境保全の重要性について学ぶ機会になりました。	3 成果 本事業で実際に見て、触れて体験することで、子どもたちは自然環境をより深く身近なものに感じることができ、尾道の自然を守り育てていこうという意識を高めることができました。	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	600	600	550	500	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	600	600	550	500
(3) 今後の方針等					
例年好評を得ている事業であり、引き続き実施します。 山から海、島までの多様な自然に恵まれた尾道の特色を活かした事業となるよう、さまざまな機関との協力を得ながら進めていきます。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【新規・継続】

事業名	尾道COOL CHOICEプロジェクト推進事業		担当課	環境政策課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	
事業実施の根拠となる計画	第2次尾道市環境基本計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	地球温暖化問題についての発信や、温室効果ガス削減に向けた具体策の実施に向け、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え、サービスの利用、ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」の取組を市民・企業・団体に推進するための啓発事業を展開します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>1 COOL CHOICE及びSDGs (環境関連ゴール) のリーフレットを作成し、市のHP・広報おのみち等による広報活動を行います。</p> <p>環境学習推進事業など各種イベントを通じて、尾道市の取組を紹介し、市民・企業・団体に対して認知度を高め、COOL CHOICEへの賛同登録を促します。</p> <p>2 若い世代の地球温暖化問題、海洋プラスチック汚染問題等の環境課題への関心を高め、COOL CHOICE及びSDGs (環境関連ゴール) について考え、実践できる人材を育成します。</p> <p>教育機関や企業、団体と連携し、小学生を対象に体験航海をしながら海の環境問題を考える学習機会を提供します。</p>		【新規事業】			
		H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額
事業費 (千円)		0	0	0	300
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	300
(3) 今後の方針等					
COOL CHOICE及びSDGsが目標とする2030年度まで、尾道市でも地球温暖化問題についての発信や温室効果ガス削減に向けた啓発を続けていきます。					

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	再資源化事業		担当課	清掃事務所 南部清掃事務所
会計・款項	会計 1 一般会計	款 4 衛生費	項 3 清掃費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	家庭から排出される廃棄物に含まれる資源物を回収し再資源化することで、相対的にごみの処分量を減少させ、処分に要する経費の削減を図ることを目的とします。 また、資源回収への意識の定着による、日常でのごみの減量化及び分別化の促進を見込んでいます。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果					
<p><b>【全体計画】</b></p> <p>1 資源物回収 各地区の公衆衛生推進協議会等、再資源化推進団体が所定の場所で収集した資源物を、市から委託された民間業者が運搬します。</p> <p>2 物品支給 再資源化推進団体に対し、資源物回収に必要な物品を支給することで活動を支援します。</p> <p>3 補助金支給 資源物の分別収集を行った再資源化推進団体に対し、補助金を交付します。</p> <p><b>【令和2年度計画】</b> 令和元年度までの取組を継続します。 ・資源物回収 ・物品支給 ・補助金交付</p>					<p>1 平成29年度</p> <p>(1) 資源物回収 本事業による再資源化…総量2,679トン 売却収入…25,469千円 資源物回収運搬業務委託料…62,106千円</p> <p>(2) 物品支給 資源物収集場所に掲示する標識…15枚 資源回収用ネット…150枚</p> <p>(3) 補助金交付 補助額…9,829千円</p> <p>2 平成30年度</p> <p>(1) 資源物回収 本事業による再資源化…総量2,542トン 売却収入…23,819千円 資源物回収運搬業務委託料…62,475千円</p> <p>(2) 物品支給 資源物収集場所に掲示する標識…15枚 資源回収用ネット…50枚 資源回収用コンテナ…60個</p> <p>(3) 補助金交付 補助額…9,136千円</p> <p>3 令和元年度 (見込)</p> <p>(1) 資源物回収 本事業による再資源化…総量2,586トン 売却収入…20,825千円 資源物回収運搬業務委託料…63,222千円</p> <p>(2) 物品支給 資源物収集場所に掲示する標識…15枚 資源回収用ネット…100枚</p> <p>(3) 補助金交付 補助額…9,259千円</p>					
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額						
事業費 (千円)	75,276	74,876	73,862	73,879						
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0						
	地方債	0	0	0						
	その他	23,000	23,600	25,400	20,000					
	一般財源	52,276	51,276	48,462	53,879					
(3) 今後の方針等										
再資源化事業の促進により最終処分される廃棄物の抑制に繋がるほか、ごみ分別及び再資源化に対する市民の理解が徐々に進んでいます。引き続き環境教室等の啓発事業と連携しつつ本事業を継続・発展させることで、清掃事業及び環境美化に対する市民の関心を高め、将来的にはごみの減量化・リサイクルによる循環型社会を企図し、衛生面、環境面において住みよいまちづくりの実現を目指します。課題として、資源回収量が減少傾向にあること、地域住民の高齢化による排出困難者の増加が見込まれること、事業者への分別を周知すること等があるため、今後はその対策に取り組んでいきます。										

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	おのみち地区し尿処理場改修事業		担当課	衛生施設センター
会計・款項	会計 1 一般会計	款 4 衛生費	項 3 清掃費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	おのみち地区し尿処理場の老朽化した設備を順次更新し、併せて合併浄化槽の普及等により、し尿と浄化槽汚泥の搬入割合が大きく変化している状況に対応するため、処理能力の変更と施設整備を行い、し尿及び浄化槽汚泥処理において安全・安心な市民サービスを維持するとともに、市民の生活環境の保全を図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果																														
1 おのみち地区し尿処理場改修事業 (1) おのみち地区し尿処理場精密機能診断に基づくし尿処理施設の延命化及び処理方式の軽微変更。 (2) 処理能力173kℓ/日 (し尿132kℓ・浄化槽汚泥41kℓ) から190kℓ/日 (し尿104kℓ・浄化槽汚泥86kℓ) へ変更。 (3) 計画期間 平成27年度～令和2年度 2 令和2年度事業内容 (1) 事業名 汚泥脱水機設備更新 (2) 事業費 91,300千円 (3) 事業期間 令和元年度～令和2年度 (4) 事業内容 汚泥脱水機更新 (3台)					1 平成27年度 系外搬出コンベア設置業務 19,656千円 老朽化した焼却設備の突発的な故障と期間を要する機器修繕に対応するため、脱水汚泥等を直接系外に搬出するコンベアを設置することで、し尿処理においてリスク管理を図りました。 2 平成28年度 熱交換器更新及び乾燥機攪拌軸更新修繕 39,960千円 能力の低下した焼却設備の熱交換器及び乾燥機攪拌軸を更新することで、焼却設備の熱回収率を改善し、併せて延命化を図りました。 3 平成29年度 脱窒素性能安定化対策業務 189,000千円 増加する浄化槽汚泥に対応するため、処理能力に対して水処理設備の反応槽を改造し変更を行い、搬入量の増加に対しては浄化槽汚泥貯留槽の容量変更を行い安定的なし尿処理を図りました。 4 平成30年度 クーリングタワー更新修繕 9,072千円 能力の低下した水処理設備のクーリングタワーを更新することで、反応槽の温度管理を改善し、併せて延命化を図りました。																														
					し尿・浄化槽汚泥搬入量 (単位：kℓ)																														
					年度	し尿	浄化槽汚泥	合計																											
					H28	38,331	35,362	73,693																											
					H29	36,953	35,476	72,429																											
					H30	35,397	36,213	71,610																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>190,000</td> <td>11,000</td> <td>0</td> <td>91,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>180,500</td> <td>10,400</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,500</td> <td>600</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	190,000	11,000	0	91,300	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	地方債	180,500	10,400	0	その他	0	0	0	一般財源	9,500	600	0				
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																															
事業費 (千円)	190,000	11,000	0	91,300																															
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0																															
	地方債	180,500	10,400	0																															
	その他	0	0	0																															
	一般財源	9,500	600	0																															
(3) 今後の方針等																																			
脱窒素性能安定化対策業務により190kℓ/日へ処理能力を変更したことで安定的な処理を行うとともに、事業完了後も老朽化した設備の修繕を定期的に行い、し尿処理施設の延命化を図ります。また、令和元年度から供用開始した隣接する下水道処理施設へ一部の浄化槽汚泥を移送し処理を行うMICS事業を併用する等、本市のし尿処理施設の中心的役割を担う施設として整備を行い、市域のし尿処理の適正化と衛生環境の維持を図ります。																																			

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	処理場維持管理事業		担当課	衛生施設センター 南部清掃事務所
会計・款項	会計 1 一般会計	款 4 衛生費	項 3 清掃費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	快適で健康的、文化的な市民生活の確保、公衆衛生の向上のため、し尿・ごみの適正処理を図るとともに処理施設の効率的な運転管理を行い、地域環境の保全と公害発生の防止を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果																																																		
<p>1 し尿・浄化槽汚泥の処理</p> <p>旧尾道・御調・向島地域のし尿・浄化槽汚泥については、おのみち地区し尿処理場で処理します。因島・瀬戸田地域のし尿・浄化槽汚泥については、因島クリーンセンター・瀬戸田汚泥再生処理センターで処理します。</p> <p>2 塵芥の処理</p> <p>旧尾道・御調・向島地域のごみについては尾道市クリーンセンターで、因島・瀬戸田地域のごみについては因瀬クリーンセンター等で処理します。</p> <p>3 施設の維持管理</p> <p>し尿・ごみの適正な処理のため、処理施設の維持管理に努めます。</p>					<p>1 し尿処理場</p> <p>おのみち地区し尿処理場は、クーリングタワー更新及び汚泥貯留槽他防蝕被覆の修繕を行い、因島クリーンセンターでは、1号I Z循環ポンプケーシング、No.2固液分離装置の修繕を行うなど、施設の適正な維持管理に努めました。</p> <p>なお、平成29年度からおのみち地区し尿処理場の運転管理業務を委託し、瀬戸田汚泥再生処理センターは、平成25年度から包括による運転維持管理業務を実施し管理を行っています。</p> <p style="text-align: center;">し尿・浄化槽汚泥搬入量 (単位：k0)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>し尿</th> <th>浄化槽汚泥</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>52,777</td> <td>52,274</td> <td>105,051</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>51,037</td> <td>52,634</td> <td>103,671</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>49,282</td> <td>53,515</td> <td>102,797</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 塵芥処理場</p> <p>快適で健康的、文化的な市民生活の確保、公衆衛生の向上のため、ごみの適正処理を図るとともにごみ処理施設の効率的な運転管理を行い、地域環境の保全と公害発生の防止に努めました。</p> <p style="text-align: center;">ごみ・資源物の処理の状況 (単位：t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>可燃</th> <th>不燃</th> <th>資源物</th> <th>固形燃料化</th> <th>埋立</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>39,724</td> <td>4,451</td> <td>8,030</td> <td>683</td> <td>2,074</td> <td>54,962</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>37,602</td> <td>4,482</td> <td>7,894</td> <td>704</td> <td>2,472</td> <td>53,154</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>37,138</td> <td>5,248</td> <td>7,525</td> <td>669</td> <td>3,287</td> <td>53,867</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施設の維持管理</p> <p>尾道市クリーンセンターでは、1号炉ガス冷却室他耐火物修繕及び、ごみクレーン走行レール取替修繕を行うなど、施設の適正な維持管理に努めました。</p> <p>因瀬クリーンセンターでは、炉内耐火物、上水加圧給水ポンプユニットを、因島リサイクルセンターでは、二軸破碎機用油圧ポンプの修繕を行うなど、施設の適正な維持管理に努めました。</p>							年度	し尿	浄化槽汚泥	合計	H28	52,777	52,274	105,051	H29	51,037	52,634	103,671	H30	49,282	53,515	102,797	年度	可燃	不燃	資源物	固形燃料化	埋立	合計	H28	39,724	4,451	8,030	683	2,074	54,962	H29	37,602	4,482	7,894	704	2,472	53,154	H30	37,138	5,248	7,525	669	3,287	53,867
年度	し尿	浄化槽汚泥	合計																																																				
H28	52,777	52,274	105,051																																																				
H29	51,037	52,634	103,671																																																				
H30	49,282	53,515	102,797																																																				
年度	可燃	不燃	資源物	固形燃料化	埋立	合計																																																	
H28	39,724	4,451	8,030	683	2,074	54,962																																																	
H29	37,602	4,482	7,894	704	2,472	53,154																																																	
H30	37,138	5,248	7,525	669	3,287	53,867																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">予算データ</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>当初予算額</th> <th>当初予算額</th> <th>当初予算額</th> <th>当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業費 (千円)</td> <td>1,247,105</td> <td>1,258,082</td> <td>1,217,577</td> <td>1,235,098</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>245,534</td> <td>245,058</td> <td>246,264</td> <td>234,924</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,001,571</td> <td>1,013,024</td> <td>971,313</td> <td>1,000,174</td> </tr> </tbody> </table>					予算データ		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度			当初予算額	当初予算額	当初予算額	当初予算額	事業費 (千円)		1,247,105	1,258,082	1,217,577	1,235,098	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0	地方債	0	0	0	0	その他	245,534	245,058	246,264	234,924	一般財源	1,001,571	1,013,024	971,313	1,000,174												
予算データ		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度																																																		
		当初予算額	当初予算額	当初予算額	当初予算額																																																		
事業費 (千円)		1,247,105	1,258,082	1,217,577	1,235,098																																																		
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0																																																		
	地方債	0	0	0	0																																																		
	その他	245,534	245,058	246,264	234,924																																																		
	一般財源	1,001,571	1,013,024	971,313	1,000,174																																																		
(3) 今後の方針等																																																							
引き続き維持管理に努めながら、廃棄物の適正処理を図ります。																																																							

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	放置艇実態調査・放置艇収容実施計画策定事業		担当課	農林水産課 港湾振興課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 6 農林水産業費	項 2 水産業費	ほか
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	尾道市管理の港湾及び漁港区域内（陸域含む）にあるプレジャーボート等の放置艇の実態調査及び放置艇リストの作成を委託します。 あわせて放置艇収容実施計画を策定します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>令和2年度 調査・計画策定 令和3年度 地元調整、説明会、条例改正等 令和4年度 使用申請、許可 令和5年度～ 使用料徴収開始</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>放置艇実態調査・放置艇収容実施計画策定委託</p>		<p>【新規事業】</p>			
予算データ		H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額
事業費（千円）		0	0	0	2,800
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	2,800
(3) 今後の方針等					
<p>実態調査・計画策定後、令和4年度末までに地元関係者（漁協・町内会・PB団体）調整、現地説明会、所有者説明会、条例改正、許可申請手続指導、撤去指導、廃船処理、係船設備整備等を実施。令和5年度から使用料徴収開始（指定管理不可）。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規・**継続** 】

事業名	大規模建築物耐震改修事業		担当課	建築課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 8 土木費	項 1 土木管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	大地震による被害の大幅な軽減を図るため、建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正により、旧耐震基準（昭和56年5月31日以前）において建築され、政令で定める大規模建築物の所有者に対し、平成27年12月31日までに耐震診断を実施し、所管行政庁へ報告することが義務付けられた。これにより耐震診断を実施した結果、耐震性が不足していると判定された大規模建築物の耐震化を促進する。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>耐震性の低い不特定多数の者が利用する大規模な建物の除却、改修等に対する支援を行い、地域の安全を確保する。</p> <p>また、補助の要件として災害に関する協定を結び、災害時に防災拠点の一部となることを期待し、災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>（耐震改修対象建築物） 建物名称： ベラビスタスパ&amp;マリーナ尾道 工事： 耐震改修工事 面積： 6,692.00㎡</p> <p>（補助額） 補助対象事業費 342,630,000円 補助額 78,804,000円</p>		<p>令和元年度 イオン尾道店除却 市内にある民間の要緊急安全大規模建築物3件のうち1件が当該補助を利用した。</p> <p>（耐震改修対象建築物） 建物名称： イオン尾道店 工事： 解体工事 面積： 22,081.74㎡</p> <p>（補助額） 補助対象事業費 155,000,000円 補助額 35,650,000円</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	0	61,293	78,804	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	45,969	59,103
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	15,324	19,701
(3) 今後の方針等					
令和2年度末で補助制度終了予定。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 **新規** ・ 継続 】

事業名	ブロック塀等の安全確保事業		担当課	建築課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 8 土木費	項 1 土木管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	平成30年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震による塀の倒壊被害を受け、既設の塀の安全点検について所有者等への啓発、注意喚起を行っている。ブロック塀等の除却、建替の補助制度を創設し、更なる地域の安全を確保する。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>市内に存在する補強コンクリートブロック塀や組積造の塀（以下「ブロック塀等」という）の安全性を確保していくため、ブロック塀等の所有者へ安全点検や補修の必要性を周知し、道路等に面するブロック塀等で、地震時に倒壊の危険性があるものを減らしていくため、除却工事、建替工事に対して補助を行う。</p> <p>(補助額) 除却の場合 除却工事費用（除却ブロック塀等1mあたり80,000円を上限）×2/3 (補助上限額150,000円) 建替の場合 建替工事費用（除却ブロック塀等1mあたり80,000円を上限）×2/3 (補助上限額300,000円)</p>		<p>【新規事業】</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	0	0	0	3,000	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	1,500
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	1,500
(3) 今後の方針等					
<p>ブロック塀等の安全確保のため、周知徹底を行う。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	空き家対策総合支援事業		担当課	まちづくり推進課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 8 土木費	項 1 土木管理費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市空家等対策計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	平成27年に実施した空家等実態調査では市内の空き家7,353件のうち半数以上が利活用可能と判定され、このような空き家の利活用を進めるために3種類の補助制度を実施します。また、一方で老朽化が激しく周囲に危険が及ぶような空き家に対しては除却を進め、市民の住環境の保全を図るために1種類の補助制度を実施します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p><b>【事業の概要】</b></p> <p>1 尾道市空家等活用促進モデル事業 地域活性化の促進につながる空家等の新しい活用方法の提案を募集し、優れた提案に対して空家等の改修等に要する費用の3分の2(ただし、上限2,500千円)を補助します。 令和2年度予定件数 1件程度</p> <p>2 尾道市空家等改修支援事業 市の「空き家バンク」に登録している空家等の改修に要する費用の3分の2(ただし、上限300千円)を補助します。 令和2年度予定件数 4件程度</p> <p>3 尾道市特定空家等及び不良空き家除却支援事業 老朽化し危険な空家等の除却に要する費用の3分の2(ただし、上限600千円)を補助します。 令和2年度予定件数 30件程度</p> <p>4 尾道市空き家家財道具等処分支援事業(新規事業) 市の「空き家バンク」に登録又は登録予定の空き家の家財道具等の処分や清掃等に要する費用の2分の1(ただし、上限100千円)を補助します。 令和2年度予定件数 13件程度</p>		<p>1 平成30年度</p> <p>(1) 尾道市空家等活用促進モデル事業 2件(総額5,000千円)</p> <p>(2) 尾道市空家等改修支援事業 0件</p> <p>(3) 尾道市特定空家等及び不良空き家除却支援事業 31件(総額18,142千円)</p> <p>2 令和元年度(見込)</p> <p>(1) 尾道市空家等活用促進モデル事業 2件(総額5,000千円)</p> <p>(2) 尾道市空家等改修支援事業 1件(総額239千円)</p> <p>(3) 尾道市特定空家等及び不良空き家除却支援事業 39件(総額23,089千円)</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費(千円)	0	23,600	23,600	23,000	
財源 (千円)	国県支出金	0	11,800	11,800	11,500
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	11,800	11,800	11,500
(3) 今後の方針等					
<p>利活用については、空き家の所有者や地域で活動している団体等に補助金の制度内容について広報し、利活用した空家等をきっかけとして地域が活性化することを目指します。また、除却については、特定空家等又は周囲に危険を及ぼすような老朽空家等の所有者に対し、補助金を活用した自主的な空家等の解体を促します。</p>					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 **継続** 】

事業名	橋梁長寿命化修繕事業		担当課	維持修繕課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	尾道市が管理する高齢化橋梁の急速な増大に対応するため、アセットマネジメントを導入し、橋梁の補修・架替えに係る費用の平準化を行い、これにより橋梁の長寿命化を図り、市内の道路網の安全性・信頼性を確保します。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果																																			
<b>【全体計画】</b> 1 平成23年4月に策定した尾道市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋梁の修繕を行うとともに、引き続き定期的な点検を実施し、尾道市が管理する橋梁の長寿命化並びに橋梁維持費用の縮減を図ります。  2 尾道市が管理する橋梁 800橋  3 工事期間 平成23年度～令和52年度  4 全体事業費 約93億2,400万円  <b>【令和2年度計画】</b> 1 橋梁修繕工事 8橋 2 橋梁詳細設計 8橋 3 橋梁定期点検 75橋					1 平成23年度 尾道市橋梁長寿命化修繕計画の策定  2 平成24・25年度 橋梁修繕工事 22橋 橋梁定期点検 400橋  3 平成26年度 橋梁修繕工事 6橋 橋梁定期点検 400橋  4 平成27年度 橋梁修繕工事 6橋 橋梁詳細設計 3橋 橋梁定期点検 30橋  5 平成28年度 橋梁修繕工事 1橋 橋梁詳細設計 2橋 橋梁定期点検 235橋  6 平成29年度 橋梁修繕工事 3橋 橋梁詳細設計 15橋 橋梁定期点検 422橋  7 平成30年度 橋梁修繕工事 6橋 橋梁詳細設計 7橋 橋梁定期点検 105橋																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>140,000</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>77,000</td> <td>55,000</td> <td>55,000</td> <td>49,500</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>17,100</td> <td>25,600</td> <td>36,300</td> <td>31,700</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>45,900</td> <td>19,400</td> <td>8,700</td> <td>18,800</td> </tr> </tbody> </table>					予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	140,000	100,000	100,000	100,000	財源 (千円)	国県支出金	77,000	55,000	55,000	49,500	地方債	17,100	25,600	36,300	31,700	その他	0	0	0	0	一般財源	45,900	19,400	8,700	18,800	8 令和元年度 橋梁修繕工事 15橋 橋梁詳細設計 9橋 橋梁定期点検 35橋				
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																				
事業費 (千円)	140,000	100,000	100,000	100,000																																				
財源 (千円)	国県支出金	77,000	55,000	55,000	49,500																																			
	地方債	17,100	25,600	36,300	31,700																																			
	その他	0	0	0	0																																			
	一般財源	45,900	19,400	8,700	18,800																																			
(3) 今後の方針等																																								
計画的に橋梁の修繕を行うとともに、引き続き定期的な点検を実施し、尾道市が管理する800橋の長寿命化並びに橋梁維持費用の縮減を図ります。																																								

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	道路新設改良	担当課	土木課・因島総合支所施設管理課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費
事業実施の根拠となる計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市内の主要な地点の道路ネットワークを構築する幹線道路や日常生活を支える生活道路の整備を行うことで、道路網の安全性、信頼性を確保し、市民が安全に暮らせる道路環境の整備を目的とします。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果
--------------------------	------------------

【事業概要】

道路新設改良

事業名	年度	事業量 (か所数)	事業費 当初予算額	財源内訳				
				国	県	地方債	その他	一般財源
改良事業	H29	35	944,300	132,220	0	534,000	0	278,080
	H30	46	794,200	110,000	0	342,200	0	342,000
	R元	13	410,000	16,890	0	265,500	0	127,610
	R2	19	450,000	100,700	0	169,400	0	179,900

主な路線

市道堤線

事業概要

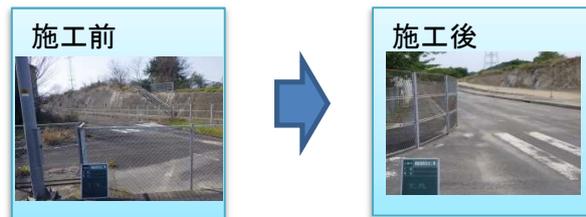
L = 400m  
W = 7.0~12.0m  
4種3級

経過及び予定

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| ・平成27年度  | 測量・調査                     |
| ・平成28年度  | 測量設計等・地元調整                |
| ・平成29年度  | 用地測量・調査                   |
| ・平成30年度  | 関係機関協議<br>用地買収・補償<br>改良工事 |
| ・令和元年度   | 用地買収・補償                   |
| ・令和2年度   | 用地買収・補償<br>改良工事           |
| ・令和3年度以降 | 用地買収・補償<br>改良工事           |



堤線進捗状況  
施工状況



(3) 今後の方針等

市民の利便性、安全性の向上を図るため、幹線道路、生活道路や通学路の整備を推進していきます。

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	消防車両整備事業		担当課	消防局総務課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 9 消防費	項 1 消防費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	安全・安心なまちづくりを実現するため、火災や救急をはじめ、複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため、老朽化した消防車両等を更新計画に基づき整備します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
1 全体計画 尾道市消防局の消防車両等整備更新計画に基づき、消防車両等を整備します。		1 平成29年度 水槽付消防ポンプ自動車 (因島消防署) 査察車 (予防課)			
2 令和2年度計画 小型水槽付消防ポンプ自動車 (尾道消防署) 高規格救急自動車 (因島消防署) 調査広報車 (向島分署)		2 平成30年度 救急患者搬送船 (尾道西消防署) 消防ポンプ自動車 (北出張所) 調査広報車 (尾道西消防署)			
		3 令和元年度 高規格救急自動車2台 (尾道西消防署・向島分署)			
					
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	62,355	98,380	78,244	90,407	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	9,601
	地方債	58,800	93,100	74,000	76,300
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,555	5,280	4,244	4,506
(3) 今後の方針等					
老朽化した車両を、消防車両等整備更新計画に基づき整備することで、消防力の充実強化を図ります。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	消防庁舎整備事業		担当課	消防局総務課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 9 消防費	項 1 消防費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	老朽化した庁舎を、安全で質の高い職場環境に整備するため、各種災害に的確に対応する消防防災拠点施設として、庁舎の建替え及び改修工事を行います。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果													
<p>【全体計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>因島消防署建設</td> <td>平成28年度</td> </tr> <tr> <td>因島消防署瀬戸田分署建設</td> <td>平成29年度</td> </tr> <tr> <td>尾道消防署向島分署建設</td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>尾道消防署御調分署改修</td> <td>令和2～3年度</td> </tr> <tr> <td>尾道消防署北出張所改修</td> <td>令和3年度以降</td> </tr> </table> <p>【令和2年度】</p> <p>尾道消防署御調分署改修工事 老朽化した庁舎を、安全で質の高い職場環境に整備するため、各種災害に的確に対応する消防防災拠点として、庁舎の改修工事を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仮眠室の個室化</li> <li>○バス・トイレの改修</li> <li>○空調設備</li> </ul>		因島消防署建設	平成28年度	因島消防署瀬戸田分署建設	平成29年度	尾道消防署向島分署建設	平成30年度	尾道消防署御調分署改修	令和2～3年度	尾道消防署北出張所改修	令和3年度以降	<p>平成28年度：因島消防署 庁舎完成運用開始</p> <p>平成29年度：因島消防署瀬戸田分署 庁舎完成運用開始</p> <p>平成30年度：尾道消防署向島分署 庁舎完成運用開始 旧向島分署の解体撤去工事について契約締結しました。 御調分署及び北出張所の庁舎改修の基本・実施設計を行いました。</p> <p>令和元年度：平成30年度からの繰越事業として旧向島分署の解体撤去工事を実施しました。 旧向島分署跡地について、調査測量登記を実施しました。</p>			
因島消防署建設	平成28年度														
因島消防署瀬戸田分署建設	平成29年度														
尾道消防署向島分署建設	平成30年度														
尾道消防署御調分署改修	令和2～3年度														
尾道消防署北出張所改修	令和3年度以降														
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額											
事業費 (千円)	515,691	34,800	0	46,259											
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0										
	地方債	465,700	2,600	0	43,900										
	その他	0	0	0	0										
	一般財源	49,991	32,200	0	2,359										
(3) 今後の方針等															
尾道消防署御調分署の改修工事を平成2～3年度で実施することとし、令和3年度に尾道消防署北出張所の改修工事を行う予定としています。															

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	多機能型住宅用火災警報器設置事業		担当課	消防局予防課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 9 消防費	項 1 消防費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	本事業は、消火活動が困難で延焼の恐れが高い住宅密集地における単身高齢者世帯等に対して、火災予防と火災被害の軽減を目的に「多機能型住宅用火災警報器」を設置して、火災の早期発見、早期避難及び延焼拡大を防ぐものです。（平成30年度から3年計画）
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>1 平成30年度から3年計画で消防局の指定した消火活動が困難である住宅密集地域に住まわれている75歳以上の単身世帯等を対象に、多機能型住宅用火災警報器の設置をするものです。</p> <p>2 事業期間 平成30年度～令和2年度</p> <p>3 対象世帯数 約900世帯</p> <p>4 全体事業費 約1,700万円</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>1 実施地域 東久保町・西久保町・正徳町・吉和西元町・東元町・吉浦町・日比崎町</p> <p>2 対象世帯数 約300世帯</p> <p>3 事業費 700万円</p>		<p>【事業実績】</p> <p>1 平成30年度</p> <p>(1) 実施地域 久保一丁目～三丁目・十四日元町・土堂一丁目～二丁目・東御所町・西御所町・天満町</p> <p>(2) 設置世帯数 153世帯</p> <p>(3) 事業費 322万円</p> <p>2 令和元年度</p> <p>(1) 実施地域 尾崎本町・長江一丁目～二丁目・西土堂町・東土堂町・三軒家町・栗原東一丁目・因島土生町（塩浜）</p> <p>(2) 設置世帯数 222世帯</p> <p>(3) 事業費 464万円</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	4,200	5,300	7,000	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	4,200	5,300	7,000
(3) 今後の方針等					
3年計画での本事業は完了となりますが、消火活動が困難と認められ、大規模火災被害の恐れがある密集地域での火災の延焼の早期発見、早期通報、初期消火につながる事業を研究していきます。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	消防通信指令体制整備事業 (通信指令システム改修)		担当課	消防局通信指令課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 9 消防費	項 1 消防費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	平成25年度に三原市との通信指令共同化に伴う整備・改修を行った消防通信指令システムについて、老朽化した機器を最新のものに更新することにより、合併地域を含めた広域的な消防体制の充実強化を図り、合併後の市域の安全・安心なまちづくりを推進し、均衡ある発展に資するものです。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】 尾道市・三原市消防指令センター運用開始: 平成26年4月 中間更新:運用開始後5～7年後 全面更新:運用開始後10～12年後</p> <p>【令和2年度計画】 通信指令システム中間更新 通信指令システムは、機器の導入から6年以上経過し更新時期がきていることから、通信指令システムの機能を維持するため、部品の供給がなくなり保守管理が困難となる機器を中心に更新します。</p>		<p>平成26年度：尾道市・三原市通信指令共同化 平成28年度：デジタル無線整備 平成30年度：多目的表示盤更新・NET119導入 令和元年度：統合型位置情報通知装置更新 署所端末装置(尾道市)更新 航空写真導入</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	0	6,480	30,000	267,300	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	6,666	0
	地方債	0	0	0	145,300
	その他	0	2,903	5,974	114,306
	一般財源	0	3,577	17,360	7,694
(3) 今後の方針等					
令和2年度に通信指令システムの間接更新実施後は、全面更新に向けて調査・研究を進めていきます。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	消防団施設整備事業		担当課	消防局警防課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 9 消防費	項 1 消防費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	消防団器具庫等、消防団の活動拠点となる施設を整備します。 ・消防団器具庫（新耐震基準を充たしていない、老朽化が激しい、待機場所がない、トイレがない等） ・消防団車両等（耐用年数を経過したもの） ・個人装備品等の充実強化
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<b>【令和2年度計画】</b> 1 消防団器具庫建設工事 (1) 高見分団第2・3部合同器具庫 (2) 土生分団第1・2・3部合同器具庫 (3) 原田分団第1・2・4部合同器具庫  2 消防団器具庫実施設計・地質調査等 (1) 高須分団第1・5部合同器具庫 (2) 向島中央西分団第1・3部合同器具庫 (3) 綾目分団第1・2部合同器具庫  3 消防団器具庫用地造成工事等 (1) 原田分団第1・2・4部合同器具庫  4 小型動力ポンプ付積載車整備事業 (1) 山波分団第2部 (2) 百島分団第2部 (3) 栗原分団第1部 (4) 木頃分団第3部 (5) 木ノ庄東分団第2部 (6) 向東分団第2部  5 消防団安全装備 消防団員用雨合羽		<b>【平成29年度実績】</b> 1 消防団器具庫建設工事 (1) 吉和分団第3・4・5部合同器具庫 (2) 浦崎分団第1部器具庫 (3) 長江分団第1・2部合同器具庫 2 小型動力ポンプ付積載車整備事業 6台（普通車6台） 3 消防団安全装備 新基準活動服（冬用）  <b>【平成30年度実績】</b> 1 消防団器具庫実施設計 (1) 瀬戸田北分団第1・2部合同器具庫 (2) 日比崎分団第2・3部合同器具庫 2 小型動力ポンプ付積載車整備事業 6台（普通車5台 軽自動車1台） 3 消防団安全装備 新基準活動服（夏用）  <b>【令和元年度実績】</b> 1 消防団器具庫建設工事 (1) 瀬戸田北分団第1・2部合同器具庫 (2) 日比崎分団第2・3部合同器具庫 2 小型動力ポンプ付積載車整備事業 (1) 浦崎分団第5部（軽自動車） (2) 日比崎分団第3部 (3) 中庄分団第1部 (4) 重井分団第2部 (5) 吉和分団第3部（軽自動車） (6) 原田分団第4部 3 消防団安全装備 ヘッドランプ			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	175,531	176,560	147,032	211,067	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	155,500	138,000	109,200	181,200
	その他	0	0	0	0
	一般財源	20,031	38,560	37,832	29,867
(3) 今後の方針等					
消防団器具庫及び消防団車両等の施設整備を計画的に行い、消防団の個人装備等の充実強化を図ります。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	長者原スポーツセンター耐震改修事業		担当課	生涯学習課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 10 教育費	項 8 保健体育費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	長者原スポーツセンターは、「尾道市地域防災計画」で指定避難所（収容人員700人）に指定される施設であるため、地震時に崩落の危険性のある吊天井を撤去し、安全なスポーツ施設・防災拠点施設となるよう改修を行います。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>国土交通省が建築基準法施行令等の改正により制定された吊天井に関する技術基準（平成26年4月施行）を順守するため、吊天井を撤去することにより耐震対策の実現、及び照明のLED化により設備の長寿命化を図ります。</p> <p>完成時期：令和2年度末予定                  建物延床：3,047.06㎡                  建物構造：RC造                  事業規模：アリーナ部（約1,092㎡）の吊天井の撤去並びにLED照明設置</p> <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震対策工事及び照明LED化工事（145,000千円）</li> <li>耐震改修工事監理業務委託（8,200千円）</li> </ul>		<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長者原スポーツセンター非構造部材等耐震対策工事（設計業務委託）（3,348千円）</li> </ul>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	3,500	0	153,200	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	3,500	0	153,200
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
(3) 今後の方針等					
耐震対策工事を実施し、安全なスポーツ施設・災害拠点施設として改修することにより、今後も利用者の拡大に努めていきます。					

令和2年度 主要事業シート

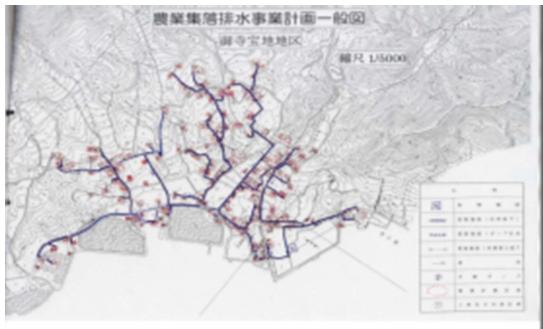
1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	農業集落排水施設長寿命化事業		担当課	瀬戸田支所しまおこし課
会計・款項	会計 32 農業集落排水事業特別会計	款 1 農業集落排水費	項 1 事業費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	農業集落環境の改善を図るため排水施設の整備を行い、平成8年度から供用開始をしました。老朽化した機械設備の交換を計画的に行い、処理施設の長寿命化を促進します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																											
<p>【事業概要】</p> <p>○瀬戸田町御寺宝地地区</p> <p>供用開始日 平成8年11月1日</p> <p>排水区域面積 16.1ha</p> <p>計画人口 790人</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>排水処理施設内の対象機械設備交換・改修</p>	 <p>1 各年度末の人口普及率等の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政区域内人口(市全域) A</td> <td>140,381</td> <td>138,396</td> <td>136,851</td> </tr> <tr> <td>処理区域内人口 B</td> <td>453</td> <td>436</td> <td>433</td> </tr> <tr> <td>水洗便所設置済人口 C</td> <td>415</td> <td>401</td> <td>394</td> </tr> <tr> <td>人口普及率 B/A</td> <td>0.3%</td> <td>0.3%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>水洗化率 C/B</td> <td>91.6%</td> <td>92.0%</td> <td>91.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 長寿命化対策</p> <p>平成26年度 機能診断業務</p> <p>平成27年度 最適整備構想策定</p> <p>平成30年度 機能強化工事概要書作成業務</p>		H28	H29	H30	行政区域内人口(市全域) A	140,381	138,396	136,851	処理区域内人口 B	453	436	433	水洗便所設置済人口 C	415	401	394	人口普及率 B/A	0.3%	0.3%	0.3%	水洗化率 C/B	91.6%	92.0%	91.0%			
	H28	H29	H30																									
行政区域内人口(市全域) A	140,381	138,396	136,851																									
処理区域内人口 B	453	436	433																									
水洗便所設置済人口 C	415	401	394																									
人口普及率 B/A	0.3%	0.3%	0.3%																									
水洗化率 C/B	91.6%	92.0%	91.0%																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(千円)</td> <td>0</td> <td>4,500</td> <td>0</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>2,925</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>1,575</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費(千円)	0	4,500	0	10,000	財源 (千円)	国県支出金	0	2,925	0	地方債	0	0	0	その他	0	1,575	0	一般財源	0	0	0	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																								
事業費(千円)	0	4,500	0	10,000																								
財源 (千円)	国県支出金	0	2,925	0																								
	地方債	0	0	0																								
	その他	0	1,575	0																								
	一般財源	0	0	0																								
(3) 今後の方針等	<p>供用開始して23年が経過し、施設設備や機器の発錆腐食などの経年劣化、耐用年数超過により機能が低下してきています。その為、施設の長寿命化を図るため、平成26年度からストックマネジメント、機能診断業務に取り組み、平成30年度には農山漁村整備交付金を活用し、交換対象となる設備機器の選定を行い農業集落排水施設機能強化工事概要書を作成しました。令和2年度からは、国庫補助事業を活用し、概要書に基づいた計画的な機能強化工事(改修・設備更新)を実施していきます。</p>																											

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 **継続** 】

事業名	水道事業	担当部署	上下水道局水道工務課、浄水課
会計	会計 水道事業会計（資本的収支）		
事業実施の根拠となる計画	尾道市水道事業ビジョン		

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	大正14年4月に給水を開始し、90余年が経過しています。水資源に恵まれない本市は、近隣市町村との合併や市勢の発展による水需要の増加に対応するため、水源確保や水道施設の拡充等、13次にわたる拡張事業を行い、水不足の解消や施設整備に努めてきました。この間、自己水源中心の事業経営から県用水中心の事業経営へ転換し、より安定的で健全な事業経営を目指しています。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
1	アセットマネジメント（うち、管路更新） 水道拡張期（昭和30～50年代）の施設が多く、効率的かつ効果的な更新を行います。 管路更新延長：14.2km	1	アセットマネジメント（うち、管路更新） 平成29年度：15.0km 平成30年度：14.3km 令和元年度：15.6km（当初予算）		
2	アセットマネジメント（うち、施設更新） 近年、西藤町で小規模な住宅団地開発が続いており、水需要の増加に対応するため、老朽化した阿草調整池を更新・規模拡大するものです。 築造工事（配水池・配管） 築造工事（電気機械設備）	2	アセットマネジメント（うち、施設更新） 平成29年度：用地測量 平成30年度：調整池測量・地質調査・築造設計 鑑定評価及び用地買収 令和元年度：阿草配水池築造工事（造成）		
3	久山田水源池堰堤耐震診断検討業務委託 大正14年竣工の堰堤について耐震診断を行い、施設の安全性を確認するものです。 耐震診断検討業務	3	久山田水源池堰堤耐震診断検討業務委託 【新規事業】		
4	上下水道局長江庁舎エレベーター設置工事 障害者差別解消法に基づき、障害者に配慮した庁舎整備を行うものです。 設置工事及び監理業務委託	4	上下水道局長江庁舎エレベーター設置工事 令和元年度：設計業務及び地質調査		
資本的収支予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	1,692,371	1,581,656	1,622,163	1,761,483	
財源 （千円）	国県支出金	126,636	121,148	101,715	105,182
	地方債	200,000	200,000	200,000	200,000
	その他	118,187	127,845	130,094	127,150
	自己財源	1,247,548	1,132,663	1,190,354	1,329,151
(3) 今後の方針等					
<p>水道事業は、快適な市民生活や市勢の発展に資するため、将来にわたって、安全な水道を供給する使命があります。</p> <p>このため、アセットマネジメントによる施設更新等の着実な実施、今後の施設の更新需要増加に対応できる職員数の確保や技術力の向上、技術継承を図ります。</p>					

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	下水道事業（公共下水道）	担当部署	上下水道局下水道課
会計・款項	会計 下水道事業会計（資本的収支）		
事業実施の根拠となる計画	尾道市公共下水道事業計画		

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	<p>昭和57年度に公共下水道の整備に着手しています。 平成30年度は、公共下水道全体計画の都市計画決定区域を縮小し効率的な汚水処理ができるよう事業展開を行っています。 雨水対策として、高西東新涯ポンプ場の建設工事を実施しています。 また、既存の施設の改築・更新・修繕のためのストックマネジメント計画の策定に着手しています。</p>
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）	(2) これまでの事業実績・成果																											
<p>1 管渠築造工事・設計(汚水整備) 未整備区域での管渠築造工事を行います。 東新涯地区・天満地区・久保二丁目地区 東尾道地区 未整備地区での管渠設計を行います。 栗原北地区・栗原地区</p> <p>2 ポンプ場・雨水管整備工事・設計 ポンプ場整備工事 高西東新涯ポンプ場 雨水管渠整備工事 十四日元町地区 ポンプ場業務委託 高西東新涯雨水渠（遊水池）基本設計 栗原ポンプ場概略設計</p> <p>3 スtockマネジメント策定 下水道施設の老朽化の進展状況を考慮した施設の管理計画を策定します。 管渠、ポンプ場、処理場調査</p> <p>4 処理区域内の水洗化率 処理区域内の水洗化率の向上を図ります。</p>	<p>1 管渠築造工事・設計 管渠築造工事 東新涯地区・天満地区 山波地区・竜王台地区 管渠設計 新浜・天満地区</p> <p>2 ポンプ場・雨水管整備工事・設計 高西東新涯ポンプ場整備工事 令和2年度完成予定 平成23年度：公共下水道事業計画区域に追加 平成24・25年度：設計業務 平成26～29年度：土木(基礎)工事 平成30年度：土木(基礎)・建築・機械・電気・仮設ポンプ工事 令和元年度：建築・機械・電気・仮設ポンプ・土木工事 雨水管渠整備 黒崎水路整備</p> <p>3 スtockマネジメント策定 処理場、ポンプ場（4箇所）、管渠、マンホールポンプ（3箇所）について、老朽度調査やリスク評価を行い、基本計画を策定しました。</p> <p>4 処理区域内の水洗化率 (単位：人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政区内人口 A</td> <td>140,381</td> <td>138,396</td> <td>136,851</td> </tr> <tr> <td>処理区域内人口 B</td> <td>17,353</td> <td>17,621</td> <td>18,732</td> </tr> <tr> <td>水洗便所設置済人口 C</td> <td>9,980</td> <td>13,437</td> <td>13,767</td> </tr> <tr> <td>人口普及率 B/A</td> <td>12.4</td> <td>12.7</td> <td>13.7</td> </tr> <tr> <td>水洗化率 C/B</td> <td>57.5</td> <td>76.3</td> <td>73.5</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	行政区内人口 A	140,381	138,396	136,851	処理区域内人口 B	17,353	17,621	18,732	水洗便所設置済人口 C	9,980	13,437	13,767	人口普及率 B/A	12.4	12.7	13.7	水洗化率 C/B	57.5	76.3	73.5			
	H28	H29	H30																									
行政区内人口 A	140,381	138,396	136,851																									
処理区域内人口 B	17,353	17,621	18,732																									
水洗便所設置済人口 C	9,980	13,437	13,767																									
人口普及率 B/A	12.4	12.7	13.7																									
水洗化率 C/B	57.5	76.3	73.5																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的収支予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費総額（千円）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,579,595</td> <td>1,800,244</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源</td> <td>国県支出金</td> <td>—</td> <td>337,863</td> <td>365,829</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>—</td> <td>566,900</td> <td>656,300</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>—</td> <td>354,975</td> <td>404,378</td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td>—</td> <td>319,857</td> <td>373,737</td> </tr> </tbody> </table>	資本的収支予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費総額（千円）	—	—	1,579,595	1,800,244	財源	国県支出金	—	337,863	365,829	地方債	—	566,900	656,300	その他	—	354,975	404,378	自己財源	—	319,857	373,737	
資本的収支予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																								
事業費総額（千円）	—	—	1,579,595	1,800,244																								
財源	国県支出金	—	337,863	365,829																								
	地方債	—	566,900	656,300																								
	その他	—	354,975	404,378																								
	自己財源	—	319,857	373,737																								
(3) 今後の方針等	<p>令和元年度に事業計画の拡大を行い、汚水処理の未整備区域について引き続き整備を行います。 令和2年度に高西東新涯ポンプ場は完成予定。また、十四日元町地区の雨水幹線工事を実施します。 供用開始より30年以上が経過しており、各施設について今後策定するストックマネジメント計画に基づく計画的な施設更新に向けた取組を進めていきます。 ※公共下水道事業特別会計は平成31年4月1日より法適用の公営企業会計へ移行しています。</p>																											

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	下水道事業（特定環境保全公共下水道）	担当部署	上下水道局下水道課
会計・款項	会計 下水道事業会計（資本的収支）		
事業実施の根拠となる計画	尾道市特定環境保全公共下水道事業計画		

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	御調町において生活環境の改善を図るため排水施設の整備を行い、平成5年度に市処理区、平成12年度に上川辺処理区を供用開始しました。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果																									
1 管渠築造工事 未整備区域での枝線管渠築造工事を行います。 御調町市地区		1 管渠築造工事 御調町内一円																									
2 スtockマネジメント策定 下水道施設の老朽化の進展状況を考慮した施設の管理計画を策定します。 管渠及び処理場調査		2 スtockマネジメント策定 御調町中央浄化センター、御調町東部浄化センター、マンホールポンプ（28箇所）について、老朽度調査やリスク評価を行い、基本計画を策定しました。																									
3 処理区域内の水洗化率 処理区域内の水洗化率の向上を図ります。		3 処理区域内の水洗化率 (単位：人、%)																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政区域内人口 A</td> <td>140,381</td> <td>138,396</td> <td>136,851</td> </tr> <tr> <td>処理区域内人口 B</td> <td>3,725</td> <td>3,675</td> <td>3,635</td> </tr> <tr> <td>水洗便所設置済人口 C</td> <td>3,372</td> <td>3,345</td> <td>3,324</td> </tr> <tr> <td>人口普及率 B/A</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>水洗化率 C/B</td> <td>90.5</td> <td>91.0</td> <td>91.4</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	行政区域内人口 A	140,381	138,396	136,851	処理区域内人口 B	3,725	3,675	3,635	水洗便所設置済人口 C	3,372	3,345	3,324	人口普及率 B/A	2.7	2.7	2.7	水洗化率 C/B	90.5	91.0	91.4	
	H28	H29	H30																								
行政区域内人口 A	140,381	138,396	136,851																								
処理区域内人口 B	3,725	3,675	3,635																								
水洗便所設置済人口 C	3,372	3,345	3,324																								
人口普及率 B/A	2.7	2.7	2.7																								
水洗化率 C/B	90.5	91.0	91.4																								
資本的収支予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																							
事業費総額（千円）	—	—	94,242	88,786																							
財源	国県支出金	—	5,735	3,046																							
	地方債	—	0	0																							
	その他	—	36,862	39,356																							
	自己財源	—	—	51,645	46,384																						
(3) 今後の方針等																											
<p>整備事業はほとんど終了しているが、一部に残る未整備区域について引き続き整備を行います。                      供用開始から20年以上が経過し、浄化センターの長寿命化の検討に入っています。今後、ストックマネジメント計画に基づく計画的な施設更新に向けた取り組みを進めていきます。                      ※特定環境保全公共下水道事業特別会計は平成31年4月1日より法適用の公営企業会計へ移行しています。</p>																											

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 **新規** ・ 継続 】

事業名	まるごと相談窓口事業		担当課	社会福祉課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	8050問題等、世帯の複合的なニーズや個人のライフステージの変化に柔軟に対応できるよう、様々な相談支援を中心とした包括的な支援体制の構築を図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>市民の方が抱える複合的課題に的確に対応するため、制度の枠におさまらない“困りごと”の相談に応じ、様々な制度や社会資源を活用し、尾道市支え合いセンター、くらしサポートセンター尾道、各種相談機関と連携しながら、地域で安心して暮らせるよう課題解決に向けた取り組みを行います。</p> <p>【運営方法】</p> <p>尾道市社会福祉協議会へ委託予定</p> <p>【相談窓口設置場所】</p> <p>尾道市総合福祉センター内へ設置予定</p>		<p>【新規事業】</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	0	0	0	10,000	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	7,500
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	2,500
(3) 今後の方針等					
当初は小規模的にスタートし、尾道市支え合いセンター・くらしサポートセンター尾道等と連携を取りながら、徐々に包括的な支援が実施できる体制づくりを構築します。					

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定事業		担当課	高齢者福祉課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	「団塊の世代」が75歳以上となる2025年を目前に控え、さらに人口減少が進み高齢者を支える現役世代が減少する中、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを構築するとともに、その仕組みを市民みんなが理解してお互いに支えあう社会づくりに向けて、引き続き高齢者が住みなれた地域で元気でいきいきと暮らせるよう「高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画」を策定します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>この計画は、老人福祉法に基づく市町村老人福祉計画と介護保険法に基づく市町村介護保険事業計画を一体的に令和3年～5年の計画として、各種施策の計画と介護保険料を算出して作成するものです。</p> <p>計画策定に当たっては、次の調査等や計画策定委員会を設置して取り組みます。</p> <p>① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (令和元年度) 要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の高齢者5,400人を抽出して郵送により記名方式で令和元年12月～1月に実施。</p> <p>② 在宅介護実態調査 (令和元年度) 要介護認定を受けている65歳以上で在宅の高齢者及びその家族を対象に、各日常生活圏域ごとに100人を目途に、認定調査員による聞き取り方式で12月～1月に実施。</p> <p>③ 事業所等ヒアリング (令和2年度) 各日常生活圏域ごとに、地域包括支援センターや介護事業所等、医療・介護・福祉の現場に関わる職員の方を対象に聞き取り調査を実施予定。 更に、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム等の居住系施設を対象に聞き取り調査を実施予定。</p> <p>④ 「高齢者福祉・介護保険事業運営委員会」の設置・開催 (5回程度) (令和2年度) 各種調査やヒアリングを基に計画素案を作成し、専門職に市民代表を加えた委員20名で組織された委員会に諮問します。</p> <p>⑤ パブリック・コメント (令和2年度)</p> <p>⑥ 計画書及び概要版の印刷・配布 (令和2年度) 各1,000部</p>		<p>【継続事業】 ※3年ごとに実施</p> <p>第1期 平成12年～14年 (保険料基準月額 3,075円) 介護保険サービスの開始</p> <p>第2期 平成15年～17年 (3,330円) 在宅介護力の強化 (ケアマネジャーの資質向上)</p> <p>第3期 平成18年～20年 (4,153円) 介護予防システムの構築 (要支援1・2区分、予防給付、地域支援事業の創設) 高齢者の尊厳を考えたケアの確立 地域密着型サービスの創設</p> <p>第4期 平成21年～23年 (4,535円) 介護予防、健康づくりの推進 介護給付の適正化 (要介護認定やケアマネジメント等の適正化) 地域包括支援センターを核とした地域福祉との連携</p> <p>第5期 平成24年～26年 (5,385円) 地域包括ケアの推進 24時間対応定期巡回・随時対応型サービスや複合型サービスの創設</p> <p>第6期 平成27年～29年 (5,998円) 介護保険事業計画を地域包括ケア計画と位置づけ、地域包括ケアシステムの構築を推進 要支援者へのサービスを新しい総合事業に移行し、地域支援事業を改変 認知症初期集中支援チームを設置し、認知症高齢者への相談支援を強化</p> <p>第7期 平成30年～令和2年 (5,998円) 地域包括ケアシステムの深化 介護予防・重度化予防と健康づくりの推進 安心して暮らすための環境づくり 高齢者のいきがいづくり 介護保険サービス提供体制の充実</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	5,451	0	0	5,253	
財源 (千円)	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,451	0	0	5,253
(3) 今後の方針等					
<p>平成27年度からの10年間を「おのみち寝たきり Onomichi (ゼロの道)」と称して、可能な限り住みなれた地域で生活が続けられるよう取り組んでいるホップ・ステップ・ジャンプの最終期間となるため、2025年以降の諸課題に対応できるようしっかり準備を進めます。</p>					

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	尾道子育て応援スタイル 子育て世代包括支援センター “ぼかぼか★”	担当課	子育て支援課 健康推進課 御調保健福祉センター
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 2 児童福祉費 ほか
事業実施の根拠となる計画	尾道市子ども・子育て支援事業計画 第二次健康おのみち2 1見直し計画		

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	母子保健と子育て支援のサービスをワンストップで提供する拠点ぼかぼか★を市内全域に設置し、妊娠期から出産、子育て期の相談援助を母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターが一貫して行い、全ての子育て家庭が不安なく子育てができるように総合的な支援を実施します。また、産婦健康診査、産後ケア事業、子育て教室などに取り組み、切れ目のない支援体制の構築を目指します。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																																																									
<p>1 ワンストップサービス拠点の充実 母子保健コーディネーターと子育て支援コーディネーターを配置して、市内7か所で専門職による相談・支援を実施します。 ぼかぼか★ (健康推進課：総合福祉センター内)を第4日曜日に開所し母子健康手帳の交付を行います。</p> <p>2 産前から産後早期の子育て支援の強化 産前期から産後4か月までのサポートを充実させ、出産直前の不安を軽減するため、日曜日に助産師・保健師によるパパママ準備講座 (仮称) を新設します。 また、里帰り出産の妊産婦に対し、産後早期に電話で相談や情報提供を行うことで必要な時に支援につなげていきます。</p> <p>3 産婦健康診査 産後2回の健診で、出産後の心身の不調を早期に発見して支援に繋ぐことで、産後うつ予防や、乳児への虐待予防等を図ります。また、要フォロー者支援のために、医療機関や関係機関との連携を継続的に実施します。</p> <p>4 産後ケア事業、産前・産後サポート事業利用料助成 子育てに不安があり家族等から十分な支援が受けられない産婦・乳児に、心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援を実施します。</p> <p>5 おのべぎギフト事業 ぼかぼか★やぼかぼか★サテライトで、9か月の乳児と保護者に面談して、子育てに関する相談に応じ、知育玩具等のプレゼントを手渡します。</p>	<p>1 ワンストップサービス拠点の充実 市内7か所のぼかぼか★に、母子保健・子育て支援コーディネーターをセットで配置しました。 (単位：か所数、件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元(12月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拠点数</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>9,927</td> <td>11,900</td> <td>9,491</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【3課共同実施】</p> <p>2 産婦健康診査 (単位：人、回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元(12月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診実人数</td> <td>615</td> <td>740</td> <td>503</td> </tr> <tr> <td>受診延回数</td> <td>1,060</td> <td>1,254</td> <td>845</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【健康推進課実施】</p> <p>3 産後ケア事業、産前・産後サポート事業利用料助成の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H30 R元(12月末)</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産後ケア (宿泊型)</td> <td>0</td> <td>3人(20日)</td> </tr> <tr> <td>産後ケア (日帰り型)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>産後ケア (訪問型)</td> <td>4人(8回)</td> <td>3人(8回)</td> </tr> <tr> <td>産前・産後サポート事業利用料助成</td> <td>8人(43回)</td> <td>7人(67回)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【健康推進課実施】</p> <p>4 おのべぎギフト事業 (単位：人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元(12月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象児数</td> <td>877</td> <td>790</td> <td>538</td> </tr> <tr> <td>面談実施児数</td> <td>569</td> <td>691</td> <td>491</td> </tr> <tr> <td>実施率</td> <td>64.9</td> <td>87.5</td> <td>91.3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【3課共同実施】</p>	区分	H29	H30	R元(12月末)	拠点数	6	6	7	相談件数	9,927	11,900	9,491	区分	H29	H30	R元(12月末)	受診実人数	615	740	503	受診延回数	1,060	1,254	845	区分	H30 R元(12月末)		利用者数	利用者数	産後ケア (宿泊型)	0	3人(20日)	産後ケア (日帰り型)	0	0	産後ケア (訪問型)	4人(8回)	3人(8回)	産前・産後サポート事業利用料助成	8人(43回)	7人(67回)	区分	H29	H30	R元(12月末)	対象児数	877	790	538	面談実施児数	569	691	491	実施率	64.9	87.5	91.3
区分	H29	H30	R元(12月末)																																																							
拠点数	6	6	7																																																							
相談件数	9,927	11,900	9,491																																																							
区分	H29	H30	R元(12月末)																																																							
受診実人数	615	740	503																																																							
受診延回数	1,060	1,254	845																																																							
区分	H30 R元(12月末)																																																									
	利用者数	利用者数																																																								
産後ケア (宿泊型)	0	3人(20日)																																																								
産後ケア (日帰り型)	0	0																																																								
産後ケア (訪問型)	4人(8回)	3人(8回)																																																								
産前・産後サポート事業利用料助成	8人(43回)	7人(67回)																																																								
区分	H29	H30	R元(12月末)																																																							
対象児数	877	790	538																																																							
面談実施児数	569	691	491																																																							
実施率	64.9	87.5	91.3																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>27,874</td> <td>27,583</td> <td>29,514</td> <td>28,373</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>21,143</td> <td>21,934</td> <td>23,930</td> <td>22,964</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,731</td> <td>5,649</td> <td>5,584</td> <td>5,409</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	27,874	27,583	29,514	28,373	財源 (千円)	国県支出金	21,143	21,934	23,930	22,964	地方債	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	一般財源	6,731	5,649	5,584	5,409																											
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																																						
事業費 (千円)	27,874	27,583	29,514	28,373																																																						
財源 (千円)	国県支出金	21,143	21,934	23,930	22,964																																																					
	地方債	0	0	0	0																																																					
	その他	0	0	0	0																																																					
	一般財源	6,731	5,649	5,584	5,409																																																					
(3) 今後の方針等	<p>更なる来所促進のため、ぼかぼか★及びぼかぼか★サテライトで子育て講座や家庭教育支援講座、保育所等の入所説明会を実施し、地域の身近な子育て相談窓口としての認知度向上を目指します。 また、妊娠期から産後4か月までの最も出産・育児の負担感が強い時期の支援を強化し、関係機関との情報共有や対応の一元化により、早期に適切な育児支援をすることで児童虐待の予防を図ります。</p>																																																									

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 継続 】

事業名	放課後児童クラブ運営事業		担当課	子育て支援課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市子ども・子育て支援事業計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全育成を目的に、小学校の余裕教室や公民館、民間の賃借物件の他に専用建物に居室を整備するとともに、放課後児童クラブ支援員を配置して、自主学習活動、レクリエーション、集団あそび等により児童が健やかに成長していけるよう見守りや援助に努めています。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果																																																																																																																																											
<p>【全体計画】</p> <p>平成27年度より、尾道市子ども・子育て支援事業計画に基づき、受入対象児童を3年生から6年生までに広げ、量的に拡大するとともに、質の向上を図るため専門家による支援員への指導、研修を実施しています。児童の健全育成の場としての放課後児童クラブをさらに安心・安全なものとし、希望する全ての子どもが利用できるよう新規開設を含め、施設整備を進めてまいります。</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>1 公設公営の11クラブ（山波、久保、長江、土堂、栗原、栗原北、三成第1、西藤、浦崎、向島中央、向東）を公設民営へ変更し、全てのクラブの運営を民間委託とする。</p>					<p>【R元年度開設状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>クラブ名</th> <th>開設場所</th> <th>運営</th> <th>定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>吉和放課後児童クラブ</td><td>旧吉和幼稚園</td><td>民</td><td>90</td></tr> <tr><td>2</td><td>栗原放課後児童クラブ</td><td>栗原小学校 北校舎1階</td><td>公</td><td>135</td></tr> <tr><td>3</td><td>栗原北放課後児童クラブ</td><td>栗原北小学校 1階</td><td>公</td><td>45</td></tr> <tr><td>4</td><td>山波放課後児童クラブ</td><td>山波小学校 北校舎1階</td><td>公</td><td>45</td></tr> <tr><td>5</td><td>久保放課後児童クラブ</td><td>久保小学校 体育館1階</td><td>公</td><td>45</td></tr> <tr><td>6</td><td>日比崎第1放課後児童クラブ</td><td>平平台コミュニティセンター</td><td>民</td><td>45</td></tr> <tr><td>7</td><td>日比崎第2放課後児童クラブ</td><td>栗原西一丁目4-38</td><td>民</td><td>45</td></tr> <tr><td>8</td><td>日比崎第3放課後児童クラブ</td><td>日比崎小学校 新館2階</td><td>民</td><td>40</td></tr> <tr><td>9</td><td>三成放課後児童クラブ</td><td>三成小学校 1階</td><td>公</td><td>40</td></tr> <tr><td>10</td><td>三成第2放課後児童クラブ</td><td>美ノ郷町三成1185-1</td><td>民</td><td>40</td></tr> <tr><td>11</td><td>土堂放課後児童クラブ</td><td>東御所町3-24</td><td>公</td><td>40</td></tr> <tr><td>12</td><td>長江放課後児童クラブ</td><td>長江小学校 1階</td><td>公</td><td>40</td></tr> <tr><td>13</td><td>高須放課後児童クラブ</td><td>バイタウン尾道組合会館内</td><td>民</td><td>130</td></tr> <tr><td>14</td><td>高須第2放課後児童クラブ</td><td>東部公民館高須南分館内</td><td>民</td><td>40</td></tr> <tr><td>15</td><td>西藤放課後児童クラブ</td><td>割石ふれあい館内</td><td>公</td><td>25</td></tr> <tr><td>16</td><td>御調中央第1放課後児童クラブ</td><td>市公民館 2階</td><td>民</td><td>45</td></tr> <tr><td>17</td><td>御調中央第2放課後児童クラブ</td><td>御調文化会館 2階</td><td>民</td><td>40</td></tr> <tr><td>18</td><td>美木原放課後児童クラブ</td><td>美木原小学校敷地内</td><td>民</td><td>40</td></tr> <tr><td>19</td><td>向島中央放課後児童クラブ</td><td>向島中央小学校 1階</td><td>公</td><td>135</td></tr> <tr><td>20</td><td>向東放課後児童クラブ</td><td>向東小学校 南校舎2階</td><td>公</td><td>85</td></tr> <tr><td>21</td><td>浦崎放課後児童クラブ</td><td>浦崎小学校 1階</td><td>公</td><td>40</td></tr> <tr><td>22</td><td>因島南放課後児童クラブ</td><td>因島南小学校隣接</td><td>民</td><td>135</td></tr> <tr><td>23</td><td>因北放課後児童クラブ</td><td>因北小学校 1階</td><td>民</td><td>45</td></tr> <tr><td>24</td><td>重井放課後児童クラブ</td><td>重井小学校 1階</td><td>民</td><td>45</td></tr> <tr><td>25</td><td>瀬戸田放課後児童クラブ</td><td>瀬戸田市民会館 1階</td><td>民</td><td>45</td></tr> <tr><td>26</td><td>御調西放課後児童クラブ</td><td>河内公民館 2階</td><td>民</td><td>20</td></tr> </tbody> </table> <p>※【公】⇒公営 【民】⇒民営</p>						クラブ名	開設場所	運営	定員	1	吉和放課後児童クラブ	旧吉和幼稚園	民	90	2	栗原放課後児童クラブ	栗原小学校 北校舎1階	公	135	3	栗原北放課後児童クラブ	栗原北小学校 1階	公	45	4	山波放課後児童クラブ	山波小学校 北校舎1階	公	45	5	久保放課後児童クラブ	久保小学校 体育館1階	公	45	6	日比崎第1放課後児童クラブ	平平台コミュニティセンター	民	45	7	日比崎第2放課後児童クラブ	栗原西一丁目4-38	民	45	8	日比崎第3放課後児童クラブ	日比崎小学校 新館2階	民	40	9	三成放課後児童クラブ	三成小学校 1階	公	40	10	三成第2放課後児童クラブ	美ノ郷町三成1185-1	民	40	11	土堂放課後児童クラブ	東御所町3-24	公	40	12	長江放課後児童クラブ	長江小学校 1階	公	40	13	高須放課後児童クラブ	バイタウン尾道組合会館内	民	130	14	高須第2放課後児童クラブ	東部公民館高須南分館内	民	40	15	西藤放課後児童クラブ	割石ふれあい館内	公	25	16	御調中央第1放課後児童クラブ	市公民館 2階	民	45	17	御調中央第2放課後児童クラブ	御調文化会館 2階	民	40	18	美木原放課後児童クラブ	美木原小学校敷地内	民	40	19	向島中央放課後児童クラブ	向島中央小学校 1階	公	135	20	向東放課後児童クラブ	向東小学校 南校舎2階	公	85	21	浦崎放課後児童クラブ	浦崎小学校 1階	公	40	22	因島南放課後児童クラブ	因島南小学校隣接	民	135	23	因北放課後児童クラブ	因北小学校 1階	民	45	24	重井放課後児童クラブ	重井小学校 1階	民	45	25	瀬戸田放課後児童クラブ	瀬戸田市民会館 1階	民	45	26	御調西放課後児童クラブ	河内公民館 2階	民	20
	クラブ名	開設場所	運営	定員																																																																																																																																												
1	吉和放課後児童クラブ	旧吉和幼稚園	民	90																																																																																																																																												
2	栗原放課後児童クラブ	栗原小学校 北校舎1階	公	135																																																																																																																																												
3	栗原北放課後児童クラブ	栗原北小学校 1階	公	45																																																																																																																																												
4	山波放課後児童クラブ	山波小学校 北校舎1階	公	45																																																																																																																																												
5	久保放課後児童クラブ	久保小学校 体育館1階	公	45																																																																																																																																												
6	日比崎第1放課後児童クラブ	平平台コミュニティセンター	民	45																																																																																																																																												
7	日比崎第2放課後児童クラブ	栗原西一丁目4-38	民	45																																																																																																																																												
8	日比崎第3放課後児童クラブ	日比崎小学校 新館2階	民	40																																																																																																																																												
9	三成放課後児童クラブ	三成小学校 1階	公	40																																																																																																																																												
10	三成第2放課後児童クラブ	美ノ郷町三成1185-1	民	40																																																																																																																																												
11	土堂放課後児童クラブ	東御所町3-24	公	40																																																																																																																																												
12	長江放課後児童クラブ	長江小学校 1階	公	40																																																																																																																																												
13	高須放課後児童クラブ	バイタウン尾道組合会館内	民	130																																																																																																																																												
14	高須第2放課後児童クラブ	東部公民館高須南分館内	民	40																																																																																																																																												
15	西藤放課後児童クラブ	割石ふれあい館内	公	25																																																																																																																																												
16	御調中央第1放課後児童クラブ	市公民館 2階	民	45																																																																																																																																												
17	御調中央第2放課後児童クラブ	御調文化会館 2階	民	40																																																																																																																																												
18	美木原放課後児童クラブ	美木原小学校敷地内	民	40																																																																																																																																												
19	向島中央放課後児童クラブ	向島中央小学校 1階	公	135																																																																																																																																												
20	向東放課後児童クラブ	向東小学校 南校舎2階	公	85																																																																																																																																												
21	浦崎放課後児童クラブ	浦崎小学校 1階	公	40																																																																																																																																												
22	因島南放課後児童クラブ	因島南小学校隣接	民	135																																																																																																																																												
23	因北放課後児童クラブ	因北小学校 1階	民	45																																																																																																																																												
24	重井放課後児童クラブ	重井小学校 1階	民	45																																																																																																																																												
25	瀬戸田放課後児童クラブ	瀬戸田市民会館 1階	民	45																																																																																																																																												
26	御調西放課後児童クラブ	河内公民館 2階	民	20																																																																																																																																												
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																																																																																																																												
事業費 (千円)	165,706	208,497	230,713	323,453																																																																																																																																												
財源 (千円)	国県支出金	85,008	107,742	124,950	172,154																																																																																																																																											
	地方債	0	0	0	0																																																																																																																																											
	その他	36,959	40,604	42,099	44,914																																																																																																																																											
	一般財源	43,739	60,151	63,664	106,385																																																																																																																																											
(3) 今後の方針等																																																																																																																																																
利用者のニーズ把握に努め、安心・安全な放課後の児童健全育成事業を継続的に推進します。																																																																																																																																																

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 **継続** 】

事業名	子ども医療費助成事業		担当課	子育て支援課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	子どもの医療費の一部を助成することによって、子どもの健康管理と養育する家庭の経済的負担の軽減を図ります。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p><b>【全体計画】</b> 世帯の所得にかかわらず、中学3年生までの子ども全員が医療費助成を受けることができます。</p> <p>1 助成内容 医療費（通院・入院）の保険診療の自己負担分のうち、一部負担金を除いた金額を助成します。 ○一部負担金 1日500円 ※通院は月4日まで、入院は月14日まで負担（それ以降は負担なし）</p> <p><b>【令和2年度計画】</b> 医療費の負担を気にすることなく医療機関で受診できるよう、これまでに引き続き、世帯の所得にかかわらず、中学3年生までの子ども全員の医療費を助成します。（一部自己負担あり）</p>		<p>1 実績 所得制限を撤廃し、中学3年生までの子ども全員が医療費助成の対象となりました。（平成29年10月～）</p> <p>2 受給者証交付者数 平成28年度 11,736人 平成29年度 15,326人 平成30年度 15,012人 令和元年度 14,548人（12月末時点）</p> <p>3 対象者拡大の経過 平成19年10月～ 通院：就学前まで 入院：小学校6年生まで 平成20年10月～ 通院：小学校3年生まで 入院：小学校6年生まで 平成27年4月～ 通院：小学校3年生まで 入院：中学校3年生まで 平成28年6月～ 通院：小学校6年生まで 入院：中学校3年生まで 平成29年10月～ 通院：中学校3年生まで 入院：中学校3年生まで</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	302,500	327,166	344,654	337,624	
財源 (千円)	国県支出金	68,564	69,406	74,951	68,958
	地方債	0	0	0	0
	その他	35,600	20,005	20,005	47,905
	一般財源	198,336	237,755	249,698	220,761
(3) 今後の方針等					
<p>子どもの医療費助成制度は都道府県単位で助成対象範囲が定められており、広島県においては、入院通院とも未就学児が対象（所得制限有り）で、小学1年生以降は市町独自の制度により対象範囲を定めて助成しています。本市においては、これまで助成対象を段階的に拡充してきました。今後も市独自の医療費助成を継続しながら、国や県に対して子どもの医療費制度の創設や助成対象者の拡充について、市長会を通じて要望していきます。</p>					

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	保育士確保対策事業		担当課	子育て支援課、社会福祉課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市就学前教育・保育施設再編計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	<p>保育士及び保育教諭の就労促進のため奨励金を給付し、多様な保育ニーズに対応するための人材確保を図ります。また、保育現場の見学・体験を通して現場の魅力を伝える等、就労への不安を軽減し、潜在保育士等の就労に繋がります。</p> <p>3歳未満の子どもを持つ保育士等が復職するために子どもを保育施設に預けた場合の保育料の負担を軽減し、保育料無償化による保育ニーズの増に対応するための人材確保を図ります。</p>
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																																											
<p><b>【全体計画】</b></p> <p>1 保育士就労奨励事業補助                      保育士資格を有し、市内の保育所(園)、認定こども園、地域型保育事業所、家庭保育園、児童発達支援センターに常勤保育士等として採用される人に対して、奨励金20万円を支給します。                      また、就労に際して市内から転入した場合は、転居費用を最大20万円加算給付します。                      ※公立の保育所・認定こども園の正規職員は対象外                      ※3年以上継続勤務の見込みがある場合に限りま                      す。</p> <p>2 保育現場見学・体験事業 (H30年度～)                      潜在的保育士や学生を対象に保育現場の見学ツアーを実施し、実際に現場で働くイメージを持ち、不安を解消することで就労に繋がります。                      バスツアー企画、募集等を委託します。</p> <p>3 保育士早期復職サポート助成事業 (R元年度～)                      3歳未満の子どもを持つ保育士又は保育教諭が市内私立認可保育施設に復職するために子どもを保育施設に預けた場合に保育料の一部を補助します。                      ※広島県1/2補助事業                      ※補助基準額は一人当たり30千円/月</p>	<p>1 保育士就労奨励事業補助 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>基本給付</th> <th>加算給付</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>23件</td> <td>0件</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>4,600</td> <td>0</td> <td>4,600</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>22件</td> <td>3件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>4,400</td> <td>1,200</td> <td>5,600</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R元</td> <td>19件</td> <td>2件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>3,800</td> <td>800</td> <td>4,600</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R元年度は1月末時点</p> <p>2 保育現場見学・体験事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> <th>実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>1回</td> <td>15人</td> <td>向島認定こども園</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>1回</td> <td>20人</td> <td>向東認定こども園</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R元年度は3月実施の見込み数</p> <p>3 保育士早期復職サポート助成事業 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元</td> <td>8人</td> <td>1,560</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R元年度は1月末時点</p>	区分	基本給付	加算給付	合計	H29	23件	0件	23件	4,600	0	4,600	H30	22件	3件	25件	4,400	1,200	5,600	R元	19件	2件	21件	3,800	800	4,600	区分	実施回数	参加人数	実施場所	H30	1回	15人	向島認定こども園	R元	1回	20人	向東認定こども園	区分	人数	金額	R元	8人	1,560
区分	基本給付	加算給付	合計																																									
H29	23件	0件	23件																																									
	4,600	0	4,600																																									
H30	22件	3件	25件																																									
	4,400	1,200	5,600																																									
R元	19件	2件	21件																																									
	3,800	800	4,600																																									
区分	実施回数	参加人数	実施場所																																									
H30	1回	15人	向島認定こども園																																									
R元	1回	20人	向東認定こども園																																									
区分	人数	金額																																										
R元	8人	1,560																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>4,000</td> <td>4,300</td> <td>8,900</td> <td>11,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,000</td> <td>4,300</td> <td>7,100</td> <td>8,600</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	4,000	4,300	8,900	11,300	財源 (千円)	国県支出金	0	0	1,800	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	4,000	4,300	7,100	8,600																
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																								
事業費 (千円)	4,000	4,300	8,900	11,300																																								
財源 (千円)	国県支出金	0	0	1,800																																								
	地方債	0	0	0																																								
	その他	0	0	0																																								
	一般財源	4,000	4,300	7,100	8,600																																							
(3) 今後の方針等																																												
<p>保育料無償化等による保育ニーズの増加に対応するため、引き続き保育士確保に努めます。</p>																																												

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	子どもの居場所づくり事業		担当課	子育て支援課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	生まれ育った環境に左右されることなくすべての子どもが夢と希望を持って成長することができるよう、学習機会が整わない家庭の子どもに対する学習支援事業や、地域の中で子育て世代が孤立することなく安心して生活できることに繋がる子ども食堂などの事業を支援するとともに、子どもの居場所づくりに取り組む団体等のネットワークづくりを行います。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																											
<p>1 学習支援事業 ひとり親家庭で支援が必要な子どもを対象に、学習習慣の定着や学習意欲の向上等を目的に、社会福祉課・因島福祉課と共同で実施します。 【実施内容】 尾道と因島の2会場 毎週土曜日、約50回/年、2時間/回</p> <p>2 子どもの居場所づくり事業補助 地域の中に子どもの居場所が増えることを目的に、地域の人を対象に子ども食堂などの居場所づくり事業を実施する団体に対し、開設及び運営にかかる費用を助成します。 【助成額】 開設費、運営費とも対象経費の2/3 ※上限10万円 ※開設費は初年度のみ</p> <p>3 子どもの居場所づくりネットワーク事業 子どもたちが健やかに育つ地域環境づくりのため、子ども食堂や学習支援事業に取り組む団体の連携体制を整備します。</p> <p>※社会福祉課、因島福祉課が実施する学習支援事業については、生活保護法による扶助費等の事業シートに記載しています。</p>	<p>1 学習支援事業</p> <p>(1) 平成29年度 尾道会場開始 (H29.7～) 38回/年</p> <p>(2) 平成30年度 尾道会場実施 47回/年 因島会場開始 (H30.7～) 33回/年</p> <p>(3) 令和元年度(見込み) 尾道会場実施 50回/年 因島会場実施 50回/年</p> <p>2 子どもの居場所づくり事業補助</p> <p>(1) 平成30年度 開設費 1件 運営費 1件</p> <p>(2) 令和元年度(見込み) 開設費 2件 運営費 3件</p> <p>3 子どもの居場所づくりネットワーク事業 【新規事業】</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>2,764</td> <td>4,933</td> <td>6,367</td> <td>11,452</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>2,073</td> <td>3,249</td> <td>4,249</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>691</td> <td>1,684</td> <td>2,118</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	2,764	4,933	6,367	11,452	財源 (千円)	国県支出金	2,073	3,249	4,249	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	691	1,684	2,118	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																								
事業費 (千円)	2,764	4,933	6,367	11,452																								
財源 (千円)	国県支出金	2,073	3,249	4,249																								
	地方債	0	0	0																								
	その他	0	0	0																								
	一般財源	691	1,684	2,118																								
(3) 今後の方針等																												
<p>子どもの貧困対策を総合的に推進していくためには、学習支援事業などの関係各課による必要事業の実施や連携はもちろんのこと、市と地域・支援団体・支援者との連携、さらには地域内・地域同士・支援者同士の連携が必要であることから、連携体制の基盤づくりを進めます。</p>																												

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	西藤保育所仮園舎借上		担当課	子育て支援課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	<p>西藤保育所は、「尾道市就学前教育・保育施設再編計画」により、西藤幼稚園と統合した認定こども園として整備する計画ですが、現園舎（保育室等）の一部が「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」に指定されています。</p> <p>そのため、土砂災害特別警戒区域外に、保育室等の代替として仮園舎を借上げし、安全・安心な保育環境を確保します。</p>
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>【全体計画】</p> <p>仮園舎建設方式：リース方式            仮園舎建設時期：令和2年度            仮園舎延床面積：約230㎡            仮園舎構造：軽量鉄骨造平屋建            借上予定期間：令和3～6年度            建設予定場所：西藤保育所敷地内</p> <p>【令和2年度計画】</p> <p>保育所運営の調整            仕様の確定            入札            敷地整備            仮園舎の建設</p> <p>【債務負担行為】</p> <p>事 項：西藤保育所建物借上            期 間：令和2年度から令和6年度まで            限度額：55,000千円</p>		<p>【新規事業】</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費（千円）	0	0	0	2,500	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	2,500
(3) 今後の方針等					
<p>土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）内となっている保育室等の代替として仮園舎を建設することにより、安全・安心な保育サービスを継続して行います。</p>					

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	生活保護法による扶助費等		担当課	社会福祉課、因島福祉課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 3 民生費	項 4 生活保護費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	<p>【生活保護扶助費】 憲法に規定する理念に基づき、生活に困窮する全ての人に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障し、被保護者の自立助長に努めます。</p> <p>【生活困窮者自立支援事業】生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し各種支援事業の取組を行います（委託）。</p>
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																																													
<p>1 生活保護事業 生活保護法の規定に基づき、その困窮の程度に応じて必要な保護を実施するとともに、自立の助長に努めます。</p> <p>2 自立相談支援、住宅確保給付金、家計相談支援 総合福祉センター内の暮らしサポートセンター尾道において、自立に向けたプランの作成や支援調整会議を通じた他施策との連携により包括的な支援を行います。</p> <p>3 子どもの学習支援事業 生活保護及び生活困窮世帯の子どもに対し、貧困の連鎖を防止する観点から学習習慣の定着及び学習意欲の向上を目指すとともに、子どもの居場所づくりのため、子育て支援課と共同で実施します。</p>	<p>1 生活保護法の適正実施 生活保護法を適正に実施し、平成30年度平均で、1,189世帯、1,541人（保護率1.137%）を保護し、自立の助長に努めました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護率 市</td> <td>1.137%</td> <td>1.114%(4-11月平均)</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>1.501%</td> <td>1.472%(4-11月平均)</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>1.660%</td> <td>1.640%(4-10月平均)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 自立相談支援、住宅確保給付金、家計相談支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R元(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談件数</td> <td>227件</td> <td>240件</td> </tr> <tr> <td>支援プラン作成数</td> <td>15件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>プラン作成者自立数</td> <td>5件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>住居確保給付金申請件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 子どもの学習支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R元(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尾道教室 実施回数</td> <td>47回</td> <td>50回</td> </tr> <tr> <td>延べ参加人数</td> <td>861人</td> <td>810人</td> </tr> <tr> <td>因島教室 実施回数</td> <td>33回</td> <td>50回</td> </tr> <tr> <td>延べ参加人数</td> <td>537人</td> <td>829人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※因島会場はH30.7～</p>					H30	R元	保護率 市	1.137%	1.114%(4-11月平均)	県	1.501%	1.472%(4-11月平均)	国	1.660%	1.640%(4-10月平均)		H30	R元(見込み)	新規相談件数	227件	240件	支援プラン作成数	15件	12件	プラン作成者自立数	5件	5件	住居確保給付金申請件数	0件	0件		H30	R元(見込み)	尾道教室 実施回数	47回	50回	延べ参加人数	861人	810人	因島教室 実施回数	33回	50回	延べ参加人数	537人	829人
	H30	R元																																												
保護率 市	1.137%	1.114%(4-11月平均)																																												
県	1.501%	1.472%(4-11月平均)																																												
国	1.660%	1.640%(4-10月平均)																																												
	H30	R元(見込み)																																												
新規相談件数	227件	240件																																												
支援プラン作成数	15件	12件																																												
プラン作成者自立数	5件	5件																																												
住居確保給付金申請件数	0件	0件																																												
	H30	R元(見込み)																																												
尾道教室 実施回数	47回	50回																																												
延べ参加人数	861人	810人																																												
因島教室 実施回数	33回	50回																																												
延べ参加人数	537人	829人																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>2,835,255</td> <td>2,729,300</td> <td>2,473,546</td> <td>2,256,246</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>2,173,409</td> <td>2,091,702</td> <td>1,888,510</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>661,846</td> <td>637,598</td> <td>585,036</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	2,835,255	2,729,300	2,473,546	2,256,246	財源 (千円)	国県支出金	2,173,409	2,091,702	1,888,510	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	661,846	637,598	585,036																			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																										
事業費 (千円)	2,835,255	2,729,300	2,473,546	2,256,246																																										
財源 (千円)	国県支出金	2,173,409	2,091,702	1,888,510																																										
	地方債	0	0	0																																										
	その他	0	0	0																																										
	一般財源	661,846	637,598	585,036																																										
(3) 今後の方針等																																														
<p>生活保護法の規定に基づき、その困窮の程度に応じて、必要な保護を実施するとともに、自立の助長に努めます。生活保護に至る前の段階からの早期に支援を行うことにより生活困窮状態からの早期自立が期待でき、生活困窮世帯の子どもに対し学習習慣の定着及び学習意欲の向上を図ることで貧困の連鎖を防止が期待できることから、継続して事業を実施します。</p>																																														

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	こころサポート事業等		担当課	健康推進課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	
事業実施の根拠となる計画	尾道市自殺対策推進計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	<p>「こころサポート事業」は住み慣れた地域での生活の維持、継続が困難な、精神的に生きづらさを抱えている人などに対し、保健・医療・福祉との連携のもと、アウトリーチチームでの支援により、その人が地域で生きることが出来ることを目的とします。</p> <p>「こころの体温計」は、スマートフォン等から簡単な質問に答えることで、気軽に自分や家族等のこころの状態をチェックすることが可能であるため、日常的な心の健康管理、困ったときの相談先等で活用します。</p>
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																											
<p>1 こころサポート事業委託 【事業時期】 通年</p> <p>(1) 関係事業所との委託契約により、精神保健福祉士2人(令和2年度1人増)の派遣により実施します。</p> <p>(2) 対象者 概ね18歳以上の市内に在住する市民で次に該当する者とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周囲との関係づくりや生活に困難を要し、社会医療から孤立している者 (ひきこもり含む)</li> <li>・ 精神疾患が疑われる未受診者 (困難事例等)</li> <li>・ 精神科医療の受診中断者、自殺未遂者等</li> </ul> <p>(3) 支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者及び家族への迅速な訪問・相談対応</li> <li>・ 電話による対応 (平日のみ)</li> <li>・ ケアマネジメントの技法を用いた多職種チームによる支援</li> </ul>	<p>1 こころサポート事業委託 【事業実績】 (令和元年12月末現在)</p> <p>(1) 対応者数 38人 (実人員) (うち登録者26人、登録外12人)</p> <p>(2) 対応者への支援内容 (延人員)</p> <table border="1"> <tr> <td>電話相談</td> <td>331 人</td> <td>同行受診</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>訪問相談</td> <td>242 人</td> <td>メール</td> <td>98 人</td> </tr> <tr> <td>来所相談</td> <td>49 人</td> <td>その他</td> <td>23 人</td> </tr> </table> <p>(3) 登録者の成果 (実人員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受診に繋がる 2 人</li> <li>・ 単発往・受診 2 人</li> <li>・ 就職 2 人</li> <li>・ 福祉サービス利用 1 人</li> <li>・ 退院及び社会参加 各1 人</li> </ul> <p>※上記項目には該当しないが、専門職の関わりにより、地域生活が維持できている 11 人</p>	電話相談	331 人	同行受診	17 人	訪問相談	242 人	メール	98 人	来所相談	49 人	その他	23 人															
電話相談	331 人	同行受診	17 人																									
訪問相談	242 人	メール	98 人																									
来所相談	49 人	その他	23 人																									
<p>2 こころの体温計事業委託 【事業時期】 通年</p> <p>(1) 市のホームページ掲載や、リーフレット配布、ポスター掲示等広報周知を行い、市民への利用を促します。</p> <p>(2) つぎの5種類のチェックを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 本人モード</li> <li>イ 家族モード</li> <li>ウ 赤ちゃんママモード</li> <li>エ ストレス対処タイプテスト</li> <li>オ アルコールチェック</li> </ul>	<p>2 こころの体温計事業委託 【事業実績】 (令和元年12月末現在)</p> <p>(1) 総アクセス数 20,345件 (内市民 12,304件)</p> <p>(2) モード別アクセス数 (市民分)</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 本人モード</td> <td>6,837件</td> </tr> <tr> <td>イ 家族モード</td> <td>1,691件</td> </tr> <tr> <td>ウ 赤ちゃんママモード</td> <td>547件</td> </tr> <tr> <td>エ ストレス対処タイプテスト</td> <td>1,897件</td> </tr> <tr> <td>オ アルコールチェック</td> <td>1,332件</td> </tr> </table> <p>(3) 年代別利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女とも利用者の約45%が10～30歳代で、若年層へのアプローチに繋がっています。</li> </ul>	ア 本人モード	6,837件	イ 家族モード	1,691件	ウ 赤ちゃんママモード	547件	エ ストレス対処タイプテスト	1,897件	オ アルコールチェック	1,332件																	
ア 本人モード	6,837件																											
イ 家族モード	1,691件																											
ウ 赤ちゃんママモード	547件																											
エ ストレス対処タイプテスト	1,897件																											
オ アルコールチェック	1,332件																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>0</td> <td>8,333</td> <td>8,201</td> <td>11,102</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>2,166</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>6,167</td> <td>4,101</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	0	8,333	8,201	11,102	財源 (千円)	国県支出金	0	2,166	4,100	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	0	6,167	4,101	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																								
事業費 (千円)	0	8,333	8,201	11,102																								
財源 (千円)	国県支出金	0	2,166	4,100																								
	地方債	0	0	0																								
	その他	0	0	0																								
	一般財源	0	6,167	4,101																								
(3) 今後の方針等																												
<p>こころサポート事業：精神症状やひきこもり等のケースに対し、長期的な支援による成果が出てきています。また症状の改善後も継続支援により、その後も悪化しない状態が継続できています。一方、対象者が想定していた人数よりも約2倍に増加し、十分な支援が困難となってきたことから、今後相談員の増員により体制を強化し、支援を継続していきます。</p> <p>こころの体温計事業：今後も当事業の周知により、市民自身のメンタルヘルスチェックを推進し、相談先の周知と早期相談支援を継続します。</p>																												

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	特定健康診査・特定保健指導事業		担当課	保険年金課
会計・款項	会計 12 国民健康保険事業特別会計	款 5 保健事業費	項 1 特定健康診査等事業費	
事業実施の根拠となる計画	第三期尾道市国民健康保険特定健康診査等実施計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	急速な高齢化の中、健康と長寿の確保及び医療費の適正化を図るため、生活習慣病を中心とした疾病予防事業の推進を保険者の責務と定めた高齢者の医療の確保に関する法律が制定されました。それに基づき尾道市国保も平成20年度からメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・保健指導を実施しています。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																															
<p>1 受診券 (自己負担無料券) の送付 4月下旬に特定健康診査受診券を40歳以上の国民健康保険被保険者に送付します。</p> <p>2 特定健康診査の実施 県一括契約をした医療機関及び尾道市と契約した医療機関において健康診査を委託、実施します。</p> <p>3 特定保健指導の実施 特定健康診査の結果、メタボリックシンドローム及びメタボリックシンドローム予備群に該当した人に対し医療機関委託及び直営により特定保健指導を実施します。</p> <p>4 受診率向上対策 健診未受診者に対し、電話や郵送、訪問による個別受診勧奨を行います。 健診の重要性をテーマとした講演会、地域での健診結果説明会等を健康増進部門と連携し行います。 健康まつり等、各種イベント時に特定健診の広報活動を行います。 医療機関の協力を得て、治療中の方の検査結果情報提供や職場健診等の結果を提出してもらい2,000円助成を行います。 過去5年間一度も特定健診を受けたことがない人が自発的に特定健診を受診するよう勧奨通知を送るとともに、受診者に1,000円の商品券を贈呈します。</p>	<p>1 無料受診券の送付 毎年4月下旬に特定健康診査無料受診券約26,000通を発送しました。</p> <p>2 特定健康診査の実施 医療機関健診及び年間約50回の集団健診を委託実施しました。</p> <p>3 特定保健指導の実施 特定健康診査受診結果をもとに7月から翌年5月にかけて毎月、対象者を抽出し、保健指導利用券を送付しました。利用券送付後1週間を目途に勧奨電話をかけ、積極的な参加を呼び掛けるようにしました。 医療機関及び直営により保健指導を実施しました。</p> <p>4 受診率向上対策 【平成30年度実績数値】 受診勧奨電話人数 (架電数) : 5,680人 (3,795人) 受診勧奨圧着ハガキ (年度後半) 発送通数 : 4,934通 健診結果説明会・健康相談 : 24回 治療中の方の情報提供件数 : 176件 2,000円助成申請件数 : 331件 【平成30年度実績数値】 初めての特定健診受診勧奨発送通数 (前半) : 12,617通 初めての特定健診受診勧奨訪問 (新高山) : 72件 初めての特定健診 受診者数 : 320人</p> <p>5 平成30年度受診率実績 特定健康診査 36.9% 特定保健指導 38.5%</p> <p>6 受診率の推移 (法定報告実績数値) (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>特定健診受診率</th> <th>目標値</th> <th>特定保健指導終了率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>37.2%</td> <td>60.0%</td> <td>40.2%</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>36.9%</td> <td>45.0%</td> <td>38.5%</td> <td>45.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>未確定</td> <td>48.0%</td> <td>未確定</td> <td>48.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td>51.0%</td> <td>—</td> <td>51.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	特定健診受診率	目標値	特定保健指導終了率	目標値	H29	37.2%	60.0%	40.2%	60.0%	H30	36.9%	45.0%	38.5%	45.0%	R1	未確定	48.0%	未確定	48.0%	R2	—	51.0%	—	51.0%						
年度	特定健診受診率	目標値	特定保健指導終了率	目標値																												
H29	37.2%	60.0%	40.2%	60.0%																												
H30	36.9%	45.0%	38.5%	45.0%																												
R1	未確定	48.0%	未確定	48.0%																												
R2	—	51.0%	—	51.0%																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費総額 (千円)</td> <td>118,990</td> <td>102,818</td> <td>107,233</td> <td>106,133</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源</td> <td>国県支出金</td> <td>113,778</td> <td>102,817</td> <td>107,233</td> <td>106,133</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,212</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費総額 (千円)	118,990	102,818	107,233	106,133	財源	国県支出金	113,778	102,817	107,233	106,133	地方債	0	0	0	0	その他	5,212	1	0	0	一般財源	0	0	0	0	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																												
事業費総額 (千円)	118,990	102,818	107,233	106,133																												
財源	国県支出金	113,778	102,817	107,233	106,133																											
	地方債	0	0	0	0																											
	その他	5,212	1	0	0																											
	一般財源	0	0	0	0																											
(3) 今後の方針等																																
健診未受診者に対しての受診勧奨は、個別勧奨が受診率向上の成果が大きいため、今後は、電話・個別通知・訪問による個別勧奨を重点的に行います。特定保健指導の利用勧奨についても個別勧奨が有効なため、継続して行います。																																

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	認知症総合支援事業		担当課	高齢者福祉課
会計・款項	会計 26 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）	款 5 地域支援事業費	項 3	包括的支援事業・任意事業費
事業実施の根拠となる計画	尾道市高齢者福祉計画			

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	高齢化が全国より先行している本市においては、認知症の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加し、認知症対策は重要な課題となっています。認知症への理解や早期発見・早期対応につながる体制の強化とともに、認知症になっても本人の意思が尊重され、状態に応じた適切な支援により、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療・介護サービスの適切な提供や切れ目のない支援体制を構築します。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）	(2) これまでの事業実績・成果																															
<p><b>【全体計画】</b> 認知症の人やその疑いのある人、ご家族に対する支援を行う認知症総合支援事業として、次の事業を実施します。</p> <p>1 認知症初期集中支援推進事業 複数の専門職が認知症専門医の指導のもとに、認知症の初期段階で認知症の人や家族を訪問し、包括的・集中的に支援して自立生活をサポートする「認知症初期集中支援チーム」を設置し、支援します。</p> <p>2 認知症地域支援・ケア向上事業 認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置し、認知症に関する相談を受け、医療機関や介護サービス等につなぐ等の支援を行います。 認知症初期集中支援チーム員と認知症地域支援推進員が連携し、相互に協力しながら事業を展開します。</p> <p>3 その他、認知症の人や家族等に対する支援に関し必要な事業を行います。 オレンジカフェ（認知症カフェ）の設置運営を支援する事業等を行います。</p> <p><b>【令和2年度計画】</b> 上記の事業を継続して実施し、よりきめ細かい支援体制づくりを行います。</p>	<p>平成29年度</p> <p>(1) 平成29年12月認知症初期集中支援推進事業開始 ・ 認知症初期集中支援チーム員研修受講（10人） ・ 認知症初期集中支援チーム設置数：3チーム（尾道北、尾道南、因島・瀬戸田）</p> <p>(2) 認知症地域支援・ケア向上事業 ・ 認知症地域支援推進員数：9人</p> <p>(3) 平成29年4月認知症カフェ推進事業開始</p> <p>平成30年度</p> <p>(1) 認知症初期集中支援推進事業 ・ 認知症初期集中支援チーム員数：10人 ・ 認知症初期集中支援チーム設置数：3チーム（尾道北、尾道南、因島・瀬戸田）</p> <p>(2) 認知症地域支援・ケア向上事業 ・ 認知症地域支援推進員数：9人</p> <p>(3) 認知症カフェ推進事業 ・ 認知症カフェ開設数：21か所</p> <p>令和元年度（見込み）</p> <p>(1) 認知症初期集中支援推進事業（継続） ・ 認知症初期集中支援チーム員数：11人 ・ 認知症初期集中支援チーム設置数：3チーム（尾道北、尾道南、因島・瀬戸田）</p> <p>(2) 認知症地域支援・ケア向上事業（継続） ・ 認知症地域支援推進員数：11人</p> <p>(3) 認知症カフェ推進事業（継続） ・ 認知症カフェ開設数：24か所</p>																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（千円）</td> <td>29,624</td> <td>29,409</td> <td>29,350</td> <td>29,637</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 （千円）</td> <td>国県支出金</td> <td>17,330</td> <td>16,984</td> <td>16,948</td> <td>17,115</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>12,294</td> <td>12,425</td> <td>12,402</td> <td>12,522</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費（千円）	29,624	29,409	29,350	29,637	財源 （千円）	国県支出金	17,330	16,984	16,948	17,115	地方債	0	0	0	0	その他	12,294	12,425	12,402	12,522	一般財源	0	0	0	0	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																												
事業費（千円）	29,624	29,409	29,350	29,637																												
財源 （千円）	国県支出金	17,330	16,984	16,948	17,115																											
	地方債	0	0	0	0																											
	その他	12,294	12,425	12,402	12,522																											
	一般財源	0	0	0	0																											
(3) 今後の方針等																																
引き続き、認知症総合支援事業全体の体制強化、支援の拡大に努め、見守り事業（おのみち見守りネットワーク事業、認知症サポーター及びキャラバンメイトの養成・支援等の事業）と連携し、認知症施策として一体的により強固な支援体制を構築します。																																

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規・**継続** 】

事業名	災害復旧事業（平成30年7月豪雨）		担当課	土木課ほか
会計・款項	会計 1 一般会計	款 11 災害復旧費	項 2 公共土木施設災害復旧費ほか	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	平成30年7月豪雨により発生した公共土木施設、農林水産施設、観光施設の災害の復旧事業を行います。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）				(2) これまでの事業実績・成果		
<b>【公共土木施設災害復旧費】</b> 市道、普通河川などの公共土木施設の復旧事業 [R2実施予定箇所：美ノ郷公園線、本郷畑線 ほか] (単位：千円)				<b>【復旧の状況】</b> (単位：か所)		
				区分	総数	完了済
				公共土木施設	438	298
				農林水産施設	344	179
				その他施設(教育、観光、里道等)	364	251
				崩土撤去	1,518	1,503
				計	2,664	2,231
				※令和2年1月末時点		
				○美ノ郷公園線(1工区)		
				復旧前		
						
				復旧後		
						
				○岩子島11号線		
				復旧前		
						
				復旧後		
						
<b>【農林水産施設災害復旧費】</b> 農地、農業用施設、林道などの災害復旧事業 [R2実施予定箇所：大豆池、林道枝小味線 ほか] (単位：千円)						
種別	補助	単独	計			
H30	67,056	65,563	132,619			
R元	530,000	132,601	662,601			
R2	160,000	205,000	365,000			
計	757,056	403,164	1,160,220			
<b>【観光施設災害復旧費】</b> 観光施設の災害復旧事業 [R2実施予定箇所：地藏鼻] (単位：千円)						
種別	単独					
H30	22,246					
R元	2,166					
R2	36,000					
計	60,412					
※令和元年度予算：2月補正予算見込額 (平成30年度繰越予算を含む)						
予算データ	平成30年度 決算額	令和元年度 予算額	令和2年度 当初予算額	合計		
事業費(千円)	1,692,238	3,051,278	1,405,500	6,149,016		
財源 (千円)	国県支出金	256,018	1,596,377	675,582	2,527,977	
	地方債	1,024,600	1,266,300	572,200	2,863,100	
	その他	8,915	114,343	7,192	130,450	
	一般財源	402,705	74,258	150,526	627,489	
(3) 今後の方針等						
平成30年7月豪雨災害の早期復旧に向け取り組みます。						

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	I C T利活用の推進		担当課	情報システム課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	<p>職員の作業時間削減、業務の効率化を実現し、市民サービスの向上や他の高付加価値業務への転換を図ることを目的とし、I C T利活用を推進します。</p> <p>令和2年度には、定型業務や繰り返し作業を自動化するR P Aツールの利用を拡大するほか、新たにI Cレコーダー等に録音した音声から会議内容を書き起こす会議録作成支援ツールを導入します。</p>
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>1 R P Aツール利活用の拡大</p> <p>(1) 新規活用業務 (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校諸課題調査集計業務 等</li> <li>※業務ヒアリング等を実施し、活用業務の更なる拡大を図ります。</li> </ul> <p>(2) 職員操作研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・eラーニングによる実践研修</li> </ul> <p>2 会議録作成支援ツールの導入</p> <p>(1) 導入時期：令和2年8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライセンス数：未定</li> </ul> <p>(2) その他</p> <p>会議の録音品質を上げるため、集音マイクを利用し、変換率を高めます。</p> <p>庁内で開かれる、大小様々な会議に利用できるよう、職員の自席の端末で利用できるサーバクライアント型のツールの導入を検討します。</p>		<p>1 R P Aツールの導入</p> <p>(1) 導入時期：令和元年10月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライセンス数：2ライセンス</li> <li>※基幹系、情報系ネットワークに各1ライセンス (情報システム課内の共有端末に導入)</li> </ul> <p>(2) 活用業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所入所決定通知書作成業務</li> <li>・ふるさと納税受付業務</li> </ul> <p>(3) 職員操作研修実施</p> <p>2 会議録作成支援ツールの導入</p> <p>【新規事業】</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	
事業費 (千円)	0	0	2,750	7,829	
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	2,750	7,829
(3) 今後の方針等					
<p>R P A利用業務の拡大を図るため、職員への周知、操作研修を実施し、プログラム作成スキルの習得を推進します。また、I C T利活用による業務効率化について、費用対効果の高い技術を検証し、導入を検討していきます。</p>					

1 事業名等 【 新規 ・ **継続** 】

事業名	職員研修	担当課	職員課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費
事業実施の根拠となる計画	尾道市人材育成基本方針		

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	人事評価により明らかになった組織全体の育成ニーズ、職員個人の自己研鑽意欲を活用し、それぞれの研修形態の特性を活かしながら、効果的に人材を育成していきます。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)					(2) これまでの事業実績・成果			
1 自己啓発	受講者が希望科目を選択し、受講できる研修(講座選択eラーニング)を提供することで、職員個々に応じた能力向上を促し、自学意欲の向上を図ります。				1 自己啓発 (講座選択eラーニング・人権講座)	講座選択型eラーニングを、各所属から推薦された職員に受講させ、講座を修了しました。また、新規採用職員は、人権講座を受講しました。		
2 職場内研修 (OJT)	職場内研修の年間計画を策定のうえ実施し、職員の知識・技術の計画的な向上を図ります。				2 職場内研修 (OJT)	人権研修・コンプライアンス研修・その他の研修を必須とし、その他の研修では、職場外研修に参加した職員を講師とし、習得した知識・技術を職員に周知・共有しました。		
3 職場外研修 (Off-JT)	職務上必要な知識・技術などを習得するため、一定期間、職場を離れて研修を行います。 専門の講師を通じ、日常業務の中では得難い知識・技術などが提供され、効率的に学ぶことができます。また、交流を通じた情報交換や人脈の拡大にもつなげます。				3 職場外研修 (Off-JT)	(1) 基本研修 (階層別研修) 階層に応じた役割認識を深め、職務上必要な知識・技術の習得を促すため、市独自の階層別研修を実施するとともに、ひろしま自治人材開発機構が実施する研修に対象階層の職員を派遣しました。 (2) 特別研修 (目的別研修) 社会情勢や人事管理制度の変動、及び人事評価制度で明らかになる組織全体の育成ニーズを把握し、職員に必要な知識・技術の習得に向けた研修を実施しました。 令和元年度は、しまなみ海道開通20周年を迎える中で尾道市今治市合同職員研修を実施しました。 (3) 派遣研修 専門的知識の習得や最新情報の収集に加え、他自治体職員との情報交換や人脈の拡大を図りました。		
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	【受講者数】 (単位：人)			
事業費 (千円)	9,900	9,900	10,000	10,000	区分	H29	H30	R元
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	自己啓発	410	395	420
	地方債	0	0	0	職場内研修	6,295	6,573	6,000
	その他	1,986	1,986	1,978	職場外研修			
	一般財源	7,914	7,914	8,022	基本研修	134	215	194
					特別研修	1,998	1,782	1,962
					派遣研修	145	139	138
					合計	8,982	9,104	8,714
(3) 今後の方針等					※派遣研修は、基本研修受講者を除く ※令和元年度の受講者数は見込です			
「人が最大の財産である」という観点のもと、人事管理・職員研修・職場風土づくりなどの多角的な取組を効果的に連動させ、職員の自ら学び、育とうとする意欲を喚起・支援していきます。								

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	地方電子申告の利用拡大		担当課	市民税課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 2 徴税費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	事業所が提出すべき、法人市民税の予定申告・確定申告などの申告書及び法人の設立届並びに給与支払報告書、給与所得者の異動届などを、インターネットを利用した電子データで提出することにより、納税者の利便性の向上及び課税事務の効率化を図ります。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																																												
<p>1 e L T A X利用率向上に向けた周知、啓発 個人市民税及び法人市民税のe L T A X利用率の向上を促進するため、次の通知発送、説明会開催の時期を捉えて、事業所に対して周知・啓発します。 ア 5月の特別徴収税額通知書の送付時期 イ 11月の年末調整説明会の時期 ウ 12月の給与支払報告書の提出依頼時期 エ 法人市民税申告案内の送付時期</p> <p>2 e L T A X研修会参加と制度理解の向上 システムを運営する「地方税共同機構」が開催する研修会等に参加し、セキュリティ対策や制度運用への理解を深め、事業者への周知を図ります。</p> <p>3 関係機関及び関係部署との連携 e L T A Xの利用手続きとして、共通納税システムが利用可能となったため、庁内の関係部署と連携するとともに、国税連携システムによる所得税確定申告情報をデータで引き継ぎます。</p>	<p>e L T A Xの利用状況 個人市民税 (給与支払報告書)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申告件数</td> <td>76,865件</td> <td>78,888件</td> <td>78,967件</td> </tr> <tr> <td>eLTAX利用件数</td> <td>28,683件</td> <td>29,997件</td> <td>30,402件</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>37.3%</td> <td>38.0%</td> <td>38.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>法人市民税</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申告件数</td> <td>5,211件</td> <td>5,192件</td> <td>5,221件</td> </tr> <tr> <td>eLTAX利用件数</td> <td>3,857件</td> <td>3,993件</td> <td>4,029件</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>74.0%</td> <td>76.9%</td> <td>77.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>国税連携システムによる確定申告書データ引継</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申告件数</td> <td>3,520件</td> <td>3,498件</td> </tr> <tr> <td>連携利用件数</td> <td>3,253件</td> <td>3,249件</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>92.4%</td> <td>92.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H29	H30	R元見込	申告件数	76,865件	78,888件	78,967件	eLTAX利用件数	28,683件	29,997件	30,402件	利用率	37.3%	38.0%	38.5%	区分	H29	H30	R元見込	申告件数	5,211件	5,192件	5,221件	eLTAX利用件数	3,857件	3,993件	4,029件	利用率	74.0%	76.9%	77.2%	区分	H30	R元見込	申告件数	3,520件	3,498件	連携利用件数	3,253件	3,249件	利用率	92.4%	92.9%
区分	H29	H30	R元見込																																										
申告件数	76,865件	78,888件	78,967件																																										
eLTAX利用件数	28,683件	29,997件	30,402件																																										
利用率	37.3%	38.0%	38.5%																																										
区分	H29	H30	R元見込																																										
申告件数	5,211件	5,192件	5,221件																																										
eLTAX利用件数	3,857件	3,993件	4,029件																																										
利用率	74.0%	76.9%	77.2%																																										
区分	H30	R元見込																																											
申告件数	3,520件	3,498件																																											
連携利用件数	3,253件	3,249件																																											
利用率	92.4%	92.9%																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (千円)</td> <td>3,501</td> <td>3,507</td> <td>4,258</td> <td>4,518</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,501</td> <td>3,507</td> <td>4,258</td> <td>4,518</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費 (千円)	3,501	3,507	4,258	4,518	財源 (千円)	国県支出金	0	0	0	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	3,501	3,507	4,258	4,518																	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																									
事業費 (千円)	3,501	3,507	4,258	4,518																																									
財源 (千円)	国県支出金	0	0	0																																									
	地方債	0	0	0																																									
	その他	0	0	0																																									
	一般財源	3,501	3,507	4,258	4,518																																								
(3) 今後の方針等																																													
<p>国税に関しては、e-TAXによる電子申告の利用拡大を促進しており、地方税においても国税と連携した周知、啓発を行うことで、e L T A Xの利用率向上を図り、事業者の利便性を向上させ、課税事務の効率化を図ります。</p>																																													

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	固定資産税賦課業務		担当課	資産税課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 2 徴税費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	固定資産税・都市計画税は自主財源の根幹を成し、財政運営の基盤を支えており、賦課業務は重要な役割を果たしています。適正な賦課を行うため、土地評価においては、不動産鑑定士による鑑定評価を実施し、また、課税客体（土地、家屋、償却資産）を的確に把握するよう取り組みます。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）		(2) これまでの事業実績・成果			
<p>適正な賦課を行うため、次の事業等を実施します。</p> <p>1 固定資産税の時点修正業務 土地評価において、地価下落を適切に反映させるため、継続して（公社）広島県不動産鑑定士協会へ委託し、鑑定評価を行ったうえ、固定資産税評価額の時点修正を行います。</p> <p>2 調査補助資料の更新 課税客体（土地、家屋、償却資産）をよりの確に把握するため、航空写真の活用、法務局からの登記異動通知、農業委員会や建築課等の他部局との連携等に加え、職員による実地調査の際の補助資料として、住宅地図の「年度間の土地利用状況相違データ及び家屋形状の相違データ」を平成30年度から活用しています。 令和2年度では、航空写真の更新（前回撮影：H29年度）、調査補助資料の更新を行います。</p>		<p>1 固定資産税の時点修正業務 （公社）広島県不動産鑑定士協会に委託し、各地区に精通した不動産鑑定士による鑑定評価を実施し、地価下落について、適切に土地評価へ反映させています。 ・鑑定評価箇所数：281箇所</p> <p>2 調査補助資料の活用 前年度と前々年度の家屋形状・土地利用の相違データを活用し、建物の滅失評価漏れ、土地の地目認定誤りを防止しています。</p>			
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	
事業費（千円）	21,900	5,613	5,579	24,718	
財源 （千円）	国県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	21,900	5,613	5,579	24,718
(3) 今後の方針等					
<p>賦課業務においては、常に正確性が求められており、上記の事業等を活用しながら、適正な土地及び家屋評価の実施、調査精度のより一層の向上を図ります。</p>					

1 事業名等 【 新規 ・ 継続 】

事業名	納税案内センター設置事業		担当課	収納課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 2 徴税費	
事業実施の根拠となる計画				

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	市税等の滞納者に早期に自主納付の案内を行うことにより、市税債権等の早期確保を図るとともに口座振替勧奨により口座振替率の向上を目指します。また、財産調査等の補助業務も委託し、業務の効率化を図るとともに、収納課職員が滞納整理を中心とした業務に専念できる環境を整備します。
-------	---

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画 (全体計画及び令和2年度計画)	(2) これまでの事業実績・成果																																																																							
<p><b>【納税案内センターの業務】</b></p> <p>1 電話による自主納付の案内 令和2年度から、音声合成ソフトを使用して着信率の高い時間帯に自動的に電話催告します。併せて携帯電話へショートメッセージ(文字情報)を送信し催告・案内も行います。</p> <p>2 催告書発送補助 電話番号不明者及び電話案内未着信者への催告書発送の補助を行います。</p> <p>3 口座振替の勧奨 対象者に架電し、口座振替案内を行います。</p> <p>4 財産調査に関する補助 財産調査に関する照会等の補助業務を行います。</p> <p>5 制度開始案内(令和元年度から開始) 新たに介護保険・後期高齢者医療保険の対象になる方に制度説明及び保険料納付案内を行います。</p> <p>※納税案内センター設置事業は、国民健康保険特別会計と合わせて実施しており、一般会計と按分して負担しています。</p>	<p>1 納付案内</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>架電</td> <td>15,993件</td> <td>13,908件</td> <td>18,860件</td> </tr> <tr> <td>着信</td> <td>5,084件</td> <td>4,311件</td> <td>6,090件</td> </tr> <tr> <td>納付約束</td> <td>3,512件</td> <td>3,382件</td> <td>4,640件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 催告書発送補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発送件数</td> <td>3,408件</td> <td>2,717件</td> <td>3,520件</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 口座振替勧奨</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>架電</td> <td>2,277件</td> <td>505件</td> <td>1,678件</td> </tr> <tr> <td>着信</td> <td>808件</td> <td>200件</td> <td>715件</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 財産調査補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発送件数</td> <td>2,931件</td> <td>3,403件</td> <td>3,050件</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 制度開始案内</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護保険</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>架電</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2,230件</td> </tr> <tr> <td>着信</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>930件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>後期高齢者医療</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R元見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>架電</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,000件</td> </tr> <tr> <td>着信</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>525件</td> </tr> </tbody> </table>					H29実績	H30実績	R元見込	架電	15,993件	13,908件	18,860件	着信	5,084件	4,311件	6,090件	納付約束	3,512件	3,382件	4,640件		H29実績	H30実績	R元見込	発送件数	3,408件	2,717件	3,520件		H29実績	H30実績	R元見込	架電	2,277件	505件	1,678件	着信	808件	200件	715件		H29実績	H30実績	R元見込	発送件数	2,931件	3,403件	3,050件	介護保険	H29実績	H30実績	R元見込	架電	—	—	2,230件	着信	—	—	930件	後期高齢者医療	H29実績	H30実績	R元見込	架電	—	—	1,000件	着信	—	—	525件
	H29実績	H30実績	R元見込																																																																					
架電	15,993件	13,908件	18,860件																																																																					
着信	5,084件	4,311件	6,090件																																																																					
納付約束	3,512件	3,382件	4,640件																																																																					
	H29実績	H30実績	R元見込																																																																					
発送件数	3,408件	2,717件	3,520件																																																																					
	H29実績	H30実績	R元見込																																																																					
架電	2,277件	505件	1,678件																																																																					
着信	808件	200件	715件																																																																					
	H29実績	H30実績	R元見込																																																																					
発送件数	2,931件	3,403件	3,050件																																																																					
介護保険	H29実績	H30実績	R元見込																																																																					
架電	—	—	2,230件																																																																					
着信	—	—	930件																																																																					
後期高齢者医療	H29実績	H30実績	R元見込																																																																					
架電	—	—	1,000件																																																																					
着信	—	—	525件																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(千円)</td> <td>6,573</td> <td>6,670</td> <td>8,820</td> <td>7,548</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 (千円)</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7,548</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,573</td> <td>6,670</td> <td>8,820</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費(千円)	6,573	6,670	8,820	7,548	財源 (千円)	国県支出金	0	0	7,548	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	6,573	6,670	8,820	0																																												
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																																																																				
事業費(千円)	6,573	6,670	8,820	7,548																																																																				
財源 (千円)	国県支出金	0	0	7,548																																																																				
	地方債	0	0	0																																																																				
	その他	0	0	0																																																																				
	一般財源	6,573	6,670	8,820	0																																																																			
(3) 今後の方針等																																																																								
徴収業務においては、公平・公正で効率的な取り組みが求められており、引き続き、納税案内センターを活用し、現年滞納者へ早期自主納付の案内を行います。また、財産調査の補助業務も委託し滞納処分の早期着手により、できるだけ現年度の滞納額を翌年度に繰り越さないことを目指します。																																																																								

令和2年度 主要事業シート

1 事業名等 【 新規 **継続** 】

事業名	国勢調査	担当課	政策企画課
会計・款項	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 5 統計調査費
事業実施の根拠となる計画	統計法（平成19年法律第53号）第5条第2項		

2 事業の目的と概要

事業の趣旨	国勢調査は人及び世帯に関する全数調査で、10月1日を調査期日として全国で実施されます。その結果は、国及び地方公共団体の各種行政施策はもとより、企業、団体その他各方面に利用されています。市民の皆様には統計調査の趣旨や調査活動等について理解が得られるよう、適正実施に向けて取り組みを行います。
-------	--

3 当初計画と実績・成果

(1) 当初計画（全体計画及び令和2年度計画）	(2) これまでの事業実績・成果																											
<p>1 調査期日 令和2年10月1日（木）</p> <p>2 調査対象 令和2年10月1日現在、日本国内に普段住んでいるすべての人（外国人を含む。）及び世帯</p> <p>3 調査内容 (1) 世帯員について 男女の別・出生の年月・配偶者の有無・就業状態・従業地又は通学地など15項目</p> <p>(2) 世帯について 世帯員の数・世帯の種類・住居の種類・住宅の建て方の4項目</p> <p>4 調査日程 令和2年 4月 国勢調査実施本部設置 5月 指導員・調査員選任 (指導員約120人、調査員約800人) 6～7月 広報活動 8～11月 調査活動 令和3年 2月 国による人口速報集計公表 令和4年 11月 全数値公表終了</p>	<p>【平成27年実施分】</p> <p>1 国勢調査実施本部 (1) 本部長 企画財務部長 (2) 構成員 関係課及び各支所 (3) 設置期間 平成27年6月1日～平成28年2月29日</p> <p>2 調査員募集 (1) 募集人数 指導員約120人、調査員約800人 (2) 募集方法 広報おのみちへの掲載、エフエムおのみち及びケーブルテレビ放送、前回経験者や各種団体へ依頼等</p> <p>3 広報 広報誌・HPへの啓発記事の掲載、各施設へのポスター掲出、自治会等へのチラシ配布、市役所ロビーでのPR動画の放映等</p> <p>4 調査活動中の体制整備 世帯、調査員等からの問合せ対応の体制整備</p> <p>5 その他 インターネットによる回答の勧奨</p> <p>(参考) 国勢調査人口・世帯数（合併後実施分）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年</th> <th>世帯数（世帯）</th> <th>人口（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>58,772</td> <td>145,202</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>57,759</td> <td>138,626</td> </tr> </tbody> </table>	実施年	世帯数（世帯）	人口（人）	H22	58,772	145,202	H27	57,759	138,626																		
実施年	世帯数（世帯）	人口（人）																										
H22	58,772	145,202																										
H27	57,759	138,626																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算データ</th> <th>H29年度 当初予算額</th> <th>H30年度 当初予算額</th> <th>R元年度 当初予算額</th> <th>R2年度 当初予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費（千円）</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>469</td> <td>68,469</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源 （千円）</td> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>469</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額	事業費（千円）	0	0	469	68,469	財源 （千円）	国県支出金	0	0	469	地方債	0	0	0	その他	0	0	0	一般財源	0	0	0	
予算データ	H29年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	R元年度 当初予算額	R2年度 当初予算額																								
事業費（千円）	0	0	469	68,469																								
財源 （千円）	国県支出金	0	0	469																								
	地方債	0	0	0																								
	その他	0	0	0																								
	一般財源	0	0	0																								
(3) 今後の方針等																												
<p>統計調査の趣旨や活用事例について市民の理解が得られるよう、また、統計調査員の確保のため、広報・PR活動を継続して実施します。</p>																												